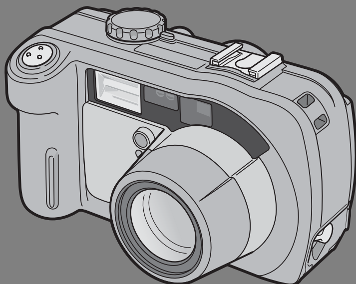
Caplio 500SE

RICOH

使用説明書　カメラ・導入編



本製品のシリアル番号は、
本体底面に記載されています。

基本編

はじめてお使いのときは必ずお読みください。

電源を入れる、撮影する、再生するなど、はじめてこのカメラをお使いの方でも一通り操作できるようになります。

応用編

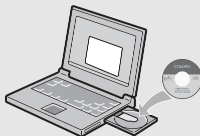
目的に応じて必要なときにお読みください。

いろいろな撮影機能や再生機能の他、カメラのカスタマイズ、プリントの方法、パソコンを利用する方法など、このカメラのすべての機能が記載されています。

お願い

カメラとパソコンを接続するのは、ちょっとお待ちください。

付属のソフトウェアをパソコンにインストールする前に、カメラとパソコンをUSB ケーブルで接続すると、カメラとパソコンを接続するためのソフトウェアが適切にインストールされない場合があります。付属のソフトウェアをインストールしたあと、カメラとパソコンを接続してください。（☞P.128）



リコー修理受付センター

万一、本製品がご使用中に故障した場合は、下記のサービスメニューからお客様がご希望のサービス方法をお選びいただき、記載されているリコー修理受付センターまでお申し込みください。

＊本製品の保証書に記載された保証期間内は、無料修理となりますが、保証書裏面の保証規定第2項の記載に該当する場合は、保証の対象にはなりません。

＊各サービスメニューの対象は、製品本体のみとさせていただきます。

＊本サービスは、日本国内のみ有効です。

修理についての詳しい内容は、インターネットでもご案内しています。
http://www.ricoh.co.jp/dc/support/repair/

●たくはいサービス●

着払い宅配便にてお送りいただくサービスです。

●ひきとりサービス●

運送業者がお客様のご自宅（事務所）に訪問し、機械を梱包してお預りします。ひきとり料金（2000円）がかかりますので、予めご了承ください。

時間帯指定サービス

たくはいサービス、ひきとりサービスの各サービスで、修理完成品の配達日の時間帯指定ができます。時間帯は10：00～20：00までの間で、時間帯区切りは2時間です。

1)10：00～12：00　2)12：00～14：00　3)14：00～16：00
4)16：00～18：00　5)18：00～20：00

＊リコー修理受付センターへご連絡の際、お申し込みください。

●持ち込み修理について●

お買い上げのご販売店、カメラサービスセンター（裏表紙）のいずれかにお持ちいただいた場合も、修理の受付を行います。

お願い

1. 修理に際し、メモリー等記憶装置内のデータの保存については保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 修理におだしになる前に、バッテリーのチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いします。
3. 修理個所によっては規定以上の日数がかかる場合がございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
4. 修理ご依頼の際は、故障内容と故障個所をできるだけ詳しくお申し出ください。
5. 「リコー修理受付センター」は上記取扱商品の故障に関する修理方法、修理期間等のお問い合わせに限らせていただきます。

修理以外の製品に関する機能・性能、使用方法のお問合せ、ご相談は巻末に記載のリコーお客様相談センターまでお願い申し上げます。

はじめに

この使用説明書には、本製品を使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載してあります。
本製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に、本書を最後までお読みください。本書が必要になったとき、すぐに利用できるよう、お読みになった後は、必ず保管してください。

株式会社リコー

安全上のご注意について
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

テスト撮影について
必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。

著作権について
著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽等の著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変等することは禁じられています。

ご使用に際して
万一、本製品などの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書について
本製品は国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

電波に関するご注意

- 本製品には、技術基準適合証明を取得した無線設備が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。
- 本製品は、技術基準適合認定を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  ①本製品を分解／改造すること
  ②本製品に印刷してある証明ラベルをはがすこと
- この機器の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  ①この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  ②万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
  ③その他。この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合など何かお困りごとが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：株式会社リコー　お客様相談センター
電話0120-000475
受付時間：9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

上記内容は「社団法人　電波産業界」ARIB STD-T66の主旨に基づくものです。

Caplio 500SE-Bの場合

2.4FH1

この表示のある無線機器は2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてFH変調方式を採用し、移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離は10mです。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 無線設備の認証番号： 001NYCA1293

Caplio 500SE-Wの場合

2.4FH1/DS4/OF4

この表示のある無線機器は2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS/DS-SS/OFDM変調方式を採用し、移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離は10mないしは40mです。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 無線設備の認証番号： 001NYCA1293
  201NY06215019

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- コンセントを別にする

＜電波障害自主規制について＞

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。

本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたら、巻末をご覧の上ご連絡ください。

Microsoft、MS、Windows、DirectXは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、Power Macintosh、Mac OSは米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Incの商標です。

AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

会社名、および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

Bluetooth®商標は、Bluetooth SIG, Inc.所有の商標であり、ライセンスの下で株式会社リコーが使用しています。

使用説明書の構成について

Caplio 500SEには、次の2種類の使用説明書が付属しています。

	『使用説明書（カメラ・導入編）』（本書）
	カメラの使いかたや機能を説明しています。また、付属ソフトウェアをパソコンに入れる（インストール）方法についても説明しています。 ※英語版の『使用説明書（カメラ・導入編）』はPDFファイルで、付属のCD-ROMに収録されています。
	『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDFファイル）
	付属のソフトウェアを使って、カメラの画像をパソコンに取り込む方法について説明しています。 『使用説明書（ソフトウェア編）』は、付属CD-ROM内の次のフォルダに収録されています。 日本語版および英語版の『使用説明書（ソフトウェア編）』が、フォルダに収録されています。 Caplio CD-ROM (D:) Caplio Manual English English_Camera_Manual Japanese 英語版の『使用説明書（カメラ・導入編）』（PDFファイル） 使用説明書（ソフトウェア編）をハードディスクにコピーするには上記のフォルダからPDFファイルをハードディスクにコピーしてください。

本機には、パソコン内の画像を表示したり、編集したりできるソフトウェアImageMixer が付属しています。ImageMixer の使いかたについては、ImageMixerの画面上に表示される［?］ボタンをクリックして表示されるマニュアルを参照してください。
ImageMixerについてのご質問・ご相談は、下記ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

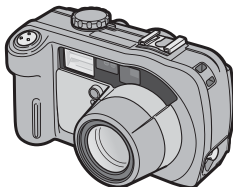
株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター
TEL：06-6633-3900
FAX：06-6633-2992
〒556-0011
大阪府大阪市浪速区難波中2-10-70パークスタワー 25F
受付時間：月曜日～日曜日
10：00～17：00
（年末年始、祝日、弊社指定休日は除く）
また以下のページで、ImageMixerの最新情報が閲覧できます。
http://www.imagemixer.com/

このカメラでできること



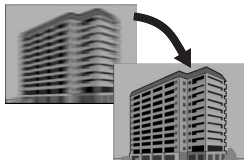
防水・防塵対応、衝撃対応のタフなボディ

防水機能（JIS保護等級7)、防塵機能（JIS保護等級6)、高さ1メートルからの落下に耐える耐衝撃機能を備えたカメラです。



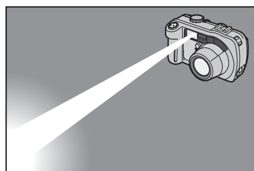
広い範囲を写しこむワイドズームレンズ

28～85mm*の広い撮影範囲をカバーする光学3倍ワイドズームレンズ搭載。ワイドコンバージョンレンズ（オプション）を取り付けると広角側22mm*となり、さらに広角で撮影可能です。
*35mm判カメラ換算値です。



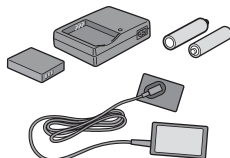
ブレ軽減機能でブレを制する（P.63）

ブレ軽減機能をオンにすると、ISO感度を上げて高速で撮影することにより、撮影した画像のブレが軽減されます。



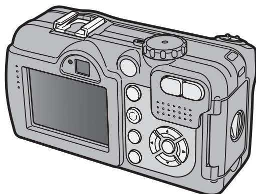
到達距離最大10mの内蔵フラッシュ搭載（P.38）

フラッシュは広角時10m、望遠時6.5mの距離まで対応。撮影可能なシーンがさらに広がります。外部フラッシュを取り付けることもできます。



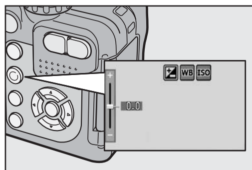
撮影タイミングに合わせた 3 電源方式（P.20）

リチャージャブルバッテリー（同梱）、単三アルカリ乾電池／ニッケル水素電池、ACアダプターの3種類の電源を利用できるので、どんな地域・場所でも撮影できます。



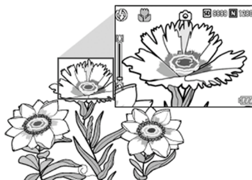
大型液晶モニターと光学ファインダー搭載

撮影対象や状況により、2.5インチ液晶モニターまたは実像式光学ズームファインダーを使い分けて撮影。撮影した画像は大型・高輝度の液晶モニターで確認できるので、確実です。



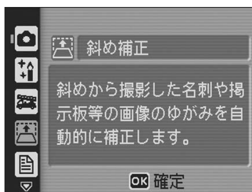
ADJ.（アジャスト）ボタンでカメラ操作がより簡単に（P.56）

通常のボタン操作を短縮させてくれるのがADJ.ボタン。露出補正やホワイトバランスの設定も、少ないボタン操作でラクラク設定できます。また、必要に応じて機能を割り当てることもできます。



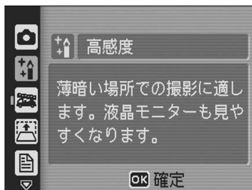
1cm（カメラ前端より5mm）接写できるマクロ（P.37）

被写体まで約1cm（カメラ前端より5mm）の超アップで撮影可能な接写機能を搭載。



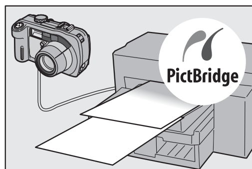
ゆがみを簡単に補正する斜め補正モード搭載（P.39）

斜めから撮影した四角い被写体を、正面から撮影したように補正する「斜め補正モード」を搭載。簡単なボタン操作で補正ができ、掲示板や展示パネル、名刺など、さまざまな被写体の撮影に活躍します。



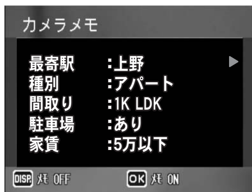
暗い場所では高感度モードを使って構図もしっかり確認（P.39）

シーンの高感度モードは、薄暗い場所で撮影するときに威力を発揮します。液晶モニターで明るく表示されるので、撮影対象をしっかりと確認して撮ることができます。



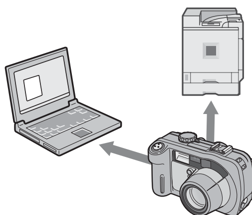
パソコンなしでも印刷できるダイレクトプリント機能（P.98）

カメラとダイレクトプリント対応プリンターを直接USBケーブルで接続して、画像を転送。パソコンを使わずに手軽に画像が印刷できます。
帳票印刷や、カメラメモ印刷も可能です。



画像の分類・検索など、管理に便利なカメラメモ

あらかじめパソコンで登録したメモ項目を呼び出して、静止画に付加することができます。カメラメモには、文字のメモと音声のメモの2種類があります。
カメラメモについては、『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDFファイルP.30）をご覧ください。



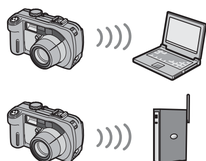
Bluetooth®機能を搭載（P.153）

Bluetooth® に対応したパソコンやプリンターに静止画を送信したり、ワイヤレスで写真を印刷することができます。



GPS情報付きで撮影（P.178）

Bluetooth® 機能に対応したGPS受信機や外付けGPSモジュール等とカメラを接続して、緯度／経度、方位、距離情報付きの静止画を撮影することができます。
撮影した静止画は、各種GISアプリケーション*に適応いただけます。
*GIS（Geographic Information System：地理情報システム）



無線LAN機能を搭載（Caplio 500SE-Wのみ）（P.189）

無線LANに対応したパソコンに、画像を送信することができます。画像をメールに添付して送信する方法と、FTPサーバーへ送信する方法の2種類があります。

もくじ

応用編 55

目的に応じて必要なときにお読みください

1 いろいろな撮影 56

2 動画を撮影・再生する 83

3 音声を記録・再生する 86

11 付録 217

基本編

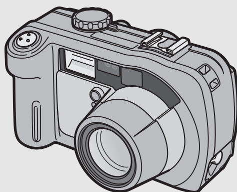
はじめてお使いのときは必ずお読みください

パッケージを確認する

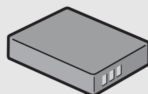
パッケージを開けて同梱品を確認しましょう。

Caplio 500SE

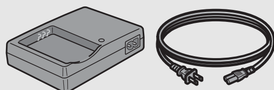
本製品のシリアル番号は、本体底面に記載されています。



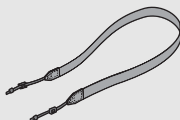
リチャージャブルバッテリー



バッテリーチャージャー

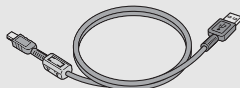


ネックストラップ



USBケーブル

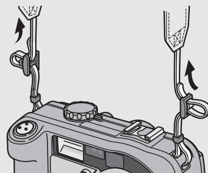
カメラをパソコンやダイレクトプリント対応プリンターと接続するときに使用します。



 *メモ*

ネックストラップのつけかた

ストラップの先端をカメラのストラップ取り付け部に通して取り付けます。

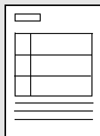


使用説明書（カメラ・導入編）



（本書）

保証書



安全上のご注意



Caplio Software CD-ROM

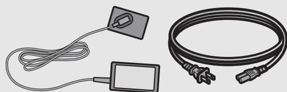
ソフトウェアと『使用説明書（ソフトウェア編）』などが含まれています。



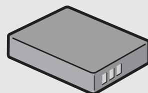
別売り品について

ACアダプター（AC-4d）

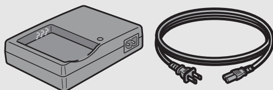
家庭用コンセントからカメラへ電源を供給するときに使用します。長時間の再生、パソコンへの画像の転送時などにご利用ください。



リチャージャブルバッテリー（DB-43）



バッテリーチャージャー（BJ-2e）



ワイドコンバージョンレンズ（DW-5）

ソフトケース（SC-500）

リチャージャブルバッテリーセット（BS-3e）

リチャージャブルバッテリー（DB-43）と、バッテリーチャージャー（BJ-2e）のセットです。



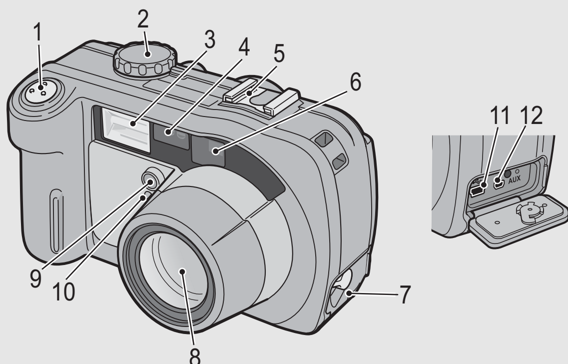
メモ

別売り品についての最新情報は、弊社ホームページ（http://www.ricoh.co.jp/dc）をご覧ください。

カメラの各部の名称

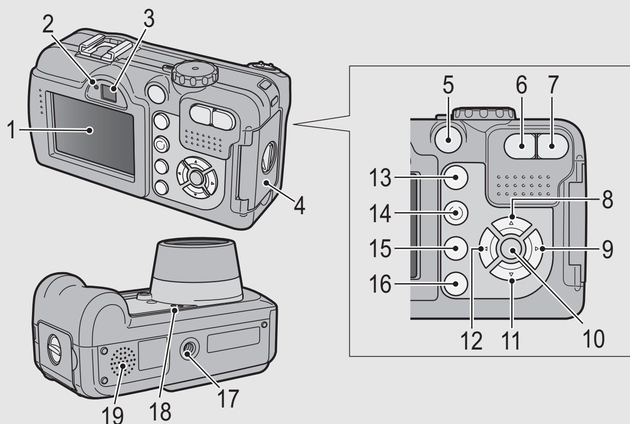
カメラ本体

前面



	名称	参照先
1	シャッターボタン	P.33
2	モードダイヤル	P.16
3	フラッシュ発光部	P.38
4	AF窓	ー
5	アクセサリーシュー	P.234
6	ファインダー	P.31
7	端子カバー	P.99、148
8	レンズ	P.31
9	調光窓	ー
10	AF補助光	ー
11	USB端子	P.99、148
12	AUX端子	ー

背面

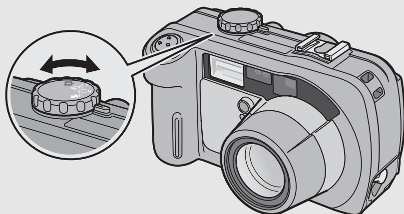


	名称	参照先
1	液晶モニター	P.17
2	オートフォーカス／フラッシュランプ	P.34、38
3	ファインダー	P.31
4	バッテリー／カードカバー	P.25、27
5	電源ボタン	P.29
6	[W]（広角）／[サムネイル]（サムネイル表示）ボタン	P.36、47
7	[T]（望遠）／Q（拡大表示）ボタン	P.36、47
8	▲／SCENEボタン	P.39
9	▶／ϟ（フラッシュ）ボタン	P.38
10	MENU/OKボタン	P.60、88、107
11	▼／🌷（マクロ）ボタン	P.37
12	◀／[クイックレビュー]（クイックレビュー）ボタン	P.45
13	▶（再生）ボタン	P.46
14	ADJ./MEMOボタン	P.56
15	🗑（削除）／⏲（セルフタイマー）ボタン	P.50、44
16	DISP.ボタン	P.53
17	三脚ねじ穴	P.229
18	マイク	P.86
19	スピーカー	P.85、87

モードダイヤルの使い方

撮影や録音などのカメラの操作は、モードダイヤルを切り替えてから行います。

1 モードダイヤルを回して、使用する機能のマークに合わせる

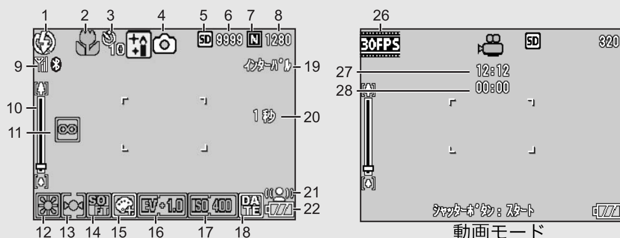


モードダイヤルのマークと働き

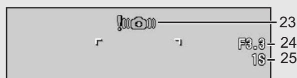
マーク	機能	働き
📷	静止画モード	静止画を撮影します。
CALS	CALSモード（キャルス）	工事用の静止画撮影時の［画質・サイズ］を［N1280］に固定します。
🎥	動画モード	音声付き動画を撮影します。
🎙	音声モード	音声を記録します。

液晶モニターの表示

撮影するときの画面



動画モード



静止画モード

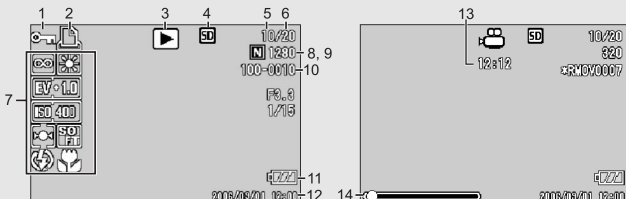
	名称	参照先		名称	参照先
1	フラッシュ	P.38	14	シャープネス	P.68
2	マクロ撮影	P.37	15	色の濃さ	P.72
3	セルフタイマー	P.44	16	露出補正	P.78
4	モードの種類	P.16、39	17	ISO感度	P.81
5	記録先	P.22	18	日付入れ撮影	P.77
6	残り記録枚数	P.232	19	インターバル撮影	P.74
7	画質	P.61	20	長時間露光	P.73
8	画像サイズ	P.61	21	ブレ軽減	P.63
9	Bluetooth® アンテナ、無線LANアンテナ（Caplio 500SE-Wのみ）	P.153 P.189	22	電池マーク	P.19
			23	手ブレ注意マーク	P.32
			24	絞り値	P.229
10	ズームバー	P.36	25	シャッタースピード	P.229
11	フォーカス	P.64	26	フレームレート	P.84
12	ホワイトバランス	P.79	27	残り記録時間	P.232
13	測光方式	P.67	28	記録時間	P.232



メモ

- 残り記録枚数は、撮影する被写体によってファイル容量が増減するため、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- 静止画の撮影可能枚数や動画･音声の記録時間は、記録先（内蔵メモリーまたはSDメモリーカード）の容量や撮影条件､SDメモリーカードのメーカーや種類によって異なることがあります。
- 残り記録枚数が1万枚以上のときは「9999」と表示されます。

再生するときの画面



静止画モード　　動画モード

	名称	参照先		名称	参照先
1	プロテクト	P.90	8	画質	P.61
2	DPOF	P.93	9	画像サイズ	P.61
3	モードの種類	ー	10	ファイル番号	ー
4	再生元	P.46	11	電池マーク	P.19
5	再生ファイル数	ー	12	撮影した日付	P.77 P.119
6	総ファイル数	ー	13	記録時間または経過時間	ー
7	撮影時（記録時）の設定	ー	14	インジケーター	ー



メモ

使用中、操作やカメラの状態に関するメッセージが表示されることがあります。

電池の残量表示

液晶モニターの右下に、電池の残量を示すマークが表示されます。残量がなくなる前に充電するか、または新しい電池に交換してください。

電池マーク	説明
緑色	電池の残量はまだ十分あります。
	電池の容量が減りはじめました。充電または新しい電池に交換することをお勧めします。
	電池の残量がわずかになりました。充電または新しい電池に交換してください。



注意

- ニッケル水素電池をご使用の場合、電池の種類や条件によっては、表示が出なかったり、表示や表示がすぐに出ることがあります。あらかじめ、お手持ちの電池でご確認の上、ご使用ください。
- AC アダプターをご使用の場合、表示になることがありますが、故障ではありません。そのまま引き続きご使用ください。

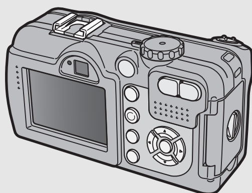
準備をする

電源を入れて撮影できるように準備します。



メモ

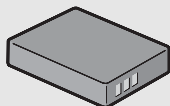
- すでにお使いのお客様は、電池を着脱する前に、電源がオフになっていることを確認してください。
- 電源をオフにする方法については、P.29をご覧ください。



電池について

リチャージャブルバッテリー DB-43（付属）

リチウムイオン電池です。バッテリーチャージャーで充電して繰り返し使用できるので、経済的です。持続時間が長いので、旅行のときなどに便利です。





メモ

以下の電池も使用できます。

- **単三アルカリ乾電池（市販）**
  どこでも入手しやすいので、旅行のときなどに便利です。
  ただし、寒冷地などの低温環境では、撮影可能枚数が少なくなります。電池を手で温めるなどして使用してください。より長い時間カメラをご使用いただくには、リチャージャブルバッテリーの利用をお勧めします。
- **ニッケル水素電池（市販）**
  充電して繰り返し使用できるので、経済的です。充電には市販の充電器をご使用ください。



撮影可能枚数

- 撮影可能枚数（電池の持続）の目安

電池の種類	通常時の枚数
リチャージャブルバッテリー（DB-43）	約400枚
単三アルカリ乾電池（市販）	約80枚

- 撮影枚数はCIPA規格に準拠した測定条件によるものです。（温度23°C、液晶モニターオン、30秒ごとに望遠端と広角端で交互に撮影、2回に1回フラッシュ発光、10枚撮影するごとに電源をオフ／オンを繰り返し）
- シンクロモニターモードにすると、さらに撮影可能枚数を増やすことができます。（☞P.53）
- 枚数はあくまでも目安です。設定、再生等の動作時間が長くなると、その分撮影可能時間（枚数）が短くなります。



注意

- 市販のニッケル水素電池はご購入時には充電されていません。ご使用の前に充電してお使いください。
- ニッケル水素電池をご使用の場合は、同時に充電完了したものをお使いください。異種電池を一緒に使用しないでください。
- ニッケル水素電池の場合、ご購入直後や1ヶ月以上使用しないで放置すると“不活性状態”となっている場合があり、そのときには電池本来の性能が発揮されません。このような場合には2〜3回充電を繰り返してから再度ご使用ください。また、カメラを使用しないでいるときも、自己放電により容量が徐々に低下するため、ご使用の前には再度充電を行ってください。
- 単三アルカリ乾電池の場合、電池の銘柄、製造日からの保存期間により電池寿命が短い場合があります。また、アルカリ乾電池はその特性上、低温時には使用時間が極端に短くなります。
- マンガン乾電池およびニッカド電池は、ご使用になれません。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 長い期間カメラをご使用にならない場合には、電池を抜いてカメラを保管してください。
- Bluetooth®機能、無線LAN機能（Caplio 500SE-Wのみ）を使用するときは、リチャージャブルバッテリー（DB-43）のご使用をお薦めします。
- リチウムイオン電池は、純正品（DB-43）をご使用ください。当社指定のリチャージャブルバッテリー以外は使用しないでください。

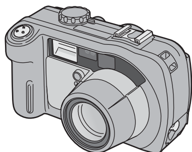
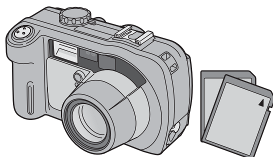
SDメモリーカード（市販）について

記録データは、カメラ本体に内蔵されているメモリーか、SDメモリーカード（市販）に記録されます。内蔵メモリーの容量は、26MBです。
静止画・動画・音声をたくさん撮りたい場合や、高画質で撮りたい場合には、容量の多いSDメモリーカードを使うと便利です。



記録先について

SDメモリーカードをセットしていないときは内蔵メモリーに記録され、SDメモリーカードをセットしているときはSDメモリーカードに記録されます。

本体のみのとき	SDメモリーカードがセットされているとき
	
内蔵メモリーに記録	SDメモリーカードに記録



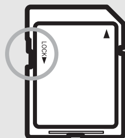
注意

- SDメモリーカードがセットされているときは、SDメモリーカードがいっぱいになっても、内蔵メモリーには記録されません。
- SDメモリーカードの金属端子部を汚さないように注意してください。



誤って記録データを消さないようにするには

カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にしておくと、記録データの削除や初期化ができなくなります。解除すれば（スイッチを元の位置に戻す）、削除も初期化もできるようになります。
大切なデータを記録したときには、「LOCK」にしておきましょう。
なお、「LOCK」の状態にするとSDメモリーカードへの記録もできなくなるので、撮影ができません。撮影時には「LOCK」を解除してください。



 *メモ*

- 再生時のSDメモリーカードと内蔵メモリーの切り替えについては、P.46をご覧ください。
- 静止画の撮影可能枚数や動画・音声の記録時間は、SD メモリーカードの容量によって異なります。(☞P.232)
- 新しいSDメモリーカードを使用する場合は、本機で初期化してからお使いください。(☞P.109)
- 本カメラ以外で使用したSDメモリーカードを使用する場合は、必要なデータを保存の上、初期化してからお使いください。
- SDHCメモリーカードは使用できません。

リチャージャブルバッテリーを充電する

リチャージャブルバッテリーは、使用する前に充電する必要があります。

1 バッテリーの⊕⊖印とバッテリーチャージャーの⊕⊖印を合わせてセットする

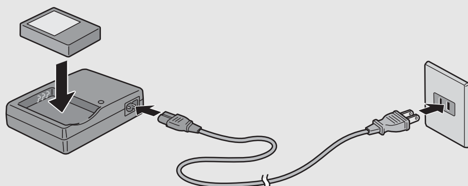
- この時、バッテリーの印刷面は上になっています。



注意 --

⊕と⊖を逆にセットしないでください。

2 バッテリーチャージャーと電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む



- 充電には専用バッテリーチャージャー（BJ-2e）をご使用ください。
- 充電が開始されます。充電ランプの表示は下表のとおりです。充電が終了したら、コンセントから抜いてください。

充電ランプ	説明
赤色点灯	充電開始
緑色点灯	充電完了
点滅	バッテリーチャージャーまたはバッテリーの異常(バッテリーチャージャーをコンセントから抜いて、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。)

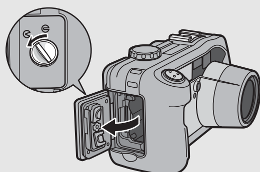
- バッテリーの残量により充電時間は異なります。

リチャージャブルバッテリーの充電時間	
DB-43	約220分(25°C)

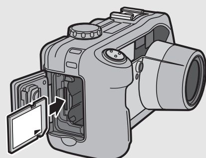
バッテリーとSDメモリーカードをセットする

リチャージャブルバッテリー（DB-43）は、本カメラで使用できる充電池です。持続時間が長く、充電により繰り返し使用でき便利です。すでにお使いのお客様は、バッテリーとカードをセットする前、または取り出す前に、電源がオフになっていることを確認してください。

1 バッテリー／カードカバーのつまみを⊖側に回してカバーを開ける

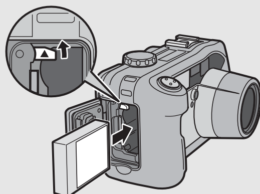


2 SDメモリーカードの向きに気を付けて、「カチッ」と音がするまでSDメモリーカードを奥へ挿入する



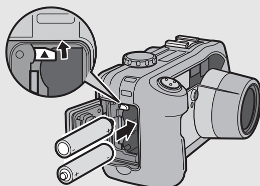
- 先にリチャージャブルバッテリーをセットしてもかまいません。

3 リチャージャブルバッテリーを挿入する



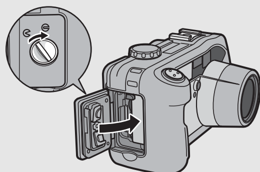
- ロックツメをバッテリー側面で押し上げながら奥まで入れます。
- セットすると、ロックツメでロックされます。

単三アルカリ乾電池（市販）の場合



- 電池の向きに気をつけて、図のように挿入します。
- 上側の電池は、ロックツメを電池側面で押し上げながら入れます。

4 バッテリー／カードカバーを閉じて、つまみを⊖側に回す



SDメモリーカードを取り出すときには

バッテリー／カードカバーのつまみを⊖側に回してカバーを開けます。SDメモリーカードを押し込んで指を静かにはなすと、SDメモリーカードが押し出されますので、つまんで取り出します。

リチャージャブルバッテリーを取り出すときには

バッテリー／カードカバーのつまみを⊖側に回してカバーを開けます。ロックツメを押しながらずらすとバッテリーが押し出されますので、つまんで取り出します。このとき、バッテリーが落下しないよう十分に注意してください。

単三アルカリ乾電池を取り出すときには

バッテリー／カードカバーのつまみを⊖側に回してカバーを開けます。ロックツメを押しながらずらすと乾電池が押し出されますので、つまんで取り出します。このとき乾電池が落下しないよう十分に注意してください。

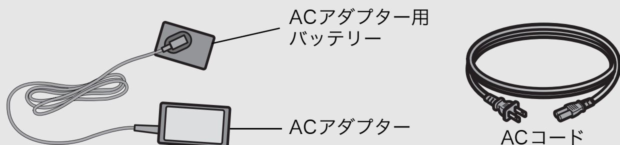


注意

- バッテリー／カードカバー、端子カバーを確実に閉めてください。水や埃がカメラ内部に入ることがあります。
- バッテリー／カードカバー、端子カバーを開閉する場合、カメラに付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所をさけて開閉してください。
- 長時間カメラをご使用にならない場合は、電池を抜いてカメラを保管してください。抜いた電池は涼しい場所に保管してください。
- リチャージャブルバッテリー、およびSDメモリーカードをセットするときは、挿入する向きを間違えないようご注意ください。向きを間違えたまま無理にバッテリー／カードカバーを閉じると、カメラ本体やリチャージャブルバッテリー、SDメモリーカードを破損する恐れがあります。

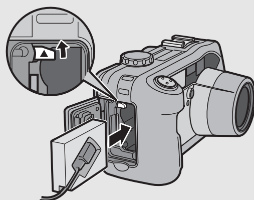
ACアダプター（別売り）を使う

撮影や静止画を見るために長時間使用したり、パソコンと接続する場合は、ACアダプター（別売り）を接続して、家庭用コンセントから電源をとることをお勧めします。すでにお使いのお客様は、ACアダプターをセットする前に、電源がオフになっていることを確認してください。



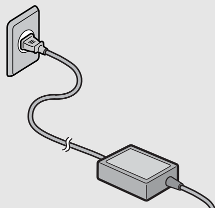
1 バッテリー／カードカバーのつまみを側に回してカバーを開ける

2 AC アダプター用バッテリーの側面でロックツメを押し上げながら奥まで入れる



- ロックツメでロックされるまでしっかり挿入してください。

3 AC アダプターと AC コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む





注意

- 電源プラグやACコードは、しっかりと差し込んでください。
- カメラをご使用にならないときには、ACアダプターをカメラや電源コンセントから抜いておきましょう。
- カメラを使用中にACアダプターを取り外したり、電源プラグがコンセントから抜けたりすると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプターは、バッテリー／カードカバーを開けたまま使用します。無理に閉じないでください。
- ACアダプターをご使用の際は、電池残量マークがフルにならないことがあります。
- ACアダプターは、水のかかる場所やほこりの多い場所で使用しないでください。

ACアダプターを取り外すには

ACアダプターを取り外す前に、電源がオフになっていることを確認してください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 ロックツメを押しながらずらすとアダプターが押し出されるので、つまんで取り出す

3 バッテリー／カードカバーを閉じて、つまみを ⊖ 側に回す



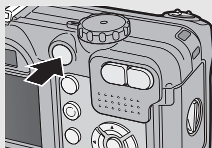
注意

バッテリー／カードカバー、端子カバーを開閉する場合、カメラに付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所をさけて開閉してください。

電源をオン／オフする

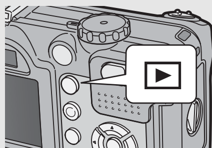
電源をオンにする

1 電源ボタンを押す



- 起動音が鳴り、オートフォーカス／フラッシュランプが、数秒間点滅します。

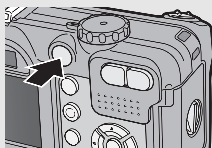
再生モードで使うときには



- ▶（再生）ボタンを約 1 秒以上押し続けると、再生モードの状態で電源がオンになり、再生モードで使用できます。

電源をオフにする

1 電源ボタンを押す





注意

- ▶（再生）ボタンで電源をオンにした場合は、もう一度 ▶（再生）ボタンを押すと、記録モードになります。
- フラッシュを使用する設定になっている場合は、フラッシュを使用しない設定の場合よりも、電源をオンにしてから撮影可能状態になるまでの時間が、長くかかります。



オートパワーオフについて

- 設定した時間内にカメラのボタンを押す操作をしないと、節電のために自動的に電源がオフになります（オートパワーオフ）。
- オートパワーオフの設定は変更することもできます。（☞P.113）

日時を合わせる

はじめて電源をオンにしたときは、日時の設定画面に進みます。

1 ▲▼◀▶ ボタンを押して、年・月・日・時・分を設定する

- ▲▼で数値を変更し、◀▶で項目を移動します。

出荷時の設定

2 ［書式］で日時の書式を選ぶ

- ▲▼で書式を選択します。

3 画面の表示を確認し、MENU/OKボタンを押す

- 日時が設定されます。
- この画面でDISP.ボタンを押すと、設定をキャンセルできます。



メモ--

- 電池を取り出してから約1週間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。再度、設定しなおしてください。
- 日時を保持させるためには、充分に残量のある電池をカメラに2時間以上セットしてください。
- 設定した日時は後で修正することができます。（☞P.119）
- 日時を入れて撮影することができます。（☞P.77）

撮影する

準備ができたら、さっそく撮影してみましょう。

カメラの構えかた

カメラは次のように正しく構えて撮影しましょう。

1 カメラを両手でしっかりと持ち、両ひじを軽く身体につける

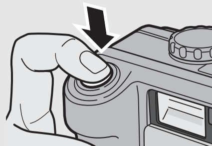
液晶モニターを見ながら撮る



ファインダーを見ながら撮る



2 シャッターボタンに指を当てる





注意

- 指や髪、ストラップなどがレンズやフラッシュ発光部にかからないように注意してください。
- 通信時は、指がBluetooth®アンテナ部にかからないように注意してください。（☞P.153）



手ブレを防ぐには ---

シャッターボタンを押したときにカメラが動いてしまうと、静止画が鮮明に撮れません（手ブレ）。
次のような場合には、手ブレが起きやすいので注意しましょう。

- フラッシュを使わずに暗い場所で撮る
- ズームを使って撮る
- 長時間露光を設定して撮る（☞P.73）

液晶モニターに手ブレマークが表示されたときは、手ブレしやすい状態ですので次の方法を試してください。

- ブレ軽減機能を使う（☞P.63）
- フラッシュを［AUTO］または［強制発光］にする（☞P.38）
- ISO感度を上げる（☞P.81）
- セルフタイマーを使う（☞P.44）

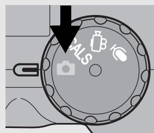
撮る

シャッターボタンを押す操作は、2段階になっています。一気にシャッターボタンを押しきる操作を「一気押し」、半分まで押す操作を「半押し」といいます。

シャッターチャンスを逃さず撮る（一気押し）

高速でピント調整が行われ、撮りたい瞬間を逃さず撮影できます。

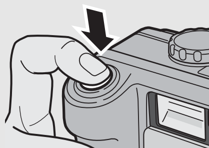
1 電源をオンにして、モードダイヤルを📷/CALSに合わせる



2 液晶モニターまたはファインダーを見ながら構図を決め、被写体を中央に合わせてシャッターボタンを静かに押しきる（一気押し）







- 撮影した画像が液晶モニターに表示され、内蔵メモリーまたはSDメモリーカードに保存されます。



注意

一気押しで撮影すると手ブレを起こしやすくなります。カメラを両手でしっかりと持って撮影してください。



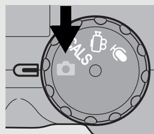
メモ

撮影後、液晶モニターに画像が表示される時間を設定することができます。表示しないこともできます。（☞P.116）

ピント合わせを確認して撮る（半押し／フォーカスロック）

シャッターボタンを半押しすると、自動的にピント合わせが行われ、さらにシャッターボタンを押しきると撮影されます。被写体が構図の中央にないときには、ピント合わせ後に構図を決めます（フォーカスロック）。

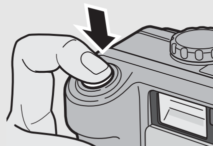
1 電源をオンにして、モードダイヤルを📷/CALSに合わせる



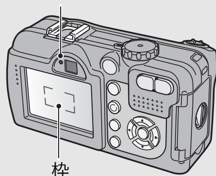
2 液晶モニターの中央に被写体をあわせ、シャッターボタンを半押しする



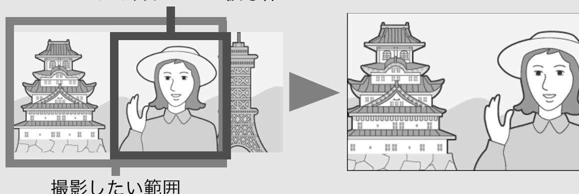




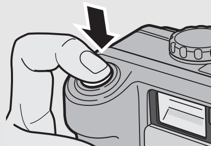
- ピント合わせが行われ、露出が固定されます。
- ピントが合わない場合は、液晶モニター中央部の枠が赤く点灯し、オートフォーカス／フラッシュランプが緑色に点滅します。
- 最大5点で測距され、どの位置にピントを合わせているかが、緑の枠で表示されます。



3 被写体にピントを合わせた状態で背景を撮りたい場合などは、半押しのままカメラを動かして構図を決める



4 シャッターボタンをそのまま静かに押しきる



- 撮影した画像が液晶モニターに表示され、内蔵メモリーまたはSDメモリーカードに保存されます。



ピント合わせについて

ピント合わせの状態は、液晶モニター中央の枠の色とオートフォーカス／フラッシュランプで確認することができます。

ピント合わせの状態	枠の色	オートフォーカス／フラッシュランプ
ピント合わせ前	白	消灯
ピントが合ったとき	緑	緑点灯
ピントが合わなかったとき	赤点滅	緑点滅



メモ

- 手ブレを防ぐために、シャッターボタンを押すときは、静かに押しましょう。
- マークが表示された場合には、手ブレしやすい状態であることを示しています。カメラを固定するようにしっかりと構えて、再度ピント合わせを行ってください。また、ブレ軽減機能をオンにすると、手ブレを起きにくくすることができます。（☞P.63）
- フラッシュ発光時は、AE ／ AF（自動露出／オートフォーカス）の精度を上げるため、2回発光します。

ズームを使って撮る

[▴]（広角）ボタンを押すと、広い範囲を写すことができます。
[▲]（望遠）ボタンを押すと、被写体を大きく写すことができます。





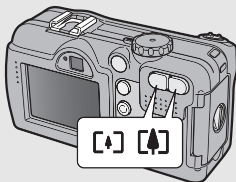


広角　望遠



1 撮影できる状態で、[▴]（広角）ボタンや[▲]（望遠）ボタンを押す

- 液晶モニターのズームバーでズームの状況が確認できます。



2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

3 シャッターボタンを押しきる



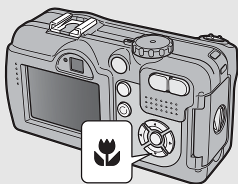


デジタルズームを使う ---

デジタルズームを行うと、[▲]（望遠）ボタンを押して設定した拡大倍率（最大3.0倍）より、さらに被写体を拡大できます（最大4.0倍まで）。デジタルズームを使うには、ズームバーの表示で、ズームが[▲]（望遠）側の端まできたときに、いったん[▲]ボタンから指を離し、再び[▲]ボタンを押し続けます。

接写で撮る（マクロ撮影）

🌷（マクロ）ボタンを使うと、レンズを被写体に接近させて撮影できます（マクロ撮影）。
最短約5mm（カメラ前端より）まで近づけることができるので、小さな被写体の撮影に便利です。



1 撮影できる状態で、🌷（マクロ）ボタンを押す

- 液晶モニター中央に一瞬 🌷 が大きく表示され消えた後、上部に🌷が表示されます。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

3 シャッターボタンを押しきる

- マクロモードを解除するには、もう一度🌷（マクロ）ボタンを押します。





メモ

- ズームを使用しているときには、次の距離までのマクロ撮影ができます。

	距離	撮影範囲
広角時	約5mm（カメラ前端より）	約27×20mm
望遠時	約10cm（カメラ前端より）	約51×38mm（デジタルズーム未使用時）
		約12.8×9.5mm（デジタルズーム4倍時）

- マクロ撮影では、カメラを動かさずにカメラのボタン操作だけでフォーカスロックができるAFターゲット移動機能が使用できます。三脚を使った撮影時に便利です。（☞P.58）
- マクロ撮影で、より被写体を大きく撮りたいときには、シーンモードの［ズームマクロ］を使います。（☞P.39）

フラッシュを使って撮る

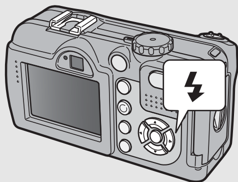
ϟ（フラッシュ）ボタンを使うと、フラッシュモードを切り替えることができます。購入時には、[発光禁止]に設定されています。フラッシュの光が届く距離（レンズ先端より）は、ISO感度の設定が［AUTO］の状態で、約0.2～10.0m（広角）、約0.2～6.5m（望遠）です。

フラッシュモードの種類

(発光禁止アイコン)	発光禁止	フラッシュを発光しません。
(AUTOアイコン)	AUTO	逆光や被写体が暗いときには、自動的にフラッシュを発光します。
(赤目軽減アイコン)	赤目軽減	人物を撮影するときに、人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。
(強制発光アイコン)	強制発光	必ずフラッシュを発光します。
(SLOWアイコン)	スローシンクロ	シャッタースピードを遅くして発光します。人物を入れた夜景の撮影に適します。手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。

1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 ϟ（フラッシュ）ボタンを押して、フラッシュモードを切り替える



- 液晶モニター中央に、一瞬フラッシュモードのマークが大きく表示され消えた後、左上にフラッシュモードのマークが表示されます。
- フラッシュ充電中はオートフォーカス／フラッシュランプが点滅します。充電が完了すると消灯し、撮影が可能になります。



メモ

- ϟ（フラッシュ）ボタンを押して変更するまで、フラッシュモードの設定内容は保持されます。
- 動画、連写では、発光禁止になります。
- フラッシュ発光時は、AE／AF（自動露出／オートフォーカス）の精度を補助するため、予備発光します。
- 近距離の撮影でフラッシュを使用した場合、撮影した画像の左下にレンズ凸部による影が出ることがあります。

撮影シーンに合わせて撮る

シーンモードを使うと、5種類の静止画モードが選択でき、自動的にシーンに適した設定で撮影できます。

シーンモードの種類

高感度	薄暗い場所で撮るときに使います。液晶モニターも見やすくなります。
消防	火災現場の困難な状況で撮影するときなどに使用します。2.5m固定焦点で撮影するので、炎や煙、水蒸気などオートフォーカスの苦手な火災現場でボケることなく撮影できます。ISO感度アップにより遠くまでフラッシュが届き、フラッシュを使用しない場合でもシャッタースピードを制御して手ブレを防ぎます。その他、シャープネス処理描写、液晶モニターの感度をアップするなど消防対応のモードです。
斜め補正	掲示板や名刺などの四角い被写体を斜め方向から撮影する場合、撮影した画像を正面から撮影したように補正し、変換します。詳しい操作手順はP.41で説明しています。 斜め補正モードでは、[画質・サイズ]は、[F1280]、[N1280]、[N640]から選択できます。(☞P.61)
文字	会議でホワイトボードに書かれたメモを撮影するときなどに使用します。 文字の濃淡を変えることもできます。(☞P.57) 画像サイズは、3264×2448、2048×1536から選択できます。(☞P.61)
ズームマクロ	通常のマクロ撮影よりも、被写体をより大きく撮影したい場合に使います。デジタルズームを使うことによって通常のマクロ撮影よりも、被写体をより大きく撮影できます。詳しい操作手順はP.42で説明しています。 光学ズームは使用できません。 次の距離までのマクロ撮影ができます。 デジタルズーム未使用時:カメラ前端より約5mm (撮影範囲:約27×20mm) デジタルズーム4倍時:カメラ前端より約5mm (撮影範囲:約6.8×5mm)



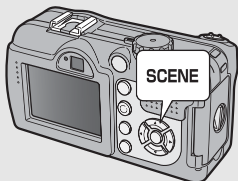
メモ

シーンモード時の撮影設定メニュー項目や、機能の制限については、付録を参照してください。(☞P.237)

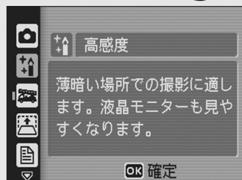
1 モードダイヤルを📷に合わせる

2 SCENEボタンを押す

- シーンモード選択画面が表示されます。



3 ▲▼ボタンを押して、シーンモードを選ぶ



4 MENU/OKボタンを押す

- 液晶モニター上部にシーンモードの種類が表示されます。



5 シャッターボタンを押して撮影する

シーンモードを変更するには

SCENEボタンを押すと、シーンモード選択画面が表示されますので、変更するシーンモードを選びます。

通常の撮影モードに戻るには

1. SCENEボタンを押して、シーンモード選択画面を表示する
2. ▲▼ボタンを押して、[通常撮影] を選択する
3. MENU/OKボタンを押す

斜め補正モードを使うには

1 モードダイヤルを📷に合わせる

2 SCENEボタンを押す

- シーンモード選択画面が表示されます。

3 ▲▼ボタンを押して、[斜め補正]を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す

5 シャッターボタンを押して撮影する

- 処理中のメッセージが表示され、補正対象として認識したエリアがオレンジの枠で表示されます。最大5つのエリアが認識できます。
- エリアが検出できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。変換前の画像は記録されたまま残ります。
- 別の補正エリアを選択する場合は、▶ボタンを押して目的のエリアまでオレンジ色の枠を移動します。
- 変換をキャンセルする場合は、▲ボタンを押します。変換をキャンセルした場合、変換前の画像は記録されたまま残ります。

6 MENU/OKボタンを押す

- 処理中のメッセージが表示され、変換後の画像が記録されます。変換前の画像も残ります。



注意 --

[斜め補正]に設定した場合は、以下の点にご注意ください。

- 被写体がなるべく大きくなるように、被写体の全体が液晶モニターの表示に入るような構図で撮影してください。
- 以下のようなときには被写体を認識できないことがあります。
  - ピンぼけの画像
  - 被写体の4辺がはっきり見えない
  - 被写体と背景の区別がつきにくい
  - 背景が複雑な構図
- 変換前と変換後、2枚の画像が記録されます。記録可能枚数が2枚未満の場合には、撮影できません。

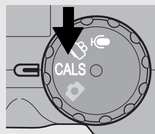
ズームマクロで撮影するには

1. モードダイヤルを📷に合わせる
2. SCENEボタンを押す
   - シーンモード選択画面が表示されます。
3. ▲▼ボタンを押して、[ズームマクロ]を選ぶ
4. MENU/OKボタンを押す
5. 〔♠〕（広角）ボタンや〔♠〕（望遠）ボタンを押す
   - 液晶モニターに倍率が表示されます。
6. 構図を決めてシャッターボタンを半押しする
7. シャッターボタンを押しきる

CALSモードで撮る

CALSモードを選択すると、[画質・サイズ] が工事写真提出用(国土交通省、東・中・西日本高速道路株式会社提出準拠：1M、400K以下)に適した [N1280] (Normal 1280×960) に固定されます。モードダイヤルの簡単な操作だけで、画質モードや画像サイズの設定に気を取られることなく、工事写真が撮影できます。

1 モードダイヤルをCALSに合わせる



- 液晶モニターにマークが表示されます。



2 シャッターボタンを押して撮影する

- 画像が [N1280] で記録されます。
- モードダイヤルを CALS 以外に合わせると、[画質・サイズ] は他のモードでの設定値に戻ります。



メモ--

CALSモードのときにS連写、M連写で撮影すると、[画質・サイズ] が [N3264] (Normal 3264×2448) に固定されます。

⏲セルフタイマーを使う

セルフタイマーは、10秒後、2秒後の2種類から選択できます。
手ブレを防ぎたいときには2秒に設定すると便利です。

1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 ⏲（セルフタイマー）ボタンを押す



- セルフタイマーのマークが表示されます。
- マークの右側にある［10］は秒数を示しています。この状態でシャッターボタンを押すと、10秒後に撮影されます。
- ⏲（セルフタイマー）ボタンは、1回押すごとに、10秒→2秒→セルフタイマー解除→10秒→2秒→･･･と切り替わります。

3 シャッターボタンを押す

- ピントが固定され、セルフタイマーがスタートするとAF補助光が点滅します。



メモ

- シャッターが切れると、セルフタイマーが解除されます。
- 2秒の場合は、AF補助光は点滅しません。

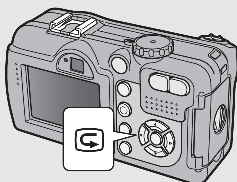
再生する

撮った静止画をすぐ確認する（クイックレビュー）

撮った静止画は、液晶モニターを使ってすぐに見ることができます。うまく撮れていなかったときは、その場で削除できます。

1 **撮影モードのまま、（クイックレビュー）ボタンを押す**

- 液晶モニターに最後に撮った静止画が表示されます。



クイックレビュー時の動作	
ボタン	撮影モードに戻ります。
Qボタン	静止画を拡大表示します。 拡大表示中は、▲▼◀▶ボタンで表示箇所を移動することができます。
ボタン	Qボタンで拡大した静止画を縮小表示します。
MENU/OK ボタン	Qボタンで拡大した静止画を最大倍率で拡大して表示します。 最大倍率で表示されているときは、全体表示に戻します。
ボタン	表示中のファイルを削除することができます。ボタンを押すと削除を確認する画面が表示されますので、［削除］を選びMENU/OKボタンを押してください。



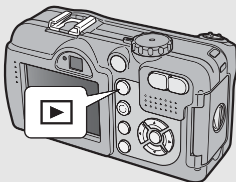
メモ

- いったん電源をオフにすると、静止画モードで（クイックレビュー）ボタンを押しても、撮影した静止画は表示されません。
- シーンモードの［文字］（☞P.39）で撮影した静止画をクイックレビューで表示すると、実際に記録された静止画より若干画質が低い状態で表示されることがあります。

撮った静止画を見る

再生モードを使うと、撮った静止画を確認することができます。削除、拡大表示もできます。

1 ▶（再生）ボタンを押す



- 再生モードに切り替わり、最後に撮った静止画が表示されます。
- ◀▶ボタンで、順番に静止画を見ることができます。
- 再生モードから撮影モード（または音声モード）に戻るには、もう一度▶（再生）ボタンを押します。







前へ　　次へ



再生モードでの電源オンについて

電源がオフの状態で▶（再生）ボタンを約1秒以上押し続けると、電源がオンになり、再生モードの状態で起動します。

▶（再生）ボタンで電源をオンにした場合も、もう一度▶（再生）ボタンを押すと、撮影モードになります。

再生元について

SDメモリーカードをセットしていないときには､内蔵メモリーから再生され、SDメモリーカードをセットしているときにはSDメモリーカードから再生されます。

3コマ表示／一覧表示する（サムネイル表示）

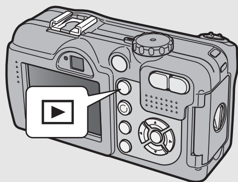
再生画面は3コマ表示または一覧表示（12枚ずつ）にすることができます。3コマ表示／一覧表示では、静止画を選択して、その静止画を1枚表示にしたり、削除することができます。

再生画面は次のように切り替わります。

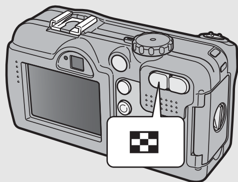


1 ▶（再生）ボタンを押す

- 最後に撮った静止画が表示されます。



2 ▦（サムネイル表示）ボタンを押す



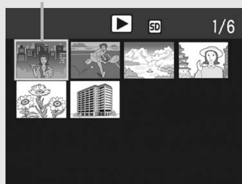
- 3コマ表示に変わります。中央の大きなコマが現在選択されている静止画です。



3 3コマ表示時に再度▣（サムネイル表示）ボタンを押す

- 画面が12分割されて、静止画が一覧表示されます。

選択されている静止画



1枚表示するには

●3コマ表示の場合

1. ◀▶ボタンを押して静止画を選ぶ
2. Q（拡大表示）ボタン、またはMENU/OKボタンを押す

●一覧表示の場合

1. ▲▼◀▶ボタンを押して静止画を選ぶ
2. Q（拡大表示）ボタンを2回押す


メモ

3コマ表示で次の操作を行うと、通常の再生画面（1枚表示）に戻って操作を実行します。
- 削除する（☞P.50）
- メニューを表示する（☞P.88）
- 動画を再生する（☞P.85）
- 音声を再生する（☞P.87）

静止画を拡大表示する

表示している静止画を拡大表示することができます。

画像サイズ	拡大表示（最大倍率）
3264×2448、2592×1944、2048×1536	8倍
1280×960	6.7倍
640×480	3.4倍

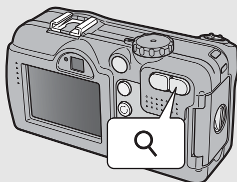
1 ▶（再生）ボタンを押す

- 最後に撮った静止画が表示されます。

2 ◀▶ボタンを押して拡大表示したい静止画を表示する

3 Q（拡大表示）ボタンを押す

- 静止画が拡大されます。



画像拡大時の動作	
Qボタン	静止画を拡大表示します。 拡大表示中は、▲▼◀▶ボタンで表示箇所を移動することができます。
▦ボタン	拡大表示された静止画を元の大きさに戻します。
MENU/OK ボタン	静止画を最大倍率で拡大して表示します。 最大倍率で表示されているときは、元の大きさに戻します。



メモ---

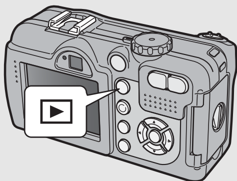
- クイックレビュー時にも拡大表示できます。
- 動画は拡大表示することができません。

削除する

不要なファイルや失敗したファイルを、SDメモリーカードまたは内蔵メモリー内から削除することができます。

1ファイルを削除する

1 ▶（再生）ボタンを押す



2 ◀▶ ボタンを使って削除したいファイルを表示する

3 🗑（削除）ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、[1ファイル削除] を選ぶ



- ◀▶ ボタンを使って削除するファイルを変更できます。

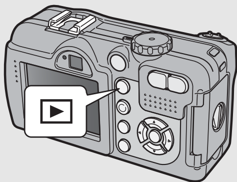
5 MENU/OKボタンを押す

- 処理中のメッセージが表示され、削除が完了すると、手順4の画面に戻ります。

すべてのファイルを削除する

1 ▶（再生）ボタンを押す

2 🗑（削除）ボタンを押す



3 ▲▼ボタンを押して、[全削除]を選ぶ



4 MENU/OKボタンを押す

- 削除の確認画面が表示されるので、▶ボタンを押して［はい］を選び、MENU/OKボタンを押します。

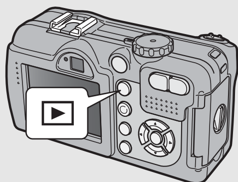


メモ

3コマ表示の状態（☞P.47）で、🗑（削除）ボタンを押しても、ファイルを削除できます。

複数のファイルを一度に削除する

1 ▶（再生）ボタンを押す



2 ⊞（サムネイル表示）ボタンを2回押す

- 画面が12分割されて、ファイルがサムネイル表示されます。

3 ▲▼◀▶ボタンを押して、削除したいファイルを選び、🗑（削除）ボタンを押す

- ファイルの左上にゴミ箱のマークが表示されます。

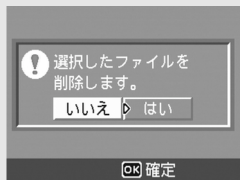


4 手順3を繰り返して、削除したいファイルをすべて選択する

- 間違えて選択したときには、ファイルを選択して🗑（削除）ボタンを再度押すと解除できます。

5 MENU/OKボタンを押す

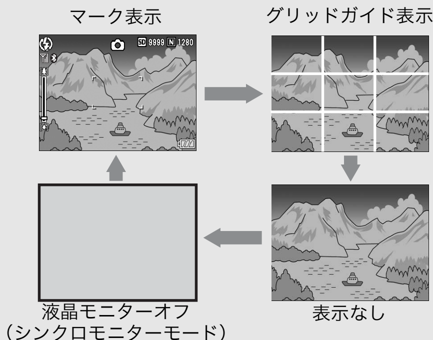
6 ◀▶ボタンを押して［はい］を選び、MENU/OKボタンを押す



- 処理中のメッセージが表示され、削除が完了すると、一覧の画面に戻ります。

DISP.ボタンで画面表示を切り替える

DISP.ボタンを押すと、マークの表示／非表示を切り替えるなど、画面の表示状態を変更することができます。
DISP.ボタンは、1回押すごとに、グリッドガイド表示→表示なし→液晶モニターオフ→通常のマーク表示→・・・と切り替わります。





グリッドガイド表示

液晶モニターに、撮影時の補助線を表示します。実際の画像には記録されません。

シンクロモニターモード

カメラ操作時以外は、液晶モニターをオフにする機能です。節電に効果のあるモードです。シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターがオンになり、押し切ったあとに確認画面が表示され、液晶モニターがオフになります。

画面の輝度を最大にする

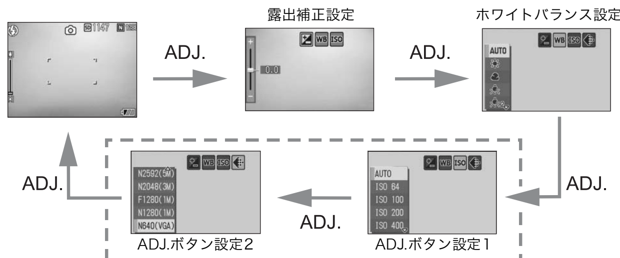
DISP.ボタンを押し続けると、画面の輝度が最大になります。
輝度が最大のときにDISP.ボタンを押し続けると、LCD輝度調節（☞P.111）で設定した明るさに戻ります。

応用編

目的に応じて必要なときにお読みください

ADJ.ボタンの機能

ADJ.ボタンを使うと、簡単な操作で、露出補正、ホワイトバランスなどの設定ができます。また、ADJ.ボタンには、露出補正、ホワイトバランス以外の機能を2種類登録することができます。機能を登録する操作は、セットアップメニューで行います(☞P.112)。使用頻度の高い機能を登録しておくと、簡単な操作で設定ができて便利です。



上記の画面は、[ADJ.ボタン設定1]、[ADJ.ボタン設定2] に機能を登録した場合の画面例です。ADJ.ボタンを押して、設定したい機能の画面を表示します。▲▼ボタンで値を選択し、MENU/OKボタンを押して確定します。

モード別設定可能な機能について

シーンモード、動画モード時は、ADJ.ボタンで設定できる機能が静止画モード時と異なります。ADJ.ボタンで設定できる項目は、以下のとおりです。

モード	設定できる項目
静止画モード	露出補正、ホワイトバランス、 [ADJ.ボタン設定] で登録した機能
動画モード	ホワイトバランス
シーンモード [文字]	文字濃度
シーンモード [文字] 以外	露出補正、ホワイトバランス

[ADJ.ボタン設定] で登録できる機能

ISO (ISO感度)、画質 (画質・サイズ)、フォーカス、シャープネス、測光方式、連写、ブレ軽減(購入時の[ADJ.ボタン設定1]の設定)

 *メモ*

カメラメモを使用しているときは、ADJ.ボタンでP.56の設定はできません。（☞『使用説明書（ソフトウェア編）』）

文字濃度を変える（SCENE）

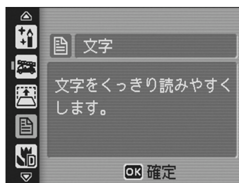
シーンモードの［文字］で撮影する（☞P.39）場合の、文字の濃淡を変更することができます。
濃淡は［濃い］、［標準］、［淡い］から選択できます。

設定の変更は、撮影設定メニューまたはADJ.ボタンを使って行います。ここでは、手順の簡単なADJ.ボタンの操作を説明します。
撮影設定メニューを使って操作する場合は、「メニューの操作方法」（☞P.60）、「シーンモードの撮影設定メニュー」（☞P.237）を参照して操作してください。

1 モードダイヤルを📷に合わせる

2 SCENEボタンを押す
- シーンモード選択画面が表示されます。

3 ▲▼ ボタンを押して、［文字］を選び、MENU/OKボタンを押す



4 ADJ.ボタンを押す
- 文字濃度のメニューが表示されます。

5 ▲▼ボタンを押して、濃度を選ぶ
- この状態でシャッターボタンを押して撮影することもできます。

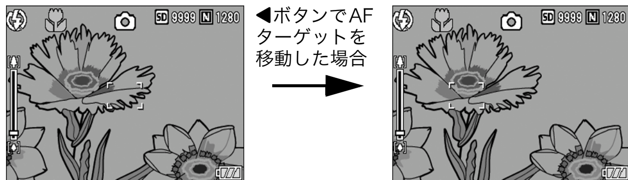
6 MENU/OKボタンを押す
- 文字濃度の設定値は画面上には表示されません。



1 いろいろな撮影

AFターゲットを移動する（マクロ）

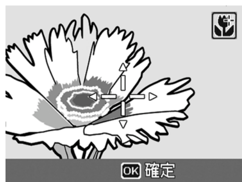
マクロ撮影時にADJ.ボタンを押すと、カメラを動かすことなく、▲▼◀▶ボタンでAFターゲットを移動することができます。AFターゲットを移動した位置でフォーカスロック（☞P.34）を行い、撮影ができます。三脚を使った撮影時に便利です。



1 **撮影できる状態で、🌷（マクロ）ボタンを押す**
- 画面にマクロモードのマークが表示されます。

2 **ADJ.ボタンを押す**

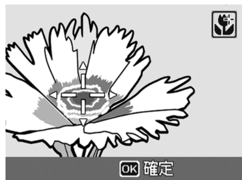
3 **AFターゲット移動画面(画面中央の十字）が表示されるまで、◀▶ボタンを押す**



4 **▲▼◀▶ ボタンでピントを合わせたい被写体に十字を移動する**

5 **MENU/OKボタンを押す**

6 **シャッターボタンを半押しする**
- 十字の位置にピント合わせが行われます。



7 **シャッターボタンをそのまま静かに押しきる**
- 以降、マクロモードを解除するまで、AF ターゲット移動機能で設定した位置にピント合わせが行われます。

撮影設定メニューについて

撮影モードでMENU/OKボタンを押すと、撮影設定メニューが表示されます。撮影設定メニューでは、次の項目を設定して撮影することができます。

モードダイヤルが📷/CALSのとき

設定項目	選択肢［購入時の初期設定値］	参照先
画質・サイズ	F3264(8M)、N3264(8M)、N2592(5M)、N2048(3M)、F1280(1M)、[N1280(1M)]、N640(VGA)	P.61
ブレ軽減	[OFF]、ON	P.63
フォーカス	[マルチAF]、スポットAF、MF、スナップ、∞	P.64
測光方式	[マルチ]、中央、スポット	P.67
シャープネス	シャープ、[標準]、ソフト	P.68
連写	[OFF]、S連写、M連写	P.69
色の濃さ	濃い、[普通]、薄い、白黒	P.72
長時間露光	[OFF]、1秒、2秒、4秒、8秒	P.73
インターバル撮影	[0秒]、30秒〜3時間	P.74
音声付き撮影	[OFF]、ON	P.76
日付入れ撮影	[OFF]、日付、日時	P.77
露出補正	-2.0〜+2.0	P.78
ホワイトバランス	[AUTO]、☀(屋外)、☁(曇天)、💡(白熱灯)、💡2(白熱灯2)、(蛍光灯)、M(手動設定)	P.79
ISO感度	[AUTO]、ISO64、ISO100、ISO200、ISO400、ISO800、ISO1600	P.81
撮影設定初期化	――――――	P.82

• シーンモード時は、選択できる項目が限られます。(☞P.237)

モードダイヤルが🎥のとき

設定項目	選択肢［購入時の初期設定値］	参照先
動画サイズ	[320]、160	P.61
フレームレート	[30コマ／秒]、15コマ／秒	P.84
フォーカス	[マルチAF]、スポットAF、MF、スナップ、∞	P.64
ホワイトバランス	[AUTO]、☀(屋外)、☁(曇天)、💡(白熱灯)、💡2(白熱灯2)、(蛍光灯)、M(手動設定)	P.79



メモ--

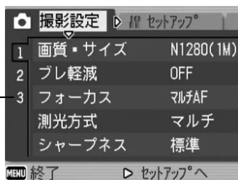
撮影設定メニューからセットアップメニュー（☞P.106）、拡張設定メニュー（☞P.154）を表示することができます。

メニューの操作方法

各設定項目の設定方法について説明します。
▲▼▶ボタンとMENU/OKボタンを押して選択、設定します。

1 撮影モードでMENU/OKボタンを押す

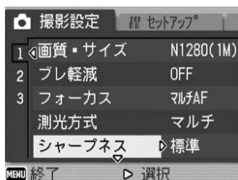
- 撮影設定メニューが表示されます。



設定画面が3画面あることを示しています。

2 ▲▼ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

- 一番下の項目で ▼ ボタンを押すと次の設定画面が表示されます。

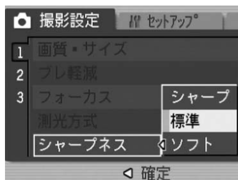


3 ▶ボタンを押す

- 設定項目の選択肢が表示されます。

4 ▲▼ボタンを押して、選択肢を選ぶ

5 MENU/OK ボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

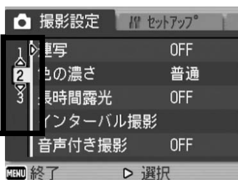


- 設定が確定します。
- 撮影設定メニューが消え、撮影できる状態になります。



画面の切り替え

- 画面番号で画面を切り替えることができます。
  1 ◀ボタンを押すと、画面左にある画面番号が選択できる状態になります。
  2 ▲▼ボタンを押して画面を切り替えます。
  3 ▶ボタンを押すと、項目を選択する状態に戻ります。



画質モード／画像サイズを選ぶ（画質・サイズ）

撮影した静止画のファイルの大きさは、画質モードと画像サイズの組み合わせによって決まります。動画の場合は動画サイズを選択します。太枠内は画面に表示されるときの名称です。

静止画の場合

画像サイズ	画質モード	画質・サイズ	備考
3264×2448	F(Fine) N(Normal)	F3264(8M) N3264(8M)	• パソコンに取り込んで画像を補正する • 大きくプリントする
2592×1944	N(Normal)	N2592(5M)	
2048×1536	N(Normal)	N2048(3M)	• 大きくプリントする
1280×960	F(Fine) N(Normal)	F1280(1M) N1280(1M)	• 工事写真提出用に使用する
640×480	N(Normal)	N640(VGA)	• 枚数を多く撮る • メールに添付 • ホームページ用の画像として使用

- CALSモード時は、［N1280(1M)］に固定されます。
- シーンモードの［斜め補正］の場合は、1280 × 960、640 × 480から選択できます。
- シーンモードの［文字］の場合は、3264×2448、2048×1536から選択できます。

動画の場合

画像サイズ	動画サイズ
320×240	320
160×120	160

- 動画の場合、さらにフレーム数を選択することができます。（☞P.84）

1
いろいろな撮影

 *メモ*

- 画質モードは圧縮率によりNormalモード（N）とFineモード（F）があります。
  Normalモード：画像の圧縮率は高くファイルサイズは小さくなります。通常はこのモードで撮影します。
  Fineモード：画像の圧縮率は低くファイルサイズは大きくなります。Normalモードより高画質です。
- 内蔵メモリー／SDメモリーカードに記録できる枚数は、[画質・サイズ］によって異なります。（☞P.232）

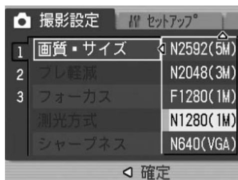
1 モードダイヤルを📷/🎥に合わせる

2 MENU/OKボタンを押す

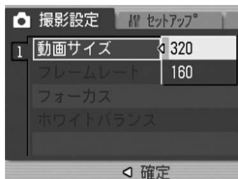
- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して［画質・サイズ］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ



静止画の場合



動画の場合

5 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

- 画面に設定値が表示されます。

ブレ軽減機能で撮影する（ブレ軽減）

撮影時の手ブレと被写体ブレを軽減させることができます。

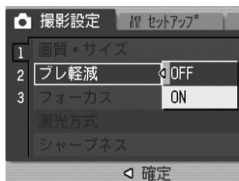
1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 MENU/OKボタンを押す

- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して［ブレ軽減］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、［ON］を選ぶ



5 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

- 画面にブレ軽減マークが表示されます。



注意--

- ISO感度が［AUTO］以外、または長時間露光が［OFF］以外に設定されていると、ブレ軽減機能は動作しません。ISO感度は［AUTO］に（☞P.81）、長時間露光は［OFF］に設定してください（☞P.73）。
- 暗い場所や被写体が大きく揺れているときは、ブレを軽減できないことがあります。

メモ--

手ブレがしやすい状態だと手ブレマークが表示されます。（☞P.32）

1 いろいろな撮影

ピント合わせの方式を変える（フォーカス）

ピント合わせの方式を初期設定のまま撮影すると、オートフォーカス（AF）でピント合わせが行われます。
ピント合わせ（フォーカス）の方式には、次の5種類があります。

選択できるピント合わせの方式

マーク	方式	内容
なし	マルチAF	17箇所のAFエリアから自動的に最大5箇所を測距し、最も近い位置にピントを合わせます。中抜けを防止し、ピンボケの少ない撮影ができます。
なし	スポットAF	このAFエリアを液晶モニター中央の1箇所に固定し、ピントを合わせます。
MF	MF（マニュアルフォーカス）	手動でピントを合わせるときに使います。
S	スナップ	近距離（約2.5m）にピントを固定します。
∞	∞（無限遠）	無限遠にピントを固定します。 無限遠は、遠くの風景などを撮影するときに使います。

1 モードダイヤルを📷/CALS/🎥に合わせる

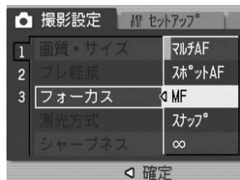
2 MENU/OKボタンを押す

- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して［フォーカス］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

5 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



手動でピントを合わせて撮影する（MF）

オートフォーカスでピントが合わないときには、手動でピントを合わせることができます（MF：マニュアルフォーカス）。
マニュアルフォーカスでは、撮影距離を固定して撮影することができます。


メモ---

- シーンモードでは、[ズームマクロ] と [斜め補正] のときのみマニュアルフォーカスが使用できます。
- マニュアルフォーカスでは、マクロモードにしなくても、マクロ撮影が可能な距離の被写体にピントを合わせることができます。

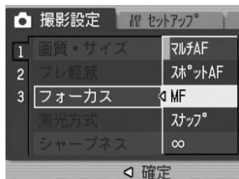
1 モードダイヤルを📷/CALS/🎥に合わせる

2 MENU/OKボタンを押す

- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して［フォーカス］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、［MF］を選ぶ



5 MENU/OKボタンを押す

- 画面に［MF］と表示されます。



6 必要に応じて、▼ボタンを押す

- ▼ボタンを押すと拡大表示になり、ピントが合わせやすくなります。

7 ◀ボタンを押して、フォーカスバー／ズームバー表示をフォーカスバー表示にする



- ◀ボタンを押すたびに、フォーカスバー表示とズームバー表示が切り替わります。

8 [♠]（望遠）ボタンや[♣]（広角）ボタンを押してピントを合わせる

- [♠]（望遠）ボタンを押すと遠距離方向に移動します。
  [♣]（広角）ボタンを押すと近距離方向に移動します。

9 シャッターボタンを押して撮影する

 *メモ*---

ズームバー表示のときには、[♠]（望遠）ボタンや[♣]（広角）ボタンでズームバーを操作することができます。

測光方式を変える（測光方式）

露出値を決めるときの測光方式（どの範囲で測光するか）を変更することができます。
測光方式には、次の3種類があります。

選択できるモードの種類

マーク	モード	内容
（マーク表示なし）	マルチ	撮影範囲全体を256に分割して、それぞれで測光して総合的に判断します。
[中央重点測光マーク]	中央	中央部分に重点を置きつつ、全体を測光して判断します。 中央と周辺の明るさが異なるときに使います。
[スポット測光マーク]	スポット	中央部分のみで測光して判断します。 中央の明るさに強制的に合わせたいときに使います。逆光やコントラストの差が著しいときなどに役立ちます。

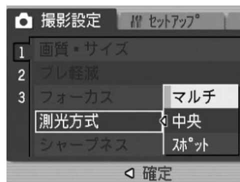
1 モードダイヤルを[カメラマーク]/CALSに合わせる

2 MENU/OKボタンを押す

- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して［測光方式］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ



5 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

- 画面にマークが表示されます。



1 いろいろな撮影

静止画の質感を変える（シャープネス）

静止画の質感をシャープにしたりソフトにしたりすることができます。

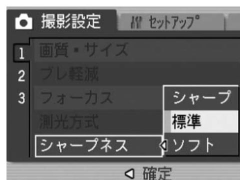
1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 MENU/OKボタンを押す

- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して［シャープネス］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ



5 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

- 画面にマークが表示されます。

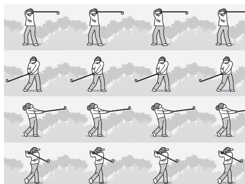


1 いろいろな撮影

連写で撮る（S連写／M連写）

連写に設定すると、連続撮影ができます。
連写には次の2種類があります。

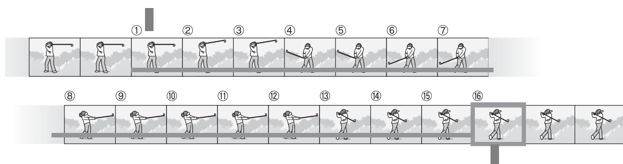
S（ストリーム）連写



シャッターボタンを押し切った瞬間から撮影間隔1/7.5秒で16枚（約2秒間）連続撮影します。
16枚の静止画を1組にして、1つの画像ファイル（3264×2448ピクセル）として記録します。

M（メモリー逆戻り）連写

シャッターボタンを離した瞬間からさかのぼった約2秒を連続撮影します。
16枚の静止画を1組にして、1つの画像ファイル（3264×2448ピクセル）として記録します。



 *メモ*---

- S連写／M連写のとき、ISO感度を［ISO 64］、［ISO 100］に設定しても［AUTO］になります。

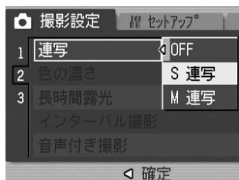
1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 MENU/OKボタンを押す

• 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して［連写］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、［S連写］または［M連写］を選ぶ



5 MENU/OK ボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

• 画面にマークが表示されます。



 S連写のとき

6 構図を決めて、シャッターボタンを押す

• 自動的に16枚連続して撮影されます。

M連写のとき

6 構図を決めて、シャッターボタンを押す

• カメラが被写体を記憶（メモリー）します。

7 シャッターボタンを離す

• 連写が終了し、直前の約2秒間（16枚）を1枚の静止画として記録します。

メモ--

• 通常の1枚ごとの撮影に戻したいときには、上記の手順1～3を行い、手順4で［OFF］を選択してMENU/OKボタンを押します。
• M連写では、シャッターボタンを押しはじめてから、2秒以内にシャッターボタンを離した場合は、シャッターボタンを押してから離すまでが撮影記録され、連続撮影枚数は16枚より少なくなります。
• フラッシュは、発光禁止になります。
• 連写中は、液晶モニターはオフになります。

S連写／M連写した静止画を拡大して見る

S連写、M連写で撮影した静止画（16枚1組になった画像ファイル）を表示している際、16枚の中の1枚（コマ）を拡大表示することができます。拡大表示後は、1コマずつコマ送りすることもできます。
S連写、M連写で撮影した1コマを拡大表示して見るには、次のように操作します。

1 ▶（再生）ボタンを押す

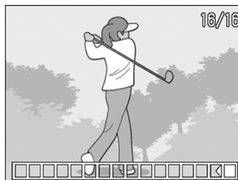
- 最後に撮ったファイルが表示されます。

2 ◀▶ボタンを使ってS連写またはM連写で撮影した静止画を表示する



3 Q（拡大表示）ボタンを押す

- 連写した先頭の1コマが拡大表示されます。液晶モニターの下部にはコマ位置を示すバーが表示されます。
- ◀▶ ボタンを押すと、コマを移動することができます。16枚の表示に戻すには、MENU/OKボタンを押します。



 *メモ*--

DISP.ボタンを押すたびに、液晶モニター下部のバーの表示、グリッドガイド表示、表示なしを切り替えることができます。（☞P.53）

色の濃さを設定する（色の濃さ）

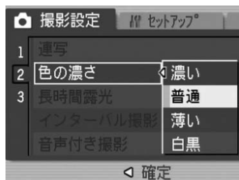
撮影する静止画の色の濃さを［濃い］、［普通］、［薄い］、［白黒］の4種類から選択できます。

1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 MENU/OKボタンを押す
- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して［色の濃さ］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ



5 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す
- ［普通］以外を選択した場合は、画面にマークが表示されます。



1

いろいろな撮影

長時間露光を設定する（長時間露光）

長時間露光は［1秒]、［2秒]、［4秒]、［8秒］から選択できます。長時間露光を設定すると、夜景を写したときに、花火や車などの被写体の軌跡を撮影することができます。

1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 MENU/OKボタンを押す

- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して［長時間露光］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ



5 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

- 画面に設定値が表示されます。



 *メモ*---

- 長時間露光を設定したときには、シャッタースピードが遅くなり、手ブレを起こすことがあります。三脚等を使用して撮影してください。
- 長時間露光が［OFF］以外に設定されていると、ブレ軽減機能は動作しません。
- 長時間露光を設定して撮影した場合、撮影中は液晶モニターの表示が消えます。

一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）

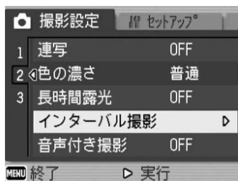
設定した時間間隔で、自動的に撮影することができます。
撮影間隔は、30秒～3時間の間で30秒単位で設定できます。

1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 MENU/OKボタンを押す

- 撮影設定メニューが表示されます。

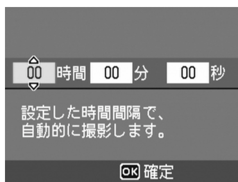
3 ▼ボタンを押して［インターバル撮影］を選び、▶ボタンを押す



4 ▲▼　ボタンを押して時間を設定する

5 ▶　ボタンを押して分の設定へ移動し、▲▼ボタンを押して、分を設定する

- ▲▼ボタンを押し続けると、高速で分の数値を増減させることができます。



6 ▶ボタンを押して秒の設定へ移動し、▲▼ボタンを押して、秒を設定する

7 MENU/OKボタンを押す

- 画面に［インターバル］と表示されます。

8 シャッターボタンを押して撮影する

- 設定した間隔で、次々に撮影されます。



9 撮影を中止するときには、MENU/OKボタンを押す

1
いろいろな撮影

 *注意*

- インターバル撮影の設定は、電源をオフにすると解除されます。
- 撮影の設定によって次の撮影が可能となるまでの時間が、インターバル撮影で設定した時間よりも長くなることがあります。その場合、設定した時間よりも撮影間隔が長くなります。

 *メモ*

- 電池残量によっては、途中でバッテリー切れになることがあります。ACアダプター（別売り）の使用をお勧めします。
- インターバル撮影中でも、シャッターボタンを押すと通常の撮影ができます。ただし、インターバル撮影モードはそのまま保持されます。最後の撮影の後、インターバル撮影で設定した時間が経過すると次の撮影が行われます。
- インターバル撮影を設定すると、連写が［M連写］に設定されていても、自動的に［OFF］に切り替わります。

音声付き撮影をするには（音声付き撮影）

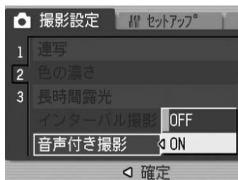
静止画に音声を付けて撮影することができます。最大8秒まで記録できます。

1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 MENU/OKボタンを押す
- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して［音声付き撮影］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、［ON］を選ぶ



5 MENU/OK ボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す
- 画面にマークが表示されます。



6 シャッターボタンを押して撮影する
- 撮影後、録音が開始されます。

7 シャッターボタンを押して録音を終了する
- シャッターボタンを押さなくても、8秒経過すると、録音は自動的に終了します。


メモ--
- 音声付きの静止画を再生する場合は、通常の音声なしの静止画と同じ操作で静止画を表示して（☞P.46）、ADJ.ボタンを押すと音声が再生されます。
- 音声再生中に▲▼ボタンを押すと、音量調整バーが表示され、▲▼ボタンの操作で音量調整ができます。

静止画に日付を入れるには（日付入れ撮影）

静止画の右下に日付（年／月／日）または日時（年／月／日時：分）を入れることができます。

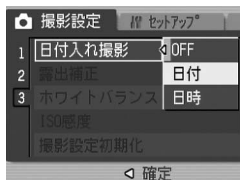
1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 MENU/OKボタンを押す

- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して、[日付入れ撮影]を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ



5 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

- 画面にマークが表示されます。



 *メモ*--

- 日付・時刻が設定されていないと［日付入れ撮影］はできません。まず、日付・時刻を設定してください。（☞P.119）
- 動画に日付を入れることはできません。

1
いろいろな撮影

露出を変える（露出補正）

静止画の写りを全体的に明るくしたり、暗くしたりするのが露出の設定です。通常、撮影範囲の中央に被写体があると自動的に逆光補正を行い、適切な露出で撮影できます。
次のような場合や、意図的に露出を変えて撮影をしたいときは、露出を変更して撮影することができます。露出は、-2.0～+2.0の間で設定できます。露出は、+になるほど明るくなり、-になるほど暗くなります。

逆光撮影の場合
背景が非常に明るい場合など、被写体が暗く（露出アンダー）なってしまうことがありますので、＋側に調整します。

白っぽい被写体を写す場合
全体的に暗くなる（露出アンダー）ため、＋側に調整します。

黒っぽい被写体を写す場合
全体的に明るくなる（露出オーバー）ため、－側に調整します。
スポットライトが当たった人物を写すときなども同様です。

設定の変更は、撮影設定メニューまたはADJ.ボタンを使って行います。ここでは、手順の簡単なADJ.ボタンの操作を説明します。
撮影設定メニューを使って操作する場合は、「メニューの操作方法」（☞P.60）を参照して操作してください。

1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 ADJ.ボタンを押して、露出補正バーが表示されるまで◀▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、値を設定する
- この状態でシャッターボタンを押して撮影することもできます。

4 MENU/OKボタンを押す
- 画面に設定値が表示されます。




メモ---
明るすぎる環境での撮影時などでは、露出オーバーとなり露出補正もできないことがあります。その場合は、[!AE] のマークが表示されます。

自然光や照明光を使う（ホワイトバランス）

白い被写体が白く写るように調整を行います。
購入時、ホワイトバランスは［オート］（自動）に設定されています。通常は変更の必要はありませんが、単一色の被写体や、複数の光源下にある被写体を撮影するときなど、ホワイトバランスの調整がうまく合いにくい場合には、設定を変更します。

選択できるモードの種類

マーク	モード	内容
AUTO	オート	自動的に調整します。
	屋外	屋外（晴天）での撮影時
	曇天	曇天や日影等での撮影時
	白熱灯	白熱灯の下での撮影時
	白熱灯2	白熱灯の下での撮影時（[白熱灯］に比べて赤みを残して撮影します）
	蛍光灯	蛍光灯の下での撮影時
[M]	手動設定	手動設定を行います。

設定の変更は、撮影設定メニューまたはADJ.ボタンを使って行います。ここでは、手順の簡単なADJ.ボタンの操作を説明します。
撮影設定メニューを使って操作する場合は、「メニューの操作方法」（☞P.60）を参照して操作してください。

1 モードダイヤルを📷/CALS/🎥に合わせる

2 ADJ.ボタンを押して、ホワイトバランスのメニューが表示されるまで◀▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、［M］以外の設定を選ぶ

- この状態でシャッターボタンを押して撮影することもできます。

4 MENU/OKボタンを押す

- 画面にマークが表示されます。



 *メモ*

- 被写体に白色系の部分が少ないと、ホワイトバランスが合わないことがあります。このようなときは、被写体に白色系のものを入れて撮影してください。
- フラッシュ撮影の場合、[AUTO] 以外ではホワイトバランスが合わないことがあります。この場合は、[AUTO] を選択してフラッシュ撮影をしてください。

ホワイトバランスを手動設定する（手動設定）

1 モードダイヤルを📷/CALS/🎥に合わせる

2 ADJ.ボタンを押す

3 ホワイトバランスのメニューが表示されるまで、◀▶ ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、[M] を選ぶ

5 撮影する照明の下で、紙などの白い被写体にカメラを向ける

6 DISP.ボタンを押す
- ホワイトバランスが設定されます。



7 MENU/OKボタンを押す
- 画面にマークが表示されます。
- 手順6で設定したホワイトバランスで画面が再表示されます。思いどおりにならなかった場合は、手順5と6を繰り返すと、何度でも設定変更ができます。



 *メモ*

- 手動設定を解除するには、上記の手順4で [M] 以外を選択します。

撮影感度を設定する（ISO感度）

ISO感度は、フィルムの光に対する敏感さを表す値です。数字が大きいほど高感度になります。高感度は、暗い場所や動きの速いものを撮影するときに適し、手ブレが起こりにくくなります。
ISO感度は、次の設定から選択できます。
AUTO、ISO 64、ISO 100、ISO 200、ISO 400、ISO 800、ISO 1600
ISO感度が［AUTO］の場合には、距離／明るさ／ズーム／マクロ／画質・サイズによってカメラが自動的に感度を変化させます。通常は、［AUTO］のままで撮影します。
ISO感度の値を変化させたくない場合は、［AUTO］以外を選択します。

1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 MENU/OKボタンを押す
- 撮影設定メニューが表示されます。



3 ▼ボタンを押して［ISO感度］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

5 MENU/OK ボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す
- 画面に設定値が表示されます。



 *メモ*

- 広角ズームで ISO 感度に［AUTO］を選択している場合は、フラッシュを使用するとISO 125〜800、フラッシュを使用しないとISO 64〜351の感度になります。
- ISO感度が［AUTO］以外に設定されていると、ブレ軽減機能は動作しません。
- ISO感度を高くすると、画像が粗くなる場合があります。

撮影設定メニューの設定を元に戻す（撮影設定初期化）

撮影設定メニューの設定を初期値に戻すには、次のように操作します。

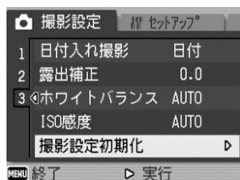
1 モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 MENU/OKボタンを押す

- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▲▼ボタンを押して［撮影設定初期化］を選び、▶ボタンを押す

- 確認のメッセージが表示されます。



4 ［はい］が選ばれていることを確認して、MENU/OKボタンを押す

- 初期化中のメッセージが表示され、完了すると撮影モードの画面に戻ります。



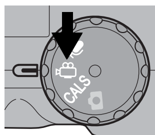
メモ

- 電源をオフにしても設定値が保持される機能については、付録を参照してください。（☞P.235）

動画を撮影する

音声付き動画を撮影できます。
画像サイズは、320×240、160×120のいずれかが選択できます。
また、1秒間に撮影するフレーム数（フレームレート）は、30フレーム、15フレームのいずれかが選択できます。
撮影した動画は、1つのAVIファイルとして記録されます。

1 モードダイヤルを （動画モード）に合わせる



2 シャッターボタンを押す

- 動画の撮影が開始されます。
  次にシャッターボタンを押すまで撮影されます。



3 シャッターボタンを押して動画撮影を終了する



注意--

- 動画撮影中に操作音が記録されることがあります。
- 1回あたりの撮影可能時間は、お使いのカードにより異なります。(☞P.85)
  また撮影可能時間内でも、お使いのカードによっては、撮影を終了する場合があります。
- 動画モード時は、ブレ軽減機能は使えません。

 *メモ*

- フラッシュは発光禁止になります。
- 動画撮影中、ズーム機能は、デジタルズームのみ使用できます。(☞P.36)
- 手順2でシャッターボタンを押した時点で、ピント合わせが行われます。
- 残り記録時間は、動画記録中にメモリーの残容量から再計算されるため、一様に変化しないことがあります。
- 動画の画像サイズ（☞P.61）やフレーム数（☞P.84）は、撮影設定メニューで設定します。
- 動画モード時には、撮影設定メニュー項目が異なります。(☞P.59)

フレーム数を設定する（フレームレート）

動画モードで1秒間に撮影されるフレーム数（フレームレート）を設定します。

1 モードダイヤルを🎥に合わせる

2 MENU/OKボタンを押す

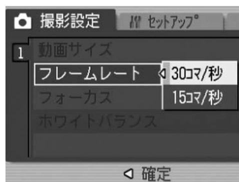
- 撮影設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して［フレームレート］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押して、[30コマ／秒] または [15コマ／秒] を選ぶ

5 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OK ボタンを押す

- 画面に設定値が表示されます。



 *動画のフレーム*

動画のフレームはコマともいいます。動画はたくさんのフレームで構成され、それらが高速で表示されるために動いているように見えます。

 *メモ*

- 動画の記録時間は、記録先（内蔵メモリーまたはSDメモリーカード）の容量や撮影条件、SDメモリーカードのメーカーや種類によって異なることがあります。
- 記録時間の目安は、下表のようになります。

	内蔵	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB
320×240（15コマ／秒）	1分17秒	1分27秒	2分59秒	6分3秒	12分4秒	24分19秒	46分47秒
320×240（30コマ／秒）	39秒	44秒	1分31秒	3分4秒	6分7秒	12分19秒	23分42秒
160×120（15コマ／秒）	4分38秒	5分16秒	10分47秒	21分49秒	43分29秒	87分37秒	168分30秒
160×120（30コマ／秒）	2分26秒	2分46秒	5分40秒	11分27秒	22分50秒	46分1秒	88分31秒

動画を再生する

動画を再生するには、次のように操作します。

1 ▶（再生）ボタンを押す

- 最後に撮ったファイルが表示されます。
- 動画の場合には、最初の1フレームが静止画像で表示されます。

2 ◀▶ボタンで見たい動画にする

- ▶ボタンを押すと、次のファイルを表示できます。
- ◀ボタンを押すと、1つ前のファイルを表示できます。



3 ADJ.ボタンを押す

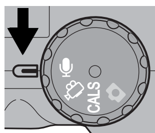
- 再生が始まります。
  液晶モニターに、再生経過を示すインジケーターや経過時間が表示されます。

早送り	再生中に[T]ボタンを押す
巻き戻し	再生中に[W]ボタンを押す
一時停止／再生	ADJ.ボタンを押す
スロー再生	一時停止中に[T]ボタンを押し続ける
スロー戻し	一時停止中に[W]ボタンを押し続ける
次のフレームの表示	一時停止中に[T]ボタンを押す
前のフレームの表示	一時停止中に[W]ボタンを押す
音量を調節する	再生中に▲▼ボタンを押す

音声を記録する

音声を記録することができます。
記録した音声は、WAVファイルとして記録されます。

1 モードダイヤルを(音声モード)に合わせる



2 シャッターボタンを押す

- 音声の記録が開始されます。
  次にシャッターボタンを押すまで記録されます。



3 シャッターボタンを押して記録を終了する


メモ

- 音声を記録できる時間は、SDメモリーカードの容量により異なります。
- 記録時間は、下表のようになります。

内蔵	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB
56分45秒	64分36秒	132分11秒	267分15秒	532分36秒	1073分00秒	2063分25秒


注意

長時間にわたって記録するときは、ACアダプター（別売り）のご使用をおすすめします。（☞P.27）

音声を再生する

音声を再生するには、次のように操作します。

1 ▶（再生）ボタンを押す

- 最後に撮ったファイルが表示されます。

2 ◀▶ボタンで再生したい音声ファイル（スピーカーの絵の画面）にする

- ▶ボタンを押すと、次のファイルを表示できます。
- ◀ ボタンを押すと、1 つ前のファイルを表示できます。



3 ADJ.ボタンを押す

- 再生が始まります。
液晶モニターに、再生経過を示すインジケーターや経過時間が表示されます。

早送り	再生中に[♠]ボタンを押す
巻き戻し	再生中に[♦]ボタンを押す
一時停止／再生	ADJ.ボタンを押す
音量を調節する	再生中に▲▼ボタンを押す

再生設定メニューについて

再生モードでMENU／OKボタンを押すと、再生設定メニューが表示されます。再生設定メニューを使うと、次の項目の機能が設定できます。

設定項目	選択肢	参照先
スライドショー	――――	P.89
プロテクト	1ファイル選択・解除、全ファイル選択・解除、複数ファイル選択	P.90
DPOF	1ファイル選択・解除、全ファイル選択・解除、複数ファイル選択	P.93
画像サイズ変更	1280、640	P.96
CARDへコピー	――――	P.97
プリント	――――	P.156
ファイル送信	――――	P.165


メモ--

再生設定メニューからセットアップメニュー（☞P.106)、拡張性設定メニュー（☞P.154）を表示することができます。

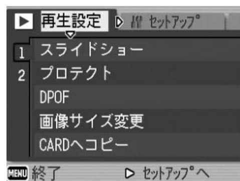
メニューの操作方法

各設定項目の設定方法について説明します。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU/OKボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。



3 ▲▼ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

4 ▶ボタンを押す

- 各設定項目の画面が表示されます。

自動的に順に表示する（スライドショー）

撮影した静止画や動画、音声を、順番に液晶モニターに表示することができます。この機能をスライドショーと呼びます。スライドショーで見るには、次のように操作します。

1 ▶（再生）ボタンを押す

- 最後に撮ったファイルが表示されます。

2 MENU/OKボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して、[スライドショー]を選び、▶ボタンを押す



- スライドショーが開始され、ファイルが順に再生されます。
- 途中で中止したいときには、カメラのいずれかのボタンを押します。
  中止するまで、繰り返しスライドショーが続きます。

 *メモ*--

- 静止画は3秒間表示されます。
- 動画は1フレームだけではなく、撮影した内容がすべて表示されます。
- 音声ファイルも再生されます。

削除できないように設定する（プロテクト）

記録したファイルを誤って削除してしまわないように、保護する（プロテクトする）ことができます。

 *注意* --

プロテクトしたファイルは、削除することはできませんが、初期化を行うとプロテクト設定の有無にかかわらず、すべて消去されます。

1ファイルをプロテクトする

1 ▶（再生）ボタンを押す

• 最後に撮ったファイルが表示されます。

2 ◀▶ボタンを押してプロテクトしたいファイルを表示する

3 MENU/OKボタンを押す

• 再生設定メニューが表示されます。

4 ▼ボタンを押して、[プロテクト]を選び、▶ボタンを押す



5 [1ファイル]が選ばれていることを確認して、MENU/OKボタンを押す



• プロテクトが設定され、画面にマークが表示されます。



 *メモ* --

プロテクトを解除するには、解除したいファイルを表示して手順3～5を行います。

すべてのファイルをプロテクトする

すべてのファイルにプロテクトを設定するには、次のように操作します。

1 ▶（再生）ボタンを押す

2 MENU/OKボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押して、[プロテクト]を選び、▶ボタンを押す



4 ▲▼ ボタンを押して、[全ファイル]を選ぶ

5 [選択] が選ばれていることを確認して、MENU/OKボタンを押す

- プロテクトが設定され、画面にマークが表示されます。



 *メモ*

すべてのプロテクトを解除するには、手順5で［解除］を選択します。

複数のファイルを一度にプロテクトする

選択したファイルに対して、一度にプロテクトの設定を行うには、次のように操作します。

1 ▶（再生）ボタンを押す

2 ▦（サムネイル表示）ボタンを2回押す

- 画面が12分割されて、ファイルがサムネイル表示されます。

3 ▲▼◀▶ボタンを押して、プロテクトしたい1枚目のファイルを選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。

5 ▼ボタンを押して、[プロテクト]を選び、▶ボタンを押す

- ファイルの右上にプロテクト設定のマークが表示されます。



6 ▲▼◀▶ ボタンを押して、次にプロテクトの設定をしたいファイルを選び、MENU/OK ボタンを押す

7 手順6を繰り返して、プロテクトの設定をしたいファイルをすべて選択する

- 間違えた場合は、そのファイルを選択した状態で MENU/OK ボタンを再度押すとプロテクトを解除できます。

8 DISP.ボタンを押す

- 処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると、一覧の画面に戻ります。


メモ

- 複数のファイルのプロテクトを解除するには、上記の手順で、解除したいファイルを選択してDISP.ボタンを押します。
- 一度にすべてのプロテクトを解除することもできます。（☞P.91）
- サムネイル表示の詳細については、P.47をご覧ください。

4 いろいろな再生

プリントサービスを利用する（DPOF：ディーポフ）

SDメモリーカードに記録した静止画は、デジタルカメラプリントサービス取り扱い店にお持ちいただくと、プリントすることができます。プリントサービスを利用するには、プリントに必要な情報を設定する必要があります。その設定をDPOF（ディーポフ）設定と呼びます。
DPOF設定を行うと、1静止画につき1枚印刷するという情報が設定されます。一覧表示でDPOF設定を行うと、印刷枚数を指定することもできます。（☞P.95）

表示している静止画にDPOF設定する

1 ▶（再生）ボタンを押す

2 ◀▶ボタンを押して設定したい静止画を表示する

3 MENU/OKボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。

4 ▼ ボタンを押して、[DPOF] を選び、▶ボタンを押す



5 [1ファイル] が選ばれていることを確認して、MENU/OK ボタンを押す

- DPOF設定が行われ、画面にDPOF設定を示すマークが表示されます。




メモ--

DPOF設定を解除するには、解除したいファイルを表示して手順3～5を行います。

4 いろいろな再生

すべての静止画にDPOF設定する

すべての静止画に対してDPOF設定をするには、次のように操作します。

1 ▶（再生）ボタンを押す

2 MENU/OKボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。

3 ▼ ボタンを押して、［DPOF］を選び、▶ボタンを押す

4 ▲▼ ボタンを押して、［全ファイル］を選ぶ



5 ［選択］が選ばれていることを確認して、MENU/OKボタンを押す

- DPOF設定が行われ、画面にDPOF設定を示すマークが表示されます。





メモ

すべてのDPOF設定を解除するには、手順5で［解除］を選択します。

4 いろいろな再生

複数の静止画にDPOF設定する

選択した静止画に対して、DPOF設定を行うには、次のように操作します。

1 ▶（再生）ボタンを押す

2 ▦（サムネイル表示）ボタンを2回押す

- 画面が12分割されて、ファイルがサムネイル表示されます。

3 ▲▼◀▶ボタンを押して、DPOF設定したい1枚目の静止画を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。

5 ▼ ボタンを押して、［DPOF］を選び、▶ボタンを押す



6 ▲▼　ボタンを押して印刷枚数を指定する

- ▲ボタンを押すと枚数が増え、▼ボタンを押すと枚数が減ります。

7 ◀▶ボタンを押して、次にDPOF設定をしたい静止画を選ぶ

8 ▲▼ボタンを押して印刷枚数を指定する

- ▲ボタンを押すと枚数が増え、▼ボタンを押すと枚数が減ります。

9 手順7〜8を繰り返して、DPOF設定をしたい静止画をすべて選択する

10 MENU/OKボタンを押す

- 処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると、一覧の画面に戻ります。



メモ

- 複数のファイルのDPOF設定を解除するには、上記の手順で、解除したいファイルの印刷枚数を［0］に指定してMENU/OKボタンを押します。
- 一度にすべてのDPOF設定を解除することもできます。（☞P.94）

4 いろいろな再生

画像サイズを縮小する（画像サイズ変更）

撮影した静止画の画像サイズを縮小して、画像サイズの異なるファイルを追加作成できます。

元のサイズ	変更可能なサイズ	
F3264／N3264／N2592／N2048	N1280	N640
F1280／N1280	N640	



注意

画像サイズ変更ができるのは、静止画および音声付きの静止画です。動画は画像サイズ変更できません。

画像サイズを変更するには、次のように操作します。

1 ▶（再生）ボタンを押す

2 ◀▶ ボタンを押して画像サイズを変更したいファイルを表示する

3 MENU/OKボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。

4 ▼ ボタンを押して、[画像サイズ変更] を選び、▶ボタンを押す



5 ▲▼ボタンを押して、[1280] または [640] を選ぶ

6 MENU/OKボタンを押す

- 処理中のメッセージが表示され、画像サイズ変更後の静止画が表示されます。変更前の画像も残ります。





メモ

撮影時に画像サイズを変更することができます。（☞P.61）

内蔵メモリーの内容をカードへコピーする（CARDへコピー）

内蔵メモリーの内容をSDメモリーカードへコピーすることができます。

1 電源をオフにする

2 SDメモリーカードをセットする

3 電源をオンにする

4 ▶（再生）ボタンを押す

5 MENU/OKボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。

6 ▼ボタンを押して、[CARDへコピー] を選び、▶ボタンを押す

- 処理中のメッセージが表示され、コピーが完了すると、再生画面に戻ります。



 *メモ*

- コピー先のSDメモリーカードの容量が足りない場合には、容量不足を示すメッセージが表示されます。容量に収まる枚数だけコピーする場合は、[はい] を選んでMENU/OKボタンを押してください。コピーを取り消す場合は、[いいえ] を選んでMENU/OKボタンを押してください。
- SDメモリーカードから内蔵メモリーへのコピーはできません。

ダイレクトプリント機能について

ダイレクトプリント機能は、カメラとプリンターを直接USBケーブルで接続して、カメラ内の静止画をプリンターから印刷する機能です。撮影した静止画を、パソコンを使わずに手軽に印刷できます。

 *注意*

- 動画（.AVI）は、印刷できません。音声付き静止画（.JPG と .WAV）の場合は、静止画（.JPG）のみ印刷されます。
- 文字モード（☞P.39）で撮影した画像（.TIFF）は、ご使用のプリンターによっては印刷できない場合があります。また、印刷できても印刷内容は保証できません。

 *メモ*

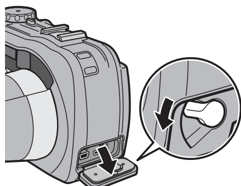
- 本カメラでは、ダイレクトプリントの統一規格であるPictBridge（ピクトブリッジ）を採用しています。
- ダイレクトプリント機能を使うには、プリンターが PictBridge に対応している必要があります。ご使用のプリンターの説明書でご確認ください。
- カメラのセットアップメニュー［USB 接続］（☞P.123）が［マスストレージ］に設定されていると、ご使用のプリンターによってはダイレクトプリントできない場合があります。その場合は、［オリジナル］を選択してください。

カメラとプリンターを接続する

カメラとプリンターの接続には、付属のUSBケーブルを使います。

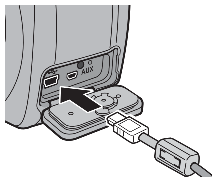
1 カメラの電源がオフになっていることを確認する

2 カメラの端子カバーのつまみを矢印の方向に回してカバーを開ける



3 付属の専用 USB ケーブルでカメラとプリンターを接続する

- プリンターの電源がオフのときは、電源をオンにしてください。



注意--

バッテリー／カードカバー、端子カバーを開閉する場合、カメラに付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所をさけて開閉してください。

メモ--

カメラとプリンターの接続を外すときは、カメラの電源がオフになっていることを確認し、USBケーブルをカメラから外してください。

静止画を印刷する

PictBridge対応プリンターでカメラの静止画を印刷します。
SDメモリーカードをセットしていないときには、内蔵メモリー内の静止画が印刷され、SDメモリーカードをセットしているときにはSDメモリーカード内の静止画が印刷されます。



注意

印刷が完了するまで、USBケーブルを外さないでください。



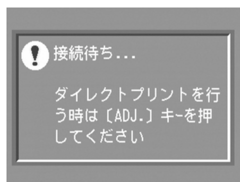
メモ

送信中に［プリンターエラー］のメッセージが表示された場合は、プリンターの状態を確認し、印刷できる状態になるように対処してください。

1枚またはすべての静止画を印刷する

1 プリンターが印刷できる状態であることを確認する

- ［接続待ち...］画面が表示されます。



2 ADJ.ボタンを押す

- ダイレクトプリント再生モードの画面が表示されます。

3 ◀▶ボタンで、印刷したい静止画を表示する

4 ADJ.ボタンを押す

5 ▲▼ ボタンを押して、［1ファイル］または［全ファイル］を選ぶ

6 MENU/OKボタンを押す

- ダイレクトプリントのメニューが表示されます。



5 ダイレクトプリントで印刷する

7 ▲▼ボタンで項目を選び、▶ボタンで詳細項目を表示する



- [接続中・・・] と表示されている間は、プリンターとの接続が完了していません。接続が完了すると[接続中・・・]が消え、[ダイレクトプリント] と表示されます。接続が完了してから、操作を行ってください。
- 選択できる項目は次のとおりです。各項目に対応しているプリンターと接続しているときのみ表示されます。
  ※印の項目は、帳票印刷に対応しているリコーのプリンターと接続しているときのみ表示されます。

項目名	内容
用紙サイズ	用紙のサイズを設定します。
用紙種類	用紙の種類を設定します。
レイアウト	1枚に何コマ印刷するかを設定します。1枚にレイアウトできるコマ数は、接続するプリンターによって異なります。
日付印字	日付（撮影日）の印字の有無を設定します。日付の書式は、セットアップモードの日時設定で設定した書式になります。
ファイル名印字	ファイル名を印刷するかどうかを設定します。
印刷補正	画像データ（静止画）をプリンター側で最適化して印刷するかどうかを設定します。
画像印刷サイズ	印刷する画像のサイズを設定します。
印刷品質	印刷品質を設定します。
帳票印刷※	帳票印刷を行います。（☞P.104）
帳票カメラメモ印字※	カメラメモが付いた画像を帳票印刷するときに、カメラメモの内容を帳票に印刷できます。（☞P.105） [帳票印刷] で選択されたレイアウトによっては、カメラメモ印字が欠ける場合があります。その場合は、カメラメモの文字数を減らしてください。

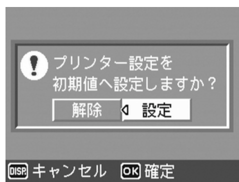
8 ▲▼ボタンで詳細項目を選び、MENU/OKボタンを押す

- ダイレクトプリントのメニューに戻ります。

9 手順7と8を繰り返して、変更したい項目の値を設定する

 メモ

- 手順7の画面でADJ.ボタンを押すと、設定した項目を次回接続時の初期値に設定することができます。右の画面が出たら、◀▶ボタンを押して［設定］を選び、MENU/OKボタンを押してください。
- ［解除］を選ぶと、次回接続時の各項目の設定は、最後に設定した値になります。



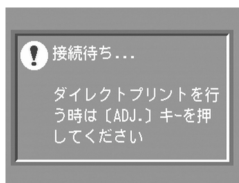
10 MENU/OKボタンを押す

- 静止画がプリンターに送られ、［送信中］画面が表示されます。
- 送信を中断したい場合には、DISP.ボタンを押してください。
- 送信が完了すると、カメラはダイレクトプリント再生モードの画面に戻り、プリンターで印刷が開始されます。

複数の静止画を印刷する

1 プリンターが印刷できる状態であることを確認する

- ［接続待ち...］画面が表示されます。



2 ADJ.ボタンを押す

- ダイレクトプリント再生モードの画面が表示されます。

3 ▦（サムネイル表示）ボタンを押す

- 画面が12分割されて、静止画がサムネイル表示されます。

4 ▲▼◀▶ ボタンを押して、印刷したい静止画を選ぶ



5 MENU/OKボタンを押す

6 ▲▼ボタンを押して印刷枚数を指定する

- ▲ボタンを押すと枚数が増え、▼ボタンを押すと枚数が減ります。

7 ◀▶ボタンを押して次に印刷したい静止画を選ぶ

8 ▲▼ボタンを押して印刷枚数を指定する

9 手順7と8を繰り返して、印刷したい静止画をすべて選択して、印刷枚数を指定する

10 MENU/OKボタンを押す

- ダイレクトプリントのメニューが表示されます。

11 ▲▼ボタンで項目を選び、▶ボタンで詳細項目を表示する



- [接続中...]と表示されている間は、プリンターとの接続が完了していません。接続が完了すると[接続中...]が消え、[ダイレクトプリント]と表示されます。接続が完了してから、操作を行ってください。
- 選択できる項目については、P.101をご覧ください。

12 ▲▼ボタンで詳細項目を選び、MENU/OKボタンを押す

- ダイレクトプリントのメニューに戻ります。

13 手順11と12を繰り返して、変更したい項目の値を設定する

14 MENU/OKボタンを押す

- 静止画がプリンターに送られ、[送信中]画面が表示されます。
- 送信を中断したい場合には、DISP.ボタンを押してください。
- すべての静止画の送信が完了すると、カメラはダイレクトプリント再生モードの画面に戻ります。

 *メモ*

- プリンターのマーク( )が表示されている画像が印刷されます。印刷を中止した場合はプリンターのマークの表示を確認してください。
- 1枚の用紙に、同じ静止画を複数枚印刷することもできます。
- 選択できる項目はプリンター側の機能により異なります。
- 詳細項目で[プリンター指定]を選ぶと、プリンター側の設定値(初期値)で印刷されます。

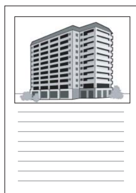
帳票印刷する

ダイレクトプリントのメニューで[帳票印刷]を設定してください。[帳票印刷]は、PictBridgeに対応しているリコーのプリンターと接続しているときのみ、選択することができます。リコーのプリンターについての最新情報は、弊社ホームページ(http://www.ricoh.co.jp/office/)をご覧ください。
選択できるレイアウトは、接続するプリンターによって異なります。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

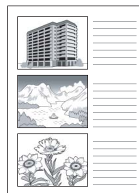
選択できるレイアウト

1コマ罫線あり	2コマ罫線あり	3コマ罫線あり	4コマ罫線あり
1コマ罫線なし	2コマ罫線なし	3コマ罫線なし	4コマ罫線なし
工事写真1	記事欄付1		

帳票印刷の例


1コマ罫線あり

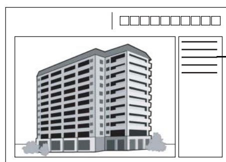

2コマ罫線あり


工事写真1

帳票印刷にカメラメモを印字する

ダイレクトプリントのメニューで［帳票印刷］を設定し、［帳票カメラメモ印字］を［ON］にすると、帳票印刷にカメラメモを付けて印刷できます。

帳票カメラメモ印刷の例



記事欄付1

カメラメモの内容が印刷されます。印刷される位置は、［帳票印刷］で設定したレイアウトによって異なります。

 *メモ*--

カメラメモについては、『使用説明書（ソフトウェア編）』をご覧ください。

5

ダイレクトプリントで印刷する

セットアップメニューについて

撮影設定メニュー（☞P.59）や再生設定メニュー（☞P.88）からセットアップメニューを表示して、カメラの設定変更ができます。
セットアップメニューを使うと、次の表にある項目を設定することができます。

設定項目	選択肢［購入時の初期設定値］	参照先
初期化［カード］	――――	P.109
初期化［内蔵メモリー］	――――	P.110
LCD輝度調節	――――	P.111
ADJ.ボタン設定1*1 ADJ.ボタン設定2*2	[OFF] *2、ISO、画質、フォーカス、シャープネス、測光方式、連写、［ブレ軽減］*1	P.112
オートパワーオフ	OFF、[1分]、5分、30分	P.113
ブザー音	[すべて]、シャッター音	P.114
操作音音量設定	なし（□□□）、小（■□□）、中［(■■□)］、大（■■■）	P.115
画像確認時間	OFF、0.5秒、[1秒]、2秒、3秒	P.116
CARD連続NO.	ON、[OFF]	P.117
日時設定	――――	P.119
LANGUAGE／言語	[日本語]、ENGLISH	P.120
ステップズーム	ON、[OFF]	P.121
撮影設定警告	[ON]、OFF	P.122
USB接続	マスストレージ、[オリジナル]	P.123
撮影アイコン拡大	ON、[OFF]	P.125
マイセッティング登録	[設定1]、設定2	P.126
起動時設定	[OFF]、設定1、設定2	P.127

セットアップメニューの操作方法

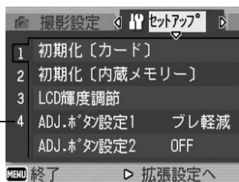
各設定項目の設定方法について説明します。
▲▼▶ボタンとMENU/OKボタンを押して選択、設定します。

1 MENU/OKボタンを押す

- 撮影設定メニューまたは再生設定メニューが表示されます。

2 ▶ボタンを押す

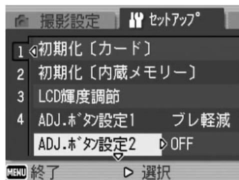
- セットアップメニューが表示されます。



設定画面が4画面あることを示しています。

3 ▲▼ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

- 一番下の項目で ▼ ボタンを押すと次の設定画面が表示されます。



4 ▶ボタンを押す

- 設定項目の選択肢が表示されます。

5 ▲▼ボタンを押して、選択肢を選ぶ

6 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

- セットアップメニューが消え、撮影または再生ができます。
- 設定項目によっては、セットアップメニューが表示されることがあります。その場合は、再度MENU/OKボタンを押すと、撮影または再生画面に戻ります。

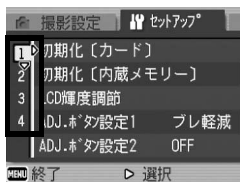

メモ---

機能によっては、選択肢の選択方法がここで説明する操作と異なる場合があります。詳しい操作方法は、各機能の説明を参照してください。



画面の切り替え

- 画面番号で画面を切り替えることができます。
  1 ◀ボタンを押すと、画面左にある画面番号が選択できる状態になります。
  2 ▲▼ボタンを押して画面を切り替えます。
  3 ▶ボタンを押すと、項目を選択する状態に戻ります。



6
カメラの設定を変える

SDメモリーカードを使えるようにする（初期化［カード］）

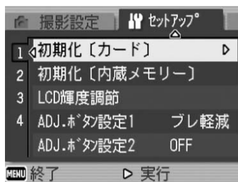
［使用できないCARDです。］等のエラーメッセージが表示されたり、パソコンなど他の機器で使用したSDメモリーカードは、本機で初期化してから使用する必要があります。
初期化とは、画像データが書き込める状態にする処理のことです。


注意 --
画像が記録されているカードを初期化すると、内容がすべて消えてしまいます。

初期化するには、次のように操作します。

1 セットアップメニューを表示する
- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して［初期化［カード］］を選び、▶ボタンを押す
- 初期化の確認画面が表示されます。



3 ◀▶ボタンを押して［はい］を選び、MENU/OKボタンを押す
- 初期化が行われ、完了するとセットアップメニューに戻ります。
- SD メモリーカードが入っていない場合は、メッセージが表示されます。いったん電源をオフにしてから、SDメモリーカードをセットして、再度初期化の操作を行ってください。

4 MENU/OKボタンを押す


誤って画像を消さないようにするには --------------------------
- カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にしておくと、撮影や画像の削除、初期化ができなくなります。(☞P.22)
- 解除すれば（スイッチを元の位置に戻す）、削除も初期化もできるようになります。

内蔵メモリーを初期化する（初期化［内蔵メモリー］）

［内蔵メモリーを初期化してください。］というエラーメッセージが表示された場合は、内蔵メモリーを初期化する必要があります。



注意

内蔵メモリーを初期化すると、内蔵メモリーに記録されている画像はすべて消去されます。消去したくない画像があるときは、SDメモリーカードに画像をコピーしてから初期化を行ってください。（☞P.97）

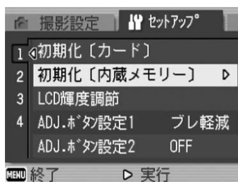
初期化するには、次のように操作します。

1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

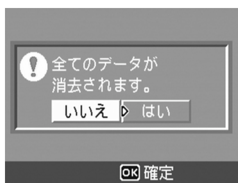
2 ▼ボタンを押して［初期化［内蔵メモリー］］を選び、▶ボタンを押す

- 初期化の確認画面が表示されます。



3 ◀▶ボタンを押して［はい］を選び、MENU/OKボタンを押す

- 初期化が行われ、完了するとセットアップメニューに戻ります。



4 MENU/OKボタンを押す

液晶モニターの明るさを調節する（LCD輝度調節）

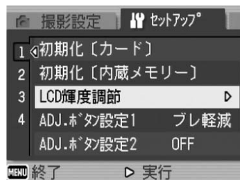
液晶モニターの明るさを調整するには、次のように操作します。

1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[LCD輝度調節]を選び、▶ボタンを押す

- 輝度設定用の画面が表示されます。



3 ▲▼ボタンを押して、明るさを調節する

- LCD 輝度調節バーの目盛りを下側に変更すると、暗くなります。上側に変更すると、明るくなります。画面の明るさが、バーの目盛り位置にともなって変化します。



4 設定したい明るさになったら、MENU/OKボタンを押す

- セットアップメニューに戻ります。

5 MENU/OKボタンを押す



DISP.ボタンで明るさを調整するには --------------------------

撮影時にDISP.ボタンを押し続けると、画面の輝度が最大になります。輝度が最大のときにDISP.ボタンを押し続けると、[LCD輝度調節]で設定した明るさに戻ります。

ADJ.ボタンに機能を登録する（ADJ.ボタン設定）

ADJ.ボタンを使うと、撮影設定メニューを表示することなく、少ないボタン操作で露出補正やホワイトバランスの設定画面を表示できます。
［ADJ.ボタン設定1］［ADJ.ボタン設定2］では、ADJ.ボタンを押して表示できる機能を追加できます。

設定できる値	参照先
OFF ※購入時の［ADJ.ボタン設定2］の設定	－
ISO（ISO感度）	P.81
画質（画質・サイズ）	P.61
フォーカス	P.64
シャープネス	P.68
測光方式	P.67
連写	P.69
ブレ軽減 ※購入時の［ADJ.ボタン設定1］の設定	P.63

［ADJ.ボタン設定1］、［ADJ.ボタン設定2］に機能を登録するには、次のように操作します。

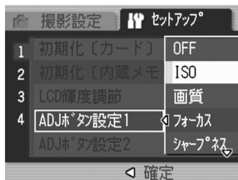
1 **セットアップメニューを表示する**

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 **▼ボタンを押して、［ADJ.ボタン設定1］または［ADJ.ボタン設定2］を選び、▶ボタンを押す**

3 **▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ**

4 **MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す**



 *メモ*

ADJ.ボタンの操作方法は、P.56を参照してください。

オートパワーオフの設定を変える（オートパワーオフ）

設定した時間内にカメラの操作をしないと、節電のために自動的に電源がオフになります（オートパワーオフ）。
購入時のオートパワーオフは1分に設定されていますが、この設定を変更することができます。

設定できる値
OFF（オートパワーオフ機能は働きません）
1分 ※購入時の設定
5分
30分

オートパワーオフの設定を変更するには、次のように操作します。

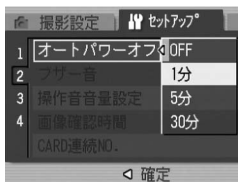
1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[オートパワーオフ] を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



 メモ

- オートパワーオフで電源がオフになったとき、引き続きカメラを使用したい場合は、電源ボタンを押して電源をオンにします。▶（再生）ボタンを約1秒以上押し続けても電源がオンになり、再生モードで使用できます。
- オートパワーオフは、パソコンまたはプリンターと接続しているときは働きません。
- インターバル撮影をするときは、[オートパワーオフ] の設定は無効になり、オートパワーオフは働きません。

ブザー音の設定を変える（ブザー音）

カメラの操作中は、起動音、シャッター音、フォーカスが合ったときの音、警告音の4種類のブザー音が鳴ります。

起動音	：カメラの電源をオンにしたときに鳴ります。
シャッター音	：シャッターボタンを押したときに鳴ります。
フォーカスが合ったときの音	：シャッターボタンを半押しして、ピントが合ったときに「ピピッ」という音が鳴ります。
警告音	：実行できない動作を行おうとしたときに「ピピピピピ」という音が鳴ります。

設定できる値
すべて（すべて鳴らす）※購入時の設定
シャッター音（シャッター音、警告音のみ鳴らす）

ブザー音の設定を変更するには、次のように操作します。

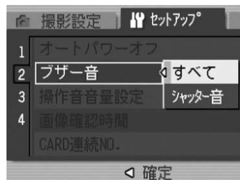
1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、［ブザー音］を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



ブザー音の音量を変える（操作音音量設定）

ブザー音の音量を変更できます。

設定できる値
□□□（なし）
■□□（音量小）
■■□（音量中）※購入時の設定
■■■（音量大）

ブザー音の音量を変更するには、次のように操作します。

1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、［操作音音量設定］を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



画像確認時間を変える（画像確認時間）

シャッターボタンを押した直後に、撮影した静止画が確認のために表示されます。確認時間は、購入時には1秒に設定されていますが、設定を変更することができます。

設定できる値
OFF（確認のための表示を行わない）
0.5秒
1秒 ※購入時の設定
2秒
3秒

確認時間を変更するには、次のように操作します。

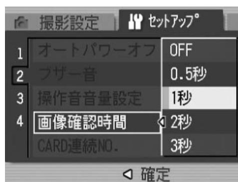
1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[画像確認時間]を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



 *注意*

画像確認時間を0.5秒に設定した場合は、確認のための画像が表示されている間、ズームバー等のマークも表示されたままになります。

ファイル名の設定を変える（CARD連続NO.）

撮影した静止画には、自動的に連番のファイル名が付き、内蔵メモリーやSDメモリーカードに記録されます。
SDメモリーカードを入れ替えた場合のファイル名を、前のカードからの連番にするか、しないかを設定できます。

設定できる値	
ON（連番にする）	撮影した静止画に、R0010001.jpg～R9999999.jpgまでの、「R」の後に7桁の通し番号が付いたファイル名が、自動的に付きます。 SDメモリーカードを別のカードに替えたときにも、前のカードからの連番でファイル名が付くように設定されています。
OFF（連番にしない） ※購入時の設定	新しいSDメモリーカードをセットするたびに、RIMG0001.jpg～RIMG9999.jpgまでのファイル名が付きます。 RIMG9999を超えると、それ以上は記録できません。

ファイル名の設定を変更するには、次のように操作します。

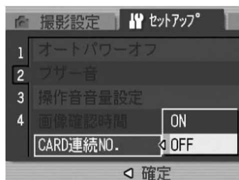
1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[CARD連続NO.] を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



 メモ

- 内蔵メモリーに記録する場合には、常に［CARD連続NO.］が［OFF］の設定の場合と同じにファイル名が付けられます。
- RICOH Gate Laを使ってパソコンに転送する（☞P.149）際は、新しいファイル名に置き換えられて保存されます。また、［CARD連続NO.］を［ON］に設定していても、ファイル名は「RIMG****.jpg」（****は番号）で保存されます。
- RIMG9999 を超えると、ファイル番号が足りなくなるためそれ以上は記録できなくなります。この場合、SDメモリーカードの内容を一度パソコンなどに移し、SDメモリーカードを初期化してお使いください。

日付・時刻を設定する（日時設定）

静止画に日付や時刻を入れて撮影することができます。
ここでは、セットアップメニューからの日付・時刻の設定方法を説明します。

1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[日時設定] を選び、▶ボタンを押す



3 ▲▼◀▶ボタンを押して、年・月・日・時・分を設定する

- ▲▼ボタンを押し続けると、高速で数値を増減させることができます。
- ◀▶ ボタンを押すと、次の項目へ移動することができます。



4 ［書式］で日時の書式を選ぶ

5 画面の表示を確認し、MENU/OKボタンを押す

- 日時が設定されて、セットアップメニューに戻ります。

6 MENU/OKボタンを押す



 *メモ*--

- 電池を取り出してから約1週間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。再度、設定しなおしてください。
- 日時を保持させるためには、電池残量が充分にある電池をカメラに2時間以上セットしてください。

表示言語を変える（LANGUAGE／言語）

液晶モニターに表示される言語を変更することができます。

設定できる値
日本語 ※購入時の設定
ENGLISH（英語）

表示言語を変えるには、次のように操作します。

1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[LANGUAGE／言語]を選び、▶ボタンを押す

- 言語選択画面が表示されます。



3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ



4 MENU/OKボタンを押す

- 言語が設定され、セットアップメニューに戻ります。

5 MENU/OKボタンを押す

ステップズームの設定を変更する（ステップズーム）

ズームの焦点距離を、4段階（28mm、35mm、50mm、85mm：35mmフィルムカメラ換算）に固定する設定をステップズームといいます。

設定できる値
ON（ステップズームを使用する）
OFF（ステップズームを使用しない）※購入時の設定

ステップズームを設定するには、次のように操作します。

1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[ステップズーム] を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



設定変更の警告を表示する（撮影設定警告）

次の機能の初期設定を変更した場合に、変更した機能のアイコンを点滅させたり、電源投入時に変更があったことを知らせる警告メッセージを数秒間表示するように設定できます。

ホワイトバランス、フォーカス、ISO感度、露出補正、
長時間露光

アイコン点滅中にカメラのボタン操作を行うと、アイコンは点灯表示になります。警告メッセージ表示中にカメラのボタン操作を行うと、メッセージは消えます。

設定できる値
ON（撮影設定警告を行う）※購入時の設定
OFF（撮影設定警告を行わない）

撮影設定警告を設定するには、次のように操作します。

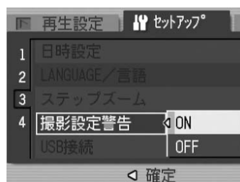
1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[撮影設定警告]を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



USB通信方式を変える（USB接続）

［USB接続］で［マスストレージ］を選択してUSB通信方式を変更すると、カメラからパソコンにUSBケーブルを使って画像を転送する際に、付属のアプリケーションやUSBドライバーなどをインストールしなくてもカメラの中のファイルを参照できるようになります。
通常は［オリジナル］を選択しておきます。付属のRICOH Gate Laを使って、パソコンへ画像の転送ができます。

モード	マスストレージ	オリジナル
取り込み方法	カメラ内のSDメモリーカード／内蔵メモリーのファイルを、外付けドライブとして直接操作できます。	RICOH Gate Laを使ったパソコンへの自動転送ができます。 Caplio Mounterによるパソコンへの転送ができます。（Mac OS）
Caplio Software CD-ROMからのインストール	必要ありません。	必要です。
対応OS（以下すべて日本語版）		
Windows 98/98SE	×	○
Windows 2000 Professional	○	○
Windows Me	○	○
Windows XP Home Edition	○	○
Windows XP Professional	○	○
Mac OS 8.6	×	○
Mac OS 9.0～9.2.2	○	○
Mac OS X 10.1.2～10.4.6	○	○
対象	• OSのファイル操作に慣れている方 • USBドライバーなどをインストールしたくない方	• パソコンへの取り込みを自動化したい方 • Windows98/98 Second Editionをお使いの方 • Mac OS 8.6をお使いの方

 *注意*

- ［マスストレージ］に設定すると、RICOH Gate Laによる転送はできません。
- ［マスストレージ］に設定すると、行えるファイル操作はカメラからの読み込みのみです。カメラへの書き込みや削除はできません。
- ［マスストレージ］に設定すると、ご使用のプリンターによってはダイレクトプリントできない場合があります。その場合は、［オリジナル］を選択してください。

USB通信方式を変更するには、次のように操作します。

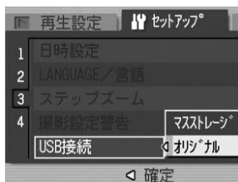
1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、［USB接続］を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



 *メモ*

USBケーブルを使って画像をパソコンに転送する方法はP.148 ～ P.152をご覧ください。

アイコンを大きく表示する（撮影アイコン拡大）

撮影画面の次のアイコンを大きく表示します。
この設定では、次のアイコンが大きく表示されます。
　フラッシュ、マクロ撮影、セルフタイマー、ホワイトバランス、フォーカス、露出補正、ISO感度
アイコンを大きく表示すると、次のものは表示されません。
　ズームバー／フォーカスバー、日付入れ撮影、シャープネス、色の濃さ
撮影画面のアイコンを大きく表示するには、次のように操作します。

1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して［撮影アイコン拡大］を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



電源投入時の設定を登録する（マイセッティング登録）

マイセッティング機能を使うと、電源投入時の設定を任意に設定することができます。たとえば、1台のデジタルカメラを複数の人が使用するとき、電源をオフ／オンすると自分が設定した値に戻るので、前に使用した人の設定を気にすることなく、自分が設定した内容で使用することができます。
マイセッティングは、2種類登録できます。
現在のカメラの設定をマイセッティングとして登録するには、次のように操作します。

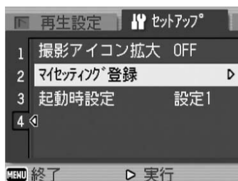
1 カメラの設定を、マイセッティングとして登録したい値に変更する

2 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

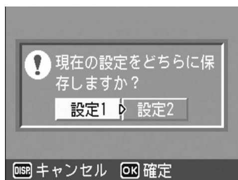
3 ▼ボタンを押して、[マイセッティング登録] を選び、▶ボタンを押す

- 確認のメッセージが表示されます。



4 [設定1] または [設定2] を選び、MENU/OKボタンを押す

- 現在のカメラの設定が登録され、セットアップメニューに戻ります。
- 登録しない場合は、DISP. ボタンを押してください。



5 MENU/OKボタンを押す

起動時の設定を変更する（起動時設定）

［マイセッティング登録］で登録した設定を、次回起動時の設定にすることができます。

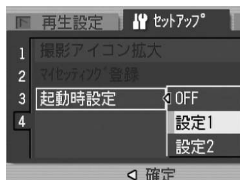
1 セットアップメニューを表示する

- 操作手順は、P.107を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、［起動時設定］を選び、▶ボタンを押す

3 ［設定1］または［設定2］を選び、MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す

- マイセッティングを使用しないときは［OFF］を選びます。



4 カメラの電源をオフにする

- 次回電源をオンにしたときの設定が変更されます。



メモ--

- ［起動時設定］を［OFF］にすると、通常の設定保持動作に戻ります。
- ［起動時設定］を［設定1］または［設定2］にすると、撮影設定メニューの［撮影設定初期化］を実行しても、電源投入時には［マイセッティング登録］で設定した値に戻ります。

マイセッティングで保存される設定

画質・サイズ	日付入れ撮影
ブレ軽減	ホワイトバランス
フォーカス	ISO感度
マニュアルフォーカス時のフォーカス位置	ズーム位置
測光方式	マクロ
シャープネス	フラッシュモード
連写	シーンモード
色の濃さ	DISP.モード
露出補正	文字濃淡
長時間露光	動画フレームレート
音声付き撮影	撮影アイコン拡大

画面の表示は、ご使用のパソコンのOS によって異なります。

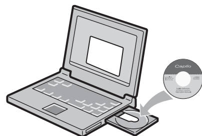
Windowsをご使用の場合

Macintoshをご使用の場合はP.141をご覧ください

画像をパソコンに取り込むためのソフトウェアをパソコンに入れます。この操作を「インストール」といいます。
自動的にカメラからパソコンに画像を取り込むためには、インストールが必要です。

 *注意*

- カメラとパソコンをケーブルでつなぐ前に、必ずソフトウェアをパソコンにインストールしてください。(☞P.133)



 *メモ*

- カメラのセットアップメニューの［USB接続］の設定を［マスストレージ］に設定すると、付属のアプリケーションやUSBドライバーなどをインストールしなくてもカメラの中のファイルを参照できます。(☞P.150) ご購入時の設定は［オリジナル］です。
- 画像をパソコンに取り込む方法については、Caplio Software CD-ROMに収められている『使用説明書（ソフトウェア編）』を参照してください。『使用説明書（ソフトウェア編）』の表示方法については、P.131を参照してください。

Caplio Software CD-ROMの構成

Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットすると、インストーラー画面が自動的に表示されます。



項目名	内容	参照先
ソフトウェアのインストール	カメラや画像を取り扱うために必要なソフトウェアを一括でインストールできます。	P.133
Caplioレスキューの起動	Caplioレスキューを起動することができます。	P.226
使用説明書(ソフトウェア編)を見る	『使用説明書(ソフトウェア編)』(PDF)を表示することができます。	P.131
CD-ROMの内容を見る	付属のCD-ROM内のファイル一覧を表示することができます。	P.131
RICOHホームページへ	リコーのホームページを表示することができます。(インターネットに接続できる状態の場合)	ー
RICOHデジタルカメラホームページへ	リコーのデジタルカメラのホームページを表示することができます。(インターネットに接続できる状態の場合)	ー
お客様登録・変更	リコーのお客様登録のホームページを表示することができます。(インターネットに接続できる状態の場合)	ー

［ソフトウェアのインストール］をクリックする（☞P.133）

次のソフトウェアがインストールされます。

ソフトウェア名		Windows		説明
		XP	98	
Caplio Software	RICOH Gate La	○	○	画像を一括して取り込めます。
	Caplioレスキュー	○	○	パソコンのソフトウェアのトラブルシューティング（操作に困ったときのアドバイス）を表示します。
	List Editor	○	○	カメラメモリストを作成するときに使います。
	Caplio Setting*	○	○	無線LANの詳細設定を行うときに使います。
	Caplio Server*	○	○	ご使用のパソコンをCaplio専用のFTPサーバーとして設定するときに使います。
ImageMixer		○	○	撮影した画像を表示／編集したり、Video CDを作成することができます。動画を扱うにはDirectX（☞P.136）が必要です。
USBドライバー		○	○	カメラとパソコンを接続するときに使います。
WIAドライバー		○	－	画像を取り込むときに使います。

XP : Windows XP
98 : Windows 98/98SE/Me/2000
* Caplio 500SE-Wのみ


メモ

- 本機には、パソコン内の画像を表示、編集するソフトウェアImageMixerが付属しています。ImageMixerの使いかたについては、ImageMixerの画面上に表示される［?］ボタンをクリックして表示されるマニュアルを参照してください。
  ImageMixerについての最新の情報は、開発元の株式会社ピクセラのホームページ（http://www.imagemixer.com）を参照してください。
- ImageMixerのインストール中、WinASPIのインストールが起動します。WinASPIは、ImageMixerを利用してVideo-CD作成する際に必要なソフトウェアです。

[使用説明書（ソフトウェア編）を見る] をクリックする

CD-ROM内の『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDFファイル）を表示します。
すでにAcrobat Readerがパソコンにインストールされている場合は、クリックするだけで表示できます。Acrobat Readerがインストールされていない場合は、Acrobat Readerをインストールする必要があります。（☞P.135）

[CD-ROMの内容を見る] をクリックする

CD-ROM内のフォルダやファイルを確認できます。CD-ROMには、[ソフトウェアのインストール] をクリックしてインストールされるソフトウェア以外に、次のソフトウェアが収められています。Windows環境では、これらのソフトウェアをご使用いただけます。
各ソフトウェアのインストールについては、下表の「参照先」に記載したページをご覧ください。

ソフトウェア名	説明	参照先
Acrobat Reader	『使用説明書（ソフトウェア編）』を読むために必要なソフトウェアです。	P.135
DirectX	ImageMixerで動画を再生するために必要なソフトウェアです。	P.136
Ridoc Desk Navigator Lt	ビジネス文書を管理するためのソフトウェアです。文書の更新を監視するAuto Documentリンクを使って、カメラ内の画像をRidocに登録することもできます。	P.136
Caplio Transfer Software	画像をRidocに登録したり、カメラメモつきの画像をカメラメモの内容によって分類し、パソコンのフォルダに転送・保存したりするためのソフトウェアです。	P.138

 *メモ*

- Acrobat Readerについては、Acrobat Readerのヘルプを参照してください。
- Ridoc Desk Navigator Ltについては、Ridoc Desk Navigator Ltに付属の『はじめてガイド』、『セットアップガイド』、『Ridoc Auto Documentリンクガイド』、およびヘルプを参照してください。
- Auto Documentリンクについては、『Ridoc Auto Documentリンクガイド』を参照してください。
- ImageMixerは「ImageMixer」フォルダ内のsetup.exeをダブルクリックすると、ImageMixerのみをインストールすることができます。

Caplio Software CD-ROMを使うために必要な環境

Caplio Software CD-ROMを使うためには、次の環境が必要です。ご使用のパソコンやパソコンの説明書等で、ご確認ください。

対応OS	Windows 98/98 Second Edition（日本語版） Windows 2000 Professional（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows XP Home Edition（日本語版）/Professional（日本語版）
CPU	Pentium® III 500MHz 以上
メモリー	Windows 98/98SE：128MB 以上 Windows 2000：128MB 以上 Windows Me：128MB 以上 Windows XP：256MB 以上
インストール時のハードディスクの空き容量	Windows 98/98SE：500MB 以上 Windows 2000：500MB 以上 Windows Me：500MB 以上 Windows XP：500MB 以上
ディスプレイの解像度	800×600ドット以上
ディスプレイの表示色	65000色以上
CD-ROMドライブ	上記パソコン本体で使用可能なCD-ROMドライブ
USBポート	上記パソコン本体で使用可能なUSBポート


注意 --

- OSをアップグレードしたパソコンの場合、正常にUSB機能が動作しないことがあるためサポートできません。
- OSのシステム環境の変化やサービスパックなどのリリースにより、正しく動作しないことがあります。
- 拡張機能（PCIバスなど）を利用して増設したUSBポートへの接続はサポートできません。
- HUB等の他のUSB機器との組合せで使用した場合、正しく動作しないことがあります。
- 動画などの大きなファイルを扱う場合は、より大きなメモリー環境で利用することをお薦めします。

カメラや画像を取り扱うためのソフトウェアをインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、必要なソフトウェアをインストールしてください。



注意

- インストールは、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続した状態では行わないでください。
- ソフトウェアを入れる前にカメラとパソコンを接続して、[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されてしまった場合には、[キャンセル]をクリックしてカメラとパソコンの接続を外してから、インストールの操作を行ってください。
- 従来機種のCaplio Software CD-ROMからすでにソフトウェアをインストールしている場合は、新たにソフトウェアをインストールしようとすると、従来機種のソフトウェアをアンインストールしてからインストールするようメッセージが表示されます。
  この場合は、メッセージに従って従来機種のソフトウェアをアンインストールし、新しいソフトウェアをインストールしてください。従来機種のソフトウェアもこれまでと同様にお使いいただけます。
  DU-10がインストールされている場合は、Caplio Viewer(DU-10の機能強化版)に置き換わります。メッセージが表示される前に従来機種のソフトウェアをアンインストールした場合は、新しいソフトウェアをインストールしてもCaplio Viewerはインストールされません。(アンインストール方法☞P.139)
- Windows XP、Windows 2000の場合、インストールは管理者権限を持ったユーザーが行ってください。

ここではWindows XPの画面例を使用しています。



1 パソコンを起動し、CD-ROMドライブに、付属のCaplio Software CD-ROMをセットする

- パソコンの画面に、自動的にインストーラー画面が表示されます。

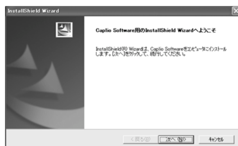
2 [ソフトウェアのインストール]をクリックする

- しばらくすると[設定言語の選択]画面が表示されます。

3 言語を選択し、[OK]をクリックする

- [Caplio Software用のInstallShield Wizardへようこそ]画面が表示されます。

4 ［次へ］をクリックする



- ［インストール先の選択］画面が表示されます。

5 インストール先を確認して［次へ］をクリックする

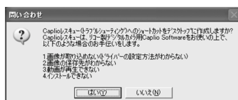


- ［プログラムフォルダの選択］画面が表示されます。

6 プログラムフォルダを確認して［次へ］をクリックする

- Caplioレスキュー（トラブルシューティングソフトウェア）を起動するショートカットをデスクトップに作成するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

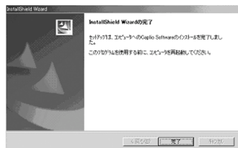
7 ［はい］または［いいえ］をクリックする



- ［はい］［いいえ］のどちらを選択しても、［スタート］メニューの［プログラム］-［Caplio Software］-［Caplioレスキュー（トラブルシューティング）］にプログラムが登録されます。
- 続けてImageMixerのインストーラが起動します。画面の指示に従ってインストールしてください。



- ImageMixer のインストールが完了すると、すべてのインストールが完了したことを表すダイアログが表示されます。



8 ［完了］をクリックする

9 パソコンを再起動する



メモ--

インストールしたソフトウェアをパソコンから削除（アンインストール）することができます。（☞P.139）

その他のソフトウェアをインストールする

 *注意*

- インストールは、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続した状態では行わないでください。
- Windows XP、Windows 2000の場合、インストールは管理者権限をもったユーザーが行ってください。

Acrobat Reader

Acrobat Readerは、使用説明書（PDFファイル）を表示をするためのソフトウェアです。
Windowsをご使用の場合には、Acrobat Readerをインストールすることができます。すでにAcrobat Readerがパソコンにインストールされている場合には、インストールする必要はありません。

1 パソコンを起動し、CD-ROMドライブに、付属のCaplio Software CD-ROMをセットする

- パソコンの画面に、自動的にインストーラー画面が表示されます。



2 [CD-ROMの内容を見る]をクリックする

- CD-ROM内のファイル一覧が表示されます。

3 ［Acrobat］フォルダをダブルクリックする

4 ［Japanese］フォルダをダブルクリックする

5 ［ar505jpn］（ar505jpn.exe）をダブルクリックする

6 表示されるメッセージにしたがって操作を行い、Acrobat Readerをインストールする

DirectX

DirectXは、ImageMixerで動画ファイルを再生するためのソフトウェアです。
DirectXのバージョンが8.1より古いと動画再生ができませんので、新しいものをインストールしてください。Windows XPには、新しいバージョンがインストールされていますので、改めてインストールする必要はありません。

1 パソコンを起動し、CD-ROMドライブに、付属のCaplio Software CD-ROMをセットする

2 [CD-ROMの内容を見る]をクリックする

3 [DirectX]フォルダをダブルクリックする

4 [Japanese]フォルダをダブルクリックする

5 以下のファイルをダブルクリックする

Windows 98/98SE/Meの場合	[Win98Me]フォルダ内の[DX81xxx.exe]
Windows 2000の場合	[Win2000]フォルダ内の[DX81NTxxx.exe]

Ridoc Desk Navigator Lt

ビジネス文書を管理するためのソフトウェアです。デジタルカメラで撮影した静止画だけでなく、スキャナから読み取った文書やアプリケーションで作成した文書、イメージファイルなど、さまざまな文書を管理することができます。異なるファイル形式のものを1つの文書にまとめて保管することも可能です。
また、文書の更新を監視するAuto Documentリンクを使って、カメラから画像を取り込み、Ridocへ登録することもできます。


メモ--

- Ridoc Desk Navigator Ltは日本国内向けのアプリケーションです。他の言語環境では使用できません。
(Ridoc Desk Navigator Lt is only available in Japanese. Other languages are not supported.)
- Ridoc Desk Navigator Ltの使用方法については、Ridoc Desk Navigator Ltと同時にインストールされる『はじめてガイド』、『セットアップガイド』、『Ridoc Auto Documentリンクガイド』、およびヘルプを参照してください。


注意 ---

- Ridoc Desk Navigator Ltに付属のAuto Documentリンクでカメラから画像を取り込む場合には、Ridoc Desk Navigator Ltをインストールする前に、Caplio Softwareをインストールしてください。（☞P.133）
Auto Documentリンクを使用するには、Caplio Softwareに含まれるドライバーソフトウェアが必要です。
- Auto Documentリンクの監視先に［Caplioデジタルカメラ］を指定したときは、カメラの［USB接続］を［オリジナル］に設定してください。（☞P.123）

1 パソコンを起動し、CD-ROMドライブに、付属のCaplio Software CD-ROMをセットする

2 ［CD-ROMの内容を見る］をクリックする

- CD-ROM内のファイル一覧が表示されます。

3 ［Ridoc Desk］フォルダをダブルクリックする

4 ［InstRidc］（InstRidc.exe）をダブルクリックする



5 Ridoc Desk Navigator Ltのボタンをクリックする



6 表示されるメッセージにしたがって操作を行い、Ridoc Desk Navigator Ltをインストールする

- インストールが完了すると、自動的にWindowsが再起動します。

 *注意*

- Ridoc Desk Navigator Ltは、Ridoc Desk Navigator、Ridoc Desk 2000 Lt、Ridoc Desk 2000、Job Binderと共存することができません。Ridoc Desk Navigator Ltをインストールする場合は、元のアプリケーションをアンインストールしてから行ってください。そのとき、元のアプリケーションで使用していたデータはそのまま保存され、引き続き使用することができます。ただし、元のアプリケーションがRidoc Desk 2000の場合、いくつかの機能が使用できなくなりますので、ご注意ください。
- Ridoc Desk Navigator LtのAuto Documentリンクで、カメラから画像を取り込む場合は、RICOH Gate Laの［オプション設定］画面で、［USB接続時、自動保存を行う］のチェックを外してください（☞『使用説明書（ソフトウェア編）』）。またカメラから画像を取り込む前に、カメラの日付設定で、日付を設定してください。（☞P.119）
- カメラを接続してRidoc Desk Navigator Ltを開いたままでカメラの電源をオフ／オンした場合は、パソコンを再起動して再度接続してください。

Caplio Transfer Software

画像をRidocに登録したり、カメラメモつき画像をカメラメモの内容によって分類してパソコンのフォルダに転送し、保存したりするためのソフトウェアです。

 *メモ*

Caplio Transfer Softwareの使用方法については、CD-ROM内のReadmeファイル（Readme.txt）を参照してください。

 *注意*

- Caplio Transfer Softwareをインストールする前に、Caplio Softwareをインストールしてください。（☞P.133）
- Ridoc Desk Navigator Ltで、カメラメモの検索、印刷を行う場合はAuto Documentリンクで取り込みます。詳しくはRidoc Desk Navigator Ltの『Ridoc Auto Documentリンクガイド』、ヘルプを参照してください。

1 パソコンを起動し、CD-ROMドライブに、付属のCaplio Software CD-ROMをセットする

2 ［CD-ROMの内容を見る］をクリックする

3 CD-ROM内のファイル一覧が表示されます。

4 ［Caplio Transfer］フォルダをダブルクリックする

5 [InstTrns]（InstTrns.exe）をダブルクリックする



6 Caplio Transfer Softwareのボタンをクリックする



7 表示されるメッセージにしたがって操作を行い、Caplio Transfer Softwareをインストールする

ソフトウェアを削除（アンインストール）する

注意 --

- Windows XP、Windows 2000の場合、アンインストールは管理者権限を持ったユーザーが行ってください。
- 他のソフトウェアが起動していたり、保存していないデータがある場合は、データを保存し、ソフトウェアを終了してからアンインストールしてください。

Caplio Software

1 Windowsのタスクバーから［スタート］をクリックする

2 [設定] - [コントロールパネル]（XPの場合は [コントロールパネル]）を選択する

3 [アプリケーションの追加と削除] アイコン（XPの場合は[プログラムの追加と削除] アイコン）をダブルクリックする

4 [Caplio Software] を選択し、[変更と削除] をクリックする

5 ファイル削除のメッセージを確認し、[OK] をクリックする

- ［共有ファイルの検出］ダイアログが表示されます。

6 [次回からこのメッセージを表示しない]のチェックボックスにチェックを入れて、[はい] をクリックする

- 削除が始まります。完了したらウィンドウを閉じてください。

ImageMixer

1 Windowsのタスクバーから［スタート］をクリックする

2 [設定] - [コントロールパネル]（XPの場合は［コントロールパネル]）を表示する

3 [アプリケーションの追加と削除］アイコン（XPの場合は[プログラムの追加と削除] アイコン）をダブルクリックする

4 [ImageMixer］を選択し、[変更と削除］をクリックする

5 ファイル削除のメッセージを確認し、[OK］をクリックする

- 削除が始まります。完了したらウィンドウを閉じてください。

6 パソコンを再起動する

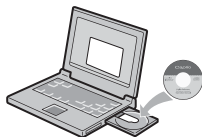
Macintoshをご使用の場合

Windowsをご使用の場合はP.128をご覧ください

画像をパソコンに取り込むためのソフトウェアをパソコンに入れます。この操作を「インストール」といいます。
自動的にカメラからパソコンに画像を取り込むためには、インストールが必要です。

 *注意*

- カメラとパソコンをケーブルでつなぐ前に、必ずソフトウェアをパソコンにインストールしてください。



 *メモ*

- 画像をパソコンに取り込む方法については、Caplio Software CD-ROMに収められている『使用説明書（ソフトウェア編）』を参照してください。『使用説明書（ソフトウェア編）』の表示方法については、P.142を参照してください。

Caplio Software CD-ROMの構成

ソフトウェア名	Mac		説明
	9	X	
RICOH Gate La	○	−	画像を一括して取り込めます。
USBドライバー	○	○	カメラとパソコンを接続するときに使います。
Caplio Mounter	○	○	カメラとパソコンを接続するときに使います。

9 : Mac OS 8.6〜9.2.2
X : Mac OS X 10.1.2〜10.4.6

 *メモ*

- Mac OS 8.6〜9.2.2の場合、カメラとパソコンを接続すると、自動的にRICOH Gate Laが起動し、画像の取り込みが始まります。詳しい使用方法については、『使用説明書（ソフトウェア編）』を参照してください。
- Caplio Mounterで画像を取り込む方法については、『使用説明書（ソフトウェア編）』を参照してください。

Mac OS 8.6～9.2.2では、［Installer］アイコンをダブルクリックすると、［ソフトウェアインストーラー］画面が表示されます。





メモ

Mac OS X 10.1.2～10.4.6では、［ソフトウェアインストーラー］画面は表示されません。（☞P.145）

項目名	内容
ソフトウェアのインストール	カメラや画像を取り扱うために必要なソフトウェアをすべてインストールできます。
使用説明書（ソフトウェア編）を見る	『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDF）を表示することができます。

［ソフトウェアのインストール］をクリックする（☞P.144、P.145）

ソフトウェアがインストールされます。

［使用説明書（ソフトウェア編）を見る］をクリックする

CD-ROM内の『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDFファイル）を表示することができます。
Acrobat Readerがインストールされていない場合は、Acrobat Readerをインストールする必要があります。

Caplio Software CD-ROMを使うために必要な環境

Caplio Software CD-ROMを使うためには、次の環境が必要です。ご使用のパソコンやパソコンの説明書等で、ご確認ください。

対応OS	Mac OS 8.6～9.2.2/Mac OS X 10.1.2～10.4.6	
Macintosh本体	本体USBポートを標準装備しているApple社製Macintoshシリーズ	
内蔵メモリー	Mac OS 8.6～9.2.2	96MB 以上（推奨128MB 以上）
	Mac OS X 10.1.2～10.4.6	128MB 以上（推奨256MB 以上）
アプリケーション割り当てメモリー（Mac OS 8.6～9.2.2の場合）	圧縮ユーティリティーを使用せずに、アプリケーションメモリーとして16MB 以上（推奨24MB 以上）	
ハードディスクの空き容量	Mac OS 8.6～9.2.2	10MB 以上（インストール時）
	Mac OS X 10.1.2～10.4.6	100MB 以上（インストール時）
	100MB 以上（動作時）	
ディスプレイの解像度	800×600ドット以上	
ディスプレイの表示色	32000色以上	
CD-ROMドライブ	上記Macintosh本体で使用可能なCD-ROMドライブ	
USBポート	上記Macintosh本体で使用可能なUSBポート	



注意---

- OSのシステム環境の変化などにより、正しく動作しないことがあります。
- 拡張機能（PCIバスなど）を利用して後付されたUSBポートへの接続はサポートできません。
- HUB等の他のUSB機器との組合せで使用した場合、正しく動作しないことがあります。



メモ---

- 動画などの大きなファイルを扱う場合は、より大きなメモリー環境で利用する事をお薦めします。
- Mac OS 8.6～9.2.2の場合、より大きなメモリー環境で利用するとともに、より多くのアプリケーションメモリーを割り当ててください。

カメラや画像を取り扱うためのソフトウェアをインストールする (Mac OS 8.6～9.2.2の場合)

カメラとパソコンを接続する前に、必要なソフトウェアをインストールしてください。


注意--

インストールは、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続した状態では行わないでください。

1 Macintoshの電源を入れ、CD-ROMドライブに、付属のCaplio Software CD-ROMを入れる

2 [Caplio Software]アイコンをダブルクリックする

3 [MacOS9]フォルダをダブルクリックする

- [Installer]のアイコンが表示されます。

4 [Installer]をダブルクリックする

- [ソフトウェアインストーラー]画面が表示されます。



5 [ソフトウェアのインストール]をクリックする



6 アップデートの場合は[OK]をクリックする

7 [インストール]をクリックする

- インストール終了後、Macintoshを再起動する必要があることを確認するメッセージが表示されます。

8 [続ける]をクリックする

- しばらくするとインストール完了のメッセージが表示されます。

9 [再起動]をクリックする

- Macintoshが再起動します。

カメラや画像を取り扱うためのソフトウェアをインストールする（Mac OS X 10.1.2～10.4.6の場合）

カメラとパソコンを接続する前に、必要なソフトウェアをインストールしてください。

 *注意* --

インストールは、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続した状態では行わないでください。

1 Macintoshの電源を入れ、CD-ROMドライブに、付属のCaplio Software CD-ROMを入れる

2 ［Caplio Software］アイコンをダブルクリックする

3 ［Mac OS X］フォルダを開く

- ［Mac OS X 10.1 - 10.3］と［Mac OS X 10.4］の２つのフォルダが表示されます。

4 ご使用のOSのフォルダをダブルクリックする

- Mac OS X 10.1～10.3をご使用の場合は［Mac OS X 10.1 - 10.3］フォルダを、Mac OS X 10.4以降をご使用の場合は［Mac OS X 10.4］フォルダをダブルクリックします。［Caplio Mounter］のアイコンが表示されます。

5 ［Caplio Mounter］をダブルクリックする

- ［Caplio Mouterのインストール］画面が表示されます。
- ［Mac OS X 10.4］フォルダの［Caplio Mounter］は、Mac OS X 10.1～10.3にはインストールできません。



6 ［続ける］をクリックする

- インストールのREADMEファイルが画面に表示されます。

7 ［続ける］をクリックする

- インストール先を選択する画面が表示されます。

8 インストールするディスクをクリックし、[続ける]をクリックする



9 [インストール]をクリックする

- アップデートの場合は[アップグレード]をクリックします。
- 管理者パスワードを要求する画面が表示されます。

10 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックする

- インストール終了後に Macintosh を再起動する必要があることを確認するメッセージが表示されます。

11 [インストールを続ける]をクリックする

- インストールが行われ、しばらくするとインストール完了のメッセージが表示されます。

12 [再起動]をクリックする

- Macintoshが再起動します。

ソフトウェアを削除（アンインストール）する

 *注意* --

他のソフトウェアが起動していたり、保存していないデータがある場合は、データを保存し、ソフトウェアを終了してからアンインストールしてください。

Mac OS X 8.6〜9.2.2の場合

1 システムフォルダにある以下のファイルを削除してください。

ファイル名	インストール先フォルダ
RICOH Gate La	コントロールパネル
RICOH Gate La Prefs	初期設定
Caplio Mounter	機能拡張
Caplio Mounter Prefs	初期設定
Caplio USB Driver	機能拡張
Caplio LIB	機能拡張

Mac OS X 10.1.2〜10.4.6の場合

1 ［アプリケーション］フォルダにある［Caplio Mounter］を起動する

2 ［ファイル］メニューから［アンインストール］を選択する

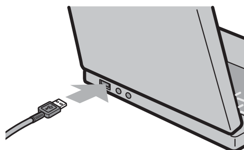
- 削除が始まります。

カメラとパソコンを接続する

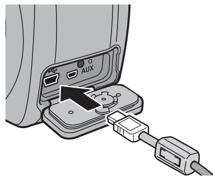
ソフトウェアをパソコンにインストールしたら、カメラとパソコンを接続します。
なお、カメラのセットアップメニューの［USB接続］（☞P.123）が［オリジナル］（初期値）に設定されているものとして説明します。［マスストレージ］になっている場合は、［オリジナル］に設定変更してください。マスストレージモードで画像を取り込むこともできます。（☞P.150）

1 **カメラの電源がオフになっていることを確認する**

2 **付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する**



3 **USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する**



- カメラの電源がオンになります。
- Windowsで、はじめてカメラとパソコンをUSBケーブルで接続する場合は、［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されます。（☞P.149）
- Macintosh をご使用の場合、または Windowsでカメラとパソコンを接続したことがある場合は、RICOH Gate Laが起動して、自動的に画像の転送が開始されます。

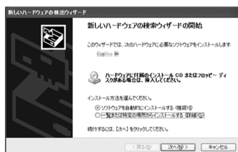
 ***注意*** --

バッテリー／カードカバー、端子カバーを開閉する場合、カメラに付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所をさけて開閉してください。

ソフトウェアを使って画像を取り込む

Windowsでは、はじめてカメラとパソコンをUSBケーブルで接続すると［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されます。（Macintoshでは表示されません。）
ここではWindows XPの画面例を使用しています。

1 ［ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）］を選択する

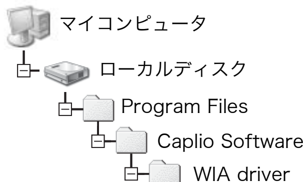


2 付属のCaplio Software CD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

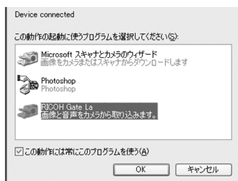
- 自動的にWIAドライバーのインストールが開始されます。[新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されたとき、すでにCD-ROMがパソコンにセットされていた場合は、［次へ］を選択するとインストールが開始されます。

 *メモ*

WIAドライバーは、インストーラの初期設定では以下の場所にも保存されています。CD-ROMがお手元にない場合は、このフォルダを指定してください。



3 ［RICOH Gate La］を選択し、［この動作には常にこのプログラムを使う］にチェックを入れて、［OK］をクリックする



- Windows XPの「スキャナとカメラのウィザード」機能を使ってカメラから画像を取り込む場合は、[Microsoft スキャナとカメラのウィザード] を選択してください。
- [この動作には常にこのプログラムを使う]にチェックを付けないと、取り込みの際に毎回 [Caplio 500SE] 画面が表示され、取り込みの方法(RICOH Gate Laまたはスキャナとカメラのウィザード)が選択できます。
- Windows XP Service Pack2をお使いの方で、警告メッセージが表示された場合は、P.227をご覧ください。

 *メモ*

- 接続がうまくいかないときは、ソフトウェアを削除し(☞P.139)、再度インストールを試してください。
- カメラから画像を取り込む場合は、十分に残量がある電池をセットしてください。または、電源にACアダプター(別売り)を使用することをお勧めします。
- パソコンに転送する際は、新しいファイル名に置き換えられて保存されます。

マスストレージモードで画像を取り込む

ソフトウェアを使用せずに、カメラからパソコンに画像を取り込みます。

1 セットアップメニューの [USB接続] を [マスストレージ] に変更する

- 詳しくはP.123をご覧ください。ご購入時の設定は [オリジナル] です。

2 カメラの電源がオフになっていることを確認する

3 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

4 USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する

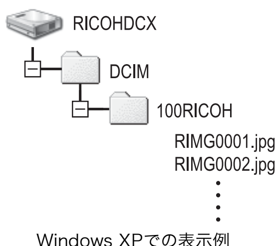


Windows XPでの表示例

- カメラの電源がオンになります。
- カメラをドライブとして認識するために必要なファイルが自動的に読み込まれます。
- 準備が終わると、Windowsの場合は[マイコンピュータ]に、Macintoshの場合はデスクトップにドライブとして表示されます。

5 表示されたドライブから、任意の場所にファイルをコピーする

- ドライブのフォルダ構成は右図のようになっています。
- 内蔵メモリーの内容が表示されているときは、ドライブ名は［RICOHDCI］になります。



Windows XPでの表示例

注意

- Windows 98/98SE、Mac OS 8.6をご使用の場合、本カメラではマスストレージモードで接続できません。
- 転送中は電源をオフにしたりUSBケーブルを抜かないでください。
- 転送先に同じファイル名のファイルがある場合は、上書きされます。上書きしたくない場合は、別のフォルダに転送するか、転送先フォルダにあるファイルのファイル名を変更してください。

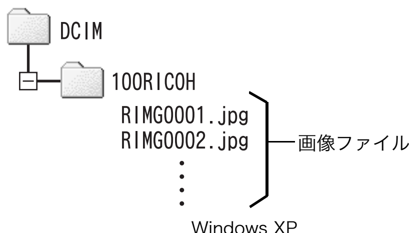
メモ

表示される内容は、SDメモリーカードがセットされているときはSDメモリーカードのファイル、SDメモリーカードがセットされていないときは内蔵メモリーのファイルになります。

SDメモリーカードから画像を取り込む

PCカードスロットやカードリーダーを使って、SDメモリーカードからパソコンへ画像を取り込むことができます。PCカードスロットやカードリーダーのタイプによっては、SDメモリーカードをセットするときにメモリーカードアダプターが必要です。SDメモリーカードがそのままセットできるタイプであれば、メモリーカードアダプターは必要ありません。

- SDメモリーカードには、図のような階層で画像が記録されています。



Windows XP

7 画像をパソコンに取り込む

カードリーダー

パソコンに接続して、カードの内容を読みとるための機器です。メモリーカードアダプタータイプの他に、SDメモリーカードがそのままセットできる各種のカードに対応したカードリーダーがあります。

カメラとパソコンの接続を解除する

Windowsの場合

RICOH Gate Laまたは「スキャナとカメラのウィザード」機能を使って画像を取り込んだ場合は、取り込みが完了したら、カメラの電源をオフにしてUSBケーブルを取り外します。
マスストレージモードで画像を取り込んだ場合は、以下のように操作してください。（表示はWindws XPの例です。他のOSでは用語が異なりますが、操作は同じです。）

1 **タスクバーの右端にある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックする**



2 **［USB大容量記憶装置デバイス］を選び、［停止］をクリックする**

3 **［USB 大容量記憶装置デバイス］が選ばれていることを確認して、［OK］をクリックする**

4 **［OK］をクリックする**

5 **USBケーブルを取り外す**

Macintoshの場合

1 **表示されたドライブまたはボリュームのアイコンを「ゴミ箱」アイコンにドラッグアンドドロップする**

- 管理者パスワードを要求する画面が表示された場合は、パスワードを入力します。

2 **USBケーブルを取り外す**

 *メモ*

Mac OS 9の場合は［特別］メニューで、Mac OS Xの場合は［ファイル］メニューで［取り出し］を選択して接続を解除することもできます。

Bluetooth®機能について

Bluetooth®（ブルートゥース）機能は、パソコンや周辺機器などを無線で接続し、通信を可能にするための規格です。Bluetooth®対応の機器間であれば、ケーブルを使わずに無線で接続することができます。パソコン、周辺機器、家電製品など、機器の種類を問わないデータ通信ができるインターフェイスとして注目されています。
本カメラにはBluetooth®機能が内蔵されています。カメラ側で簡単な操作をするだけで、Bluetooth®対応のプリンターやパソコンなどの機器に接続し、カメラで撮影した画像を送信することができます。

本カメラのBluetooth®機能では、次の2種類の送信ができます。

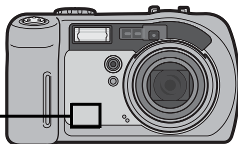
- 静止画をプリンターに送信して印刷する（☞P.156）
- 静止画をパソコンに送信して保存する（☞P.165）

 *注意*

- Bluetooth®は、最大約10mまでの通信が可能です。送信先のBluetooth®対応機器と本カメラとの距離は、見通しがきく約10m以内にして操作を行ってください。
- 本カメラの通信対象となる Bluetooth® 機器は、以下の Bluetooth® Profileに対応している必要があります。ご使用のBluetooth®機器の説明書でご確認ください。
  - BIP（Basic Imaging Profile）
  - OPP（Object Push Profile）
  - SPP（Serial Port Profile）
- 送信できる画像は、静止画（.JPG）のみです。動画（.AVI）、文字（.TIF）は、送信できません。音声付き静止画（.JPG と.WAV）の場合には、静止画（.JPG）のみ送信されます。
- Caplio 500SE-Wの場合は、画像を送信する前に、カメラの拡張設定メニューで［通信切り替え］を［BT］に設定しておく必要があります。（☞P.191）

 *メモ*

通信時は、指がBluetooth®アンテナ部にかからないように注意してください。



拡張設定メニューについて

撮影設定メニュー（☞P.59）や再生設定メニュー（☞P.88）から拡張設定メニューを表示して、Bluetooth®機能やGPS情報、無線LAN（Caplio 500SE-Wのみ）の設定ができます。
拡張設定メニューを使うと、次の表にある項目を設定することができます。

設定項目	選択肢［購入時の初期設定値］	参照先
GPS測地系	［TOKYO］、WGS-84	P.186
GPS表示モード	［LAT/LON］、UTM、MGRS、ALL	P.187
GPS LOCK	［OFF］、ON	P.188
BT 認証パスキー	—	P.174
周辺機器検索個数	1、2、3、4、［5］、6、7、8、9、10	P.175
BT自動接続	ON、［OFF］	P.181
BTシリアル	—	P.179
MASTER/SLAVE	MASTER、［SLAVE］	P.175
送信画像サイズ	無変換、1280、［640］、320、160	P.176
送信自動削除	ON、［OFF］	P.177
クイック送信モード	［OFF］、1TOUCH、2TOUCH	P.170
BARCODE MODE(*1)	［MODE1］、MODE2	『使用説明書（ソフトウェア編）』
読み取り時間 (*1)	［3秒］、6秒、9秒、12秒、15秒、18秒、21秒、24秒、27秒、30秒	『使用説明書（ソフトウェア編）』
通信切り替え (*2)	［W-LAN］、BT	P.191
送信リスト読み込み (*2)	—	P.202
送信先選択 (*2)	—	P.204、216
送信先選択画面 (*2)	［ON］、OFF	P.215

(*1) カメラで一次元バーコードデータを読み込み、カメラメモに登録することができます。カメラメモ使用時にご利用ください。（☞『使用説明書（ソフトウェア編）』）
(*2) Caplio 500SE-Wのみ

拡張設定メニューの操作方法

各設定項目の設定方法について説明します。
▲▼▶ボタンとMENU/OKボタンを押して選択、設定します。

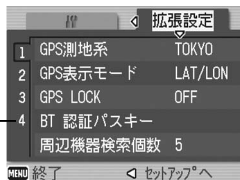
1 MENU/OKボタンを押す

- 撮影設定メニューまたは再生設定メニューが表示されます。

2 ▶ボタンを2回押す

- 拡張設定メニューが表示されます。

設定画面が4画面あることを示しています。



3 ▲▼ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

- 一番下の項目で▼ボタンを押すと次の設定画面が表示されます。



4 ▶ボタンを押す

- 設定項目の選択肢が表示されます。

5 ▲▼ボタンを押して、選択肢を選ぶ

6 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



- 拡張設定メニューが消え、撮影または再生画面に戻ります。
- 設定項目によっては、拡張設定メニューが表示されることがあります。その場合は、再度MENU/OKボタンを押すと、撮影または再生画面に戻ります。



メモ--

機能によっては、選択肢の選択方法がここで説明する操作と異なる場合があります。詳しい操作方法は、各機能の説明を参照してください。



画面の切り替え --

- 画面番号で画面を切り替えることができます。
  1 ◀ボタンを押すと、画面左にある画面番号が選択できる状態になります。
  2 ▲▼ボタンを押して画面を切り替えます。
  3 ▶ボタンを押すと、項目を選択する状態に戻ります。



静止画をプリンターに送信して印刷する（プリント）

Bluetooth® 対応プリンターへ、カメラから静止画を送信し、印刷することができます。
SD メモリーカードをセットしていないときには、内蔵メモリーから送信され、SD メモリーカードをセットしているときにはSD メモリーカードから送信されます。
送信方法には、次の3種類があります。

- 1枚の静止画を送信する（☞P.157）
- カメラ内のすべての静止画を送信する（☞P.157）
- 複数の静止画を選択して送信する（☞P.158）

 *注意* --

- 送信できる画像は、静止画（.JPG）のみです。動画（.AVI）、文字（.TIF）は、送信できません。音声付き静止画（.JPG と.WAV）の場合には、静止画（.JPG）のみ送信されます。
- 相手端末がBIP とOPP をサポートしている場合は､BIPが優先的に選択されます。
- BIPで送信する場合は、送信時に接続先機器の最大画像サイズ情報を自動的に取得します。送信画像サイズがそれより大きい場合は、リサイズして送信されます。

1枚またはすべての静止画を印刷する

1 送信先の機器（プリンター）が印刷できる状態であることを確認する

2 ▶（再生）ボタンを押す

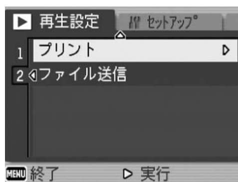
- Caplio 500SE-Wの場合は、拡張設定メニューの［通信切り替え］が［BT］に設定されていることを確認します。（☞P.191）
- すべての静止画を送信する場合は、手順4へ進みます。

3 ◀▶ボタンで送信したい静止画を表示する

4 MENU/OKボタンを押す

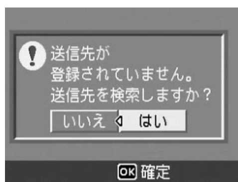
- 再生設定メニューが表示されます。

5 ▼ボタンを押して、［プリント］を選び、▶ボタンを押す



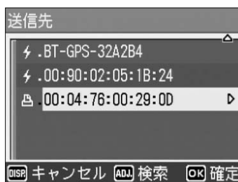
- はじめて Bluetooth® 機能を使う場合は、送信先を検索するかどうか確認する画面が表示されます。
- すでに送信先を検索したことがある場合は、［送信先］一覧画面が表示されます。手順7へ進みます。
- シリアル接続中の場合は、シリアル接続を切断するかどうか確認する画面が表示されます。［はい］を選んでMENU/OKボタンを押し、手順7へ進んでください。

6 ▶ ボタンを押して、［はい］を選び、MENU/OKボタンを押す



- 送信先の検索が開始され、検索が完了すると、［送信先］一覧画面が表示されます。
- 購入時には送信先の最大検索数は5に設定されていますが、1～10の範囲で変更することができます。（☞P.175）

7 ▲▼ボタンを押して、送信先を選び、MENU/OKボタンを押す



- ［送信先］一覧画面に送信したい機器が表示されていない場合は、ADJ.ボタンを押すと、送信先を再検索することができます。
- 送信先を選んで▶ボタンを押すと、送信先の詳細情報が表示されます。
- 送信先を選んで 🗑（削除）ボタンを押すと、送信先を削除することができます。

8 ▲▼ボタンを押して、1枚の画像を送信する場合は［1ファイル送信］を、すべての画像を送信する場合は［一括送信］を選び、MENU/OKボタンを押す



- 送信先の機器へ送信を開始し、進行状況が表示されます。送信を中断したい場合は、DISP.ボタンを押してください。▶（再生）ボタン、シャッターボタンを押した場合でも、送信は中断されます。
- 送信先の機器にパスキーが設定されている場合は、メッセージが表示されるので、パスキーを入力してください。（☞P.161）
- 送信中にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って、画像を再度送信してください。エラーメッセージの内容については、P.218を参照してください。
- 送信が完了すると、プリンターで印刷が開始されます。

9 MENU/OKボタンを押す

- 再生画面に戻ります。



メモ--

最新の送信先が［送信先］一覧画面の一番上に表示されます。

複数の静止画を印刷する

1 送信先の機器（プリンター）が印刷できる状態であることを確認する

2 ▶（再生）ボタンを押す

- Caplio 500SE-Wの場合は、拡張設定メニューの［通信切り替え］が［BT］に設定されていることを確認します。（☞P.191）

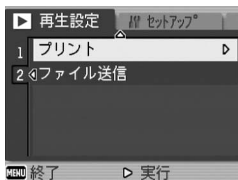
3 ▦（サムネイル表示）ボタンを2回押す

- 画面が12分割されて、静止画がサムネイル表示されます。

4 MENU/OKボタンを押す

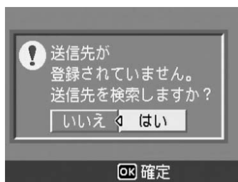
- 再生設定メニューが表示されます。

5 ▼ボタンを押して、[プリント]を選び、▶ボタンを押す



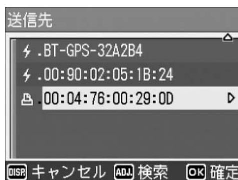
- はじめて Bluetooth® 機能を使う場合は、送信先を検索するかどうか確認する画面が表示されます。
- すでに送信先を検索したことがある場合は、[送信先] 一覧画面が表示されます。手順7へ進みます。
- シリアル接続中の場合は、シリアル接続を切断するかどうか確認する画面が表示されます。[はい] を選んでMENU/OKボタンを押し、手順7へ進んでください。

6 ▶ ボタンを押して、[はい] を選び、MENU/OKボタンを押す



- 送信先の検索が開始され、検索が完了すると、[送信先] 一覧画面が表示されます。
- 購入時には送信先の最大検索数は5に設定されていますが、1～10の範囲で変更することができます。(☞P.175)

7 ▲▼ボタンを押して、送信先を選び、MENU/OKボタンを押す



- [送信先] 一覧画面に送信したい機器が表示されていない場合は、ADJ.ボタンを押すと、送信先を再検索することができます。
- 送信先を選んで▶ボタンを押すと、送信先の詳細情報が表示されます。
- 送信先を選んで🗑 (削除) ボタンを押すと、送信先を削除することができます。

8 ▲▼◀▶ ボタンを押して、送信したい静止画を選び、MENU/OKボタンを押す



- 画像にプリンターのマークが表示されます。

9 手順8を繰り返して、送信したい静止画をすべて選択する

- 間違えた場合は、そのファイルを選択した状態で MENU/OK ボタンを再度押すと解除できます。

10 DISP.ボタンを押す

- 印刷のフォーマットやファイル数を示す画面が表示されます。

11 MENU/OKボタンを押す

- 送信先の機器へ送信を開始し、進行状況が表示されます。送信を中断したい場合は、DISP.ボタンを押してください。▶（再生）ボタン、シャッターボタンを押した場合でも、送信は中断されます。
- 送信先の機器にパスキーが設定されている場合は、メッセージが表示されるので、パスキーを入力してください。（☞P.161）
- 送信中にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って、画像を再度送信してください。エラーメッセージの内容については、P.218を参照してください。
- 送信が完了すると、プリンターで印刷が開始されます。

12 MENU/OKボタンを押す

- 再生画面に戻ります。



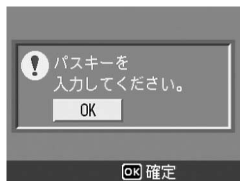
メモ--

最新の送信先が［送信先］一覧画面の一番上に表示されます。

送信機器の認証パスキーを入力する

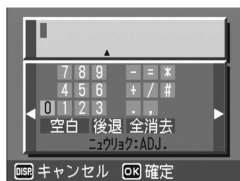
認証パスキーとは、Bluetooth®機能で接続するときに、お互いの機器を認証するためのコードです。

送信先の機器にパスキーが設定されている場合は、カメラと接続したときにメッセージが表示されるので、下記の操作でパスキーを入力してください。



1 MENU/OKボタンを押す

- キーボード画面が表示されます。



2 キーボードを使って、送信先の機器に設定されているパスキーを入力する

- キーボードの操作方法は、P.162を参照してください。
- 送信先のパスキーの設定については、送信先機器の説明書を参照してください。
- パスキー入力の制限時間は30秒です。制限時間を超えた場合はエラーメッセージが表示されるので、MENU/OKボタンを押し、パスキー入力前の操作からやり直してください。
- 間違ったパスキーを入力した場合はエラーメッセージが表示されるので、MENU/OKボタンを押し、パスキー入力前の操作からやり直してください。

3 MENU/OKボタンを押す

- 送信先の機器へ接続し、送信を開始します。

 *メモ*---

- すでにパスキーを入力し、認証が済んでいる機器と接続する場合は、パスキーの入力は不要です。
- 本カメラでは、英数字で最大16文字までのパスキーが入力できます。
- あらかじめ認証パスキーをカメラで設定しておくと、送信先の機器にパスキーが設定されていても自動的に認証が行われ、パスキーの入力が不要となります。(☞P.174)
- カメラより先に送信先の機器側でパスキー入力の画面が表示された場合は、まず送信先でパスキーを入力し、同じパスキーをカメラで入力してください。

キーボードの使い方

キーボード画面は、次のように操作します。

文字の種類を切り替える

キーボードの左右の端の文字にカーソルがあるときに、◀▶ボタンを押すと、文字の種類を数字、記号、英小文字、英大文字に切り替えることができます。

数字

記号

英大文字

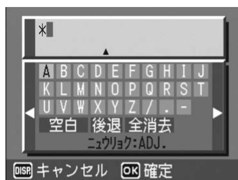
英小文字

文字を入力する

1 ▲▼◀▶ ボタンでカーソルを移動し、入力したい文字を選ぶ

2 ADJ./MEMOボタンを押す

- 入力編集エリアの下部に表示された▲マークの位置まで入力できます。



空白（スペース）を入力する

1 ▲▼◀▶ボタンで［空白］を選ぶ

2 ADJ./MEMOボタンを押す



文字を挿入する

1 ▲▼◀▶ ボタンでキーボードの最上段のいずれかの文字を選ぶ

2 ▲ボタンを押す

- 入力済みの文字の右側にカーソルが移動します。

3 ◀▶ ボタンで挿入したい文字の直後（右側）の文字を選ぶ

4 ▼ボタンを押してカーソルをキーボードに戻す



5 ▲▼◀▶ボタンで挿入したい文字を選ぶ

6 ADJ./MEMOボタンを押す



文字を1文字消去する

1 ▲▼◀▶ ボタンでキーボードの最上段のいずれかの文字を選ぶ

2 ▲ボタンを押す

- 入力済みの文字の右側にカーソルが移動します。



3 ◀▶ ボタンで消したい文字の直後（右側）の文字を選ぶ

4 ▼ボタンを押してカーソルをキーボードに戻す

5 ▲▼◀▶ボタンで［後退］を選び、ADJ./MEMOボタンを押す



入力した文字をすべて消去する

1 ▲▼◀▶ボタンで［全消去］を選ぶ

2 ADJ./MEMOボタンを押す



静止画をパソコンに送信する（ファイル送信）

Bluetooth® 対応のパソコンへ、カメラから静止画を送信することができます。送信された画像は、パソコン側で設定されている内容で処理されます。
SD メモリーカードをセットしていないときには、内蔵メモリーから送信され、SD メモリーカードをセットしているときにはSD メモリーカードから送信されます。
送信方法には、次の3種類があります。

- 1枚の静止画を送信する（☞P.166）
- カメラ内のすべての静止画を送信する（☞P.166）
- 複数の静止画を選択して送信する（☞P.168）

 *注意*

- 送信できる画像は、静止画（.JPG）のみです。動画（.AVI）、文字（.TIF）は、送信できません。音声付き静止画（.JPG と.WAV）の場合には、静止画（.JPG）のみ送信されます。
- 相手端末がBIP とOPP をサポートしている場合は、OPPが優先的に選択されます。
- OPPで送信する場合は、送信画像サイズをあらかじめ設定しておくことができます。（☞P.176）
- BIPで送信する場合は、送信時に接続先機器の最大画像サイズ情報を自動的に取得します。送信画像サイズがそれより大きい場合は、リサイズして送信されます。

 *メモ*

Bluetooth® 機能で送信された画像に関するパソコン側での設定については、ご使用のパソコンの説明書をご覧ください。

1枚またはすべての静止画を送信する

1 送信先の機器（パソコン）の電源が入っていることを確認する

2 ▶（再生）ボタンを押す

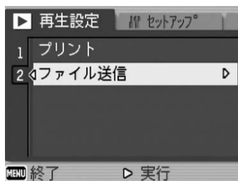
- Caplio 500SE-Wの場合は、拡張設定メニューの［通信切り替え］が［BT］に設定されていることを確認します。（☞P.191）
- すべての静止画を送信する場合は、手順4へ進みます。

3 ◀▶ボタンで送信したい静止画を表示する

4 MENU/OKボタンを押す

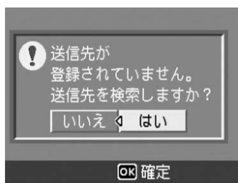
- 再生設定メニューが表示されます。

5 ▼ ボタンを押して、［ファイル送信］を選び、▶ボタンを押す



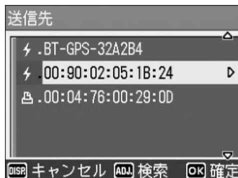
- はじめて Bluetooth® 機能を使う場合は、送信先を検索するかどうか確認する画面が表示されます。
- すでに送信先を検索したことがある場合は、［送信先］一覧画面が表示されます。手順7へ進みます。
- シリアル接続中の場合は、シリアル接続を切断するかどうか確認する画面が表示されます。［はい］を選んでMENU/OKボタンを押し、手順7へ進んでください。

6 ▶ ボタンを押して、［はい］を選び、MENU/OKボタンを押す



- 送信先の検索が開始され、検索が完了すると、［送信先］一覧画面が表示されます。
- 購入時には送信先の最大検索数は5に設定されていますが、1〜10の範囲で変更することができます。（☞P.175）

7 ▲▼ボタンを押して、送信先を選び、MENU/OKボタンを押す



- ［送信先］一覧画面に送信したい機器が表示されていない場合は、ADJ.ボタンを押すと、送信先を再検索することができます。
- 送信先を選んで▶ボタンを押すと、送信先の詳細情報が表示されます。
- 送信先を選んで🗑（削除）ボタンを押すと、送信先を削除することができます。

8 ▲▼ボタンを押して、1枚の画像を送信する場合は［1ファイル送信］を、すべての画像を送信する場合は［一括送信］を選び、MENU/OKボタンを押す



- 送信先の機器へ送信を開始し、進行状況が表示されます。送信を中断したい場合は、DISP.ボタンを押してください。▶（再生）ボタン、シャッターボタンを押した場合でも、送信は中断されます。
- 送信先の機器にパスキーが設定されている場合は、メッセージが表示されるので、パスキーを入力してください。（☞P.161）
- 送信中にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って、画像を再度送信してください。エラーメッセージの内容については、P.218を参照してください。
- 送信が完了すると、送信完了のメッセージが表示されます。

9 MENU/OKボタンを押す

- 再生画面に戻ります。

 *メモ*--

最新の送信先が［送信先］一覧画面の一番上に表示されます。

複数の静止画を送信する

1 送信先の機器（パソコン）の電源が入っていることを確認する

2 ▶（再生）ボタンを押す

- Caplio 500SE-Wの場合は、拡張設定メニューの［通信切り替え］が［BT］に設定されていることを確認します。（☞P.191）

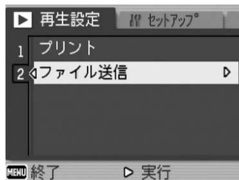
3 ⊞（サムネイル表示）ボタンを2回押す

- 画面が12分割されて、静止画がサムネイル表示されます。

4 MENU/OKボタンを押す

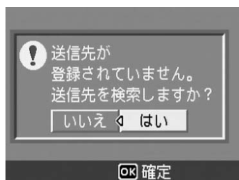
- 再生設定メニューが表示されます。

5 ▼ ボタンを押して、［ファイル送信］を選び、▶ボタンを押す



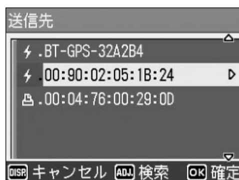
- はじめて Bluetooth® 機能を使う場合は、送信先を検索するかどうか確認する画面が表示されます。
- すでに送信先を検索したことがある場合は、［送信先］一覧画面が表示されます。手順7へ進みます。
- シリアル接続中の場合は、シリアル接続を切断するかどうか確認する画面が表示されます。［はい］を選んでMENU/OKボタンを押し、手順7へ進んでください。

6 ▶ ボタンを押して、［はい］を選び、MENU/OKボタンを押す



- 送信先の検索が開始され、検索が完了すると［送信先］一覧画面が表示されます。
- 購入時には送信先の最大検索数は5に設定されていますが、1〜10の範囲で変更することができます。（☞P.175）

7 ▲▼ボタンを押して、送信先を選び、MENU/OKボタンを押す



- ［送信先］一覧画面に送信したい機器が表示されていない場合は、ADJ.ボタンを押すと、送信先を再検索することができます。
- 送信先を選んで▶ボタンを押すと、送信先の詳細情報が表示されます。
- 送信先を選んで🗑（削除）ボタンを押すと、送信先を削除することができます。

8 ▲▼◀▶ ボタンを押して、送信したい静止画を選び、MENU/OKボタンを押す



- 画像に封筒のマークが表示されます。

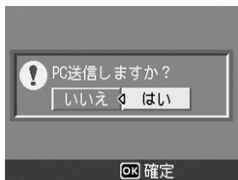
9 手順8を繰り返して、送信したい静止画をすべて選択する

- 間違えた場合は、そのファイルを選択した状態で MENU/OK ボタンを再度押すと解除できます。

10 DISP.ボタンを押す

- 選択した画像をパソコンに送信するかどうか確認する画面が表示されます。

11 ▶ ボタンを押して、［はい］を選び、MENU/OKボタンを押す



- 送信先の機器へ送信を開始し、進行状況が表示されます。送信を中断したい場合は、DISP.ボタンを押してください。▶（再生）ボタン、シャッターボタンを押した場合でも、送信は中断されます。
- 送信先の機器にパスキーが設定されている場合は、メッセージが表示されるので、パスキーを入力してください。（☞P.161）
- 送信中にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って、画像を再度送信してください。エラーメッセージの内容については、P.218を参照してください。
- 送信が完了すると、送信完了のメッセージが表示されます。

12 MENU/OKボタンを押す

- 再生画面に戻ります。


メモ---

最新の送信先が［送信先］一覧画面の一番上に表示されます。

撮影モードで静止画を送信する（クイックビュー送信）

静止画を撮影直後に送信することができます。送信したい機器が決まっているときは、接続の手間が省けて便利です。
あらかじめ拡張設定メニューの［クイック送信モード］で設定をしておく必要があります。

 *注意* --

送信できる画像は、静止画（.JPG）のみです。動画（.AVI）、文字（.TIF）は、送信できません。音声付き静止画（.JPG と.WAV）の場合には、静止画（.JPG）のみ送信されます。

クイックビュー送信を行うための設定をする（クイック送信モード）

設定できる値	
OFF ※購入時の設定	撮影モードでは画像を送信しません。
1TOUCH	一度画像を送信した場合、撮影後の画像確認時間内（☞P.116）にMENU/OKボタンを押すと、前回の送信先に自動的に画像が送信されます。 はじめてBluetooth®機器と接続する場合、シリアル接続中の場合、無線 LAN 接続中の場合（Caplio 500SE-Wのみ）は、クイックビュー送信することはできません。
2TOUCH	一度画像を送信した場合は、撮影後にクイックレビュー表示（☞P.45）を行い、MENU/OKボタンを押すと、前回の送信先に自動的に画像が送信されます。 はじめてBluetooth®機器と接続する場合は、送信先を検索してから画像を送信します。

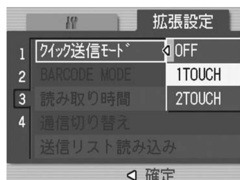
1 拡張設定メニューを表示する

- 操作手順は、P.154を参照してください。
- Caplio 500SE-Wの場合は、拡張設定メニューの［通信切り替え］が［BT］に設定されていることを確認します。（☞P.191）

2 ▼ボタンを押して、［クイック送信モード］を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、［1TOUCH］または［2TOUCH］を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



クイックビュー送信をする

［クイック送信モード］を［1TOUCH］に設定している場合

1 送信先の機器の電源が入っていることを確認する

2 モードダイヤルを📷/CALSに合わせて撮影する

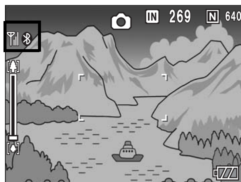
- 画像確認時間（☞P.116）に、画像を送信するかどうか確認する画面が表示されます。

3 MENU/OKボタンを押す

- 前回の送信先へ送信を開始します。



- 送信が完了すると、送信先と接続状態で撮影モードに戻ります。再生モードや音声モードに切り替えるか、カメラの電源をオフにするまで接続状態が続きます。接続中は液晶モニターにBluetooth®アンテナアイコンが表示されます。



 *メモ*

- はじめてBluetooth®機器と接続する場合は、［クイック送信モード］を［1TOUCH］に設定していても、画像をクイックビュー送信することはできません。クイックビュー送信の前に、一度再生モードの［プリント］（☞P.156）または［ファイル送信］（☞P.165）でBluetooth®機器に画像を送信してください。
- シリアル接続中の場合、または無線LAN接続中の場合（Caplio 500SE-Wのみ）は、［クイック送信モード］を［1TOUCH］に設定していても、画像をクイックビュー送信することはできません。クイックビュー送信の前に、シリアル接続または無線LAN接続を切断してください。（☞P.180、P.182、P.214）
- 以下の場合は、［クイック送信モード］を［1TOUCH］に設定していても、画像をクイックビュー送信することはできません。
  - ［画像確認画面］を［OFF］に設定しているとき（☞P.116）
  - シーンモード時（☞P.39）
  - S連写／M連写のとき（☞P.69）
- 音声付き撮影を［ON］に設定している場合（☞P.76）は、手順3でMENU/OKボタンを押した後、送信を開始するまで送信ボタンが表示されます。
- ［送信画像サイズ］（☞P.176）で設定した画像サイズは、適応されません。

［クイック送信モード］を［2TOUCH］に設定している場合

1 送信先の機器の電源が入っていることを確認する

2 モードダイヤルを📷/CALSに合わせて撮影する

3 ⓠ（クイックレビュー）ボタンを押す

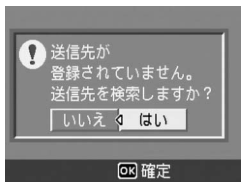
- 画像を送信するかどうか確認する画面が表示されます。

4 MENU/OKボタンを押す



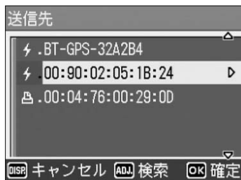
- はじめてBluetooth® 機能を使う場合は、送信先を検索するかどうか確認する画面が表示されます。
- すでに送信先を検索したことがある場合は、［送信先］一覧画面が表示されます。手順6へ進みます。
- シリアル接続中の場合は、シリアル接続を切断するかどうか確認する画面が表示されます。［はい］を選んでMENU/OKボタンを押し、手順6へ進んでください。
- 無線LAN接続中の場合は、無線LAN接続を切断するかどうか確認する画面が表示されます。［はい］を選んでMENU/OKボタンを押し、手順5または手順6へ進んでください。（Caplio 500SE-Wのみ）

5 ▶ ボタンを押して、［はい］を選び、MENU/OKボタンを押す



- 送信先の検索が開始され、検索が完了すると［送信先］一覧画面が表示されます。
- 購入時には送信先の最大検索数は5に設定されていますが、1〜10の範囲で変更することができます。（☞P.175）

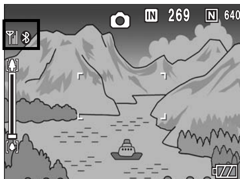
6 ▲▼ボタンを押して、送信先を選ぶ



- ［送信先］一覧画面に送信したい機器が表示されていない場合は、ADJ.ボタンを押すと、送信先を再検索することができます。
- 送信先を選んで▶ボタンを押すと、送信先の詳細情報が表示されます。
- 送信先を選んで🗑（削除）ボタンを押すと、送信先を削除することができます。

7 MENU/OKボタンを押す

- 送信先の機器へ送信を開始し、進行状況が表示されます。送信を中断したい場合は、DISP.ボタンを押してください。▶（再生）ボタン、シャッターボタンを押した場合、またモードダイヤルを回した場合でも、送信は中断されます。
- 送信先の機器にパスキーが設定されている場合は、メッセージが表示されるので、パスキーを入力してください。（☞P.161）
- 送信中にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って、画像を再度送信してください。エラーメッセージの内容については、P.218を参照してください。
- 送信が完了すると、送信先と接続状態で撮影モードに戻ります。再生モードや音声モードに切り替えるか、カメラの電源をオフにするまで接続状態が続きます。接続中は液晶モニターにBluetooth® アンテナアイコンが表示されます。





メモ--

- クイックビュー送信の前に、一度再生モードの［プリント］（☞P.156）または［ファイル送信］（☞P.165）で画像をBluetooth® 機器に送信した場合は、その後カメラの電源をオフ／オンしても、送信先の再検索は行われません。前回の送信先に自動的に送信が開始され、送信が完了すると、送信先と接続状態で撮影モードに戻ります。
- 一度撮影モードでBluetooth®機器にクイックビュー送信を行い、その後接続状態が続いている場合は、送信先の再検索は行われません。前回の送信先に自動的に送信が開始され、送信が完了すると、送信先と接続状態で撮影モードに戻ります。
- マニュアルフォーカス使用時（☞P.65）は、［クイック送信モード］を［2TOUCH］に設定していても、画像をクイックビュー送信することはできません。
- 送信する画像サイズをあらかじめ設定しておくことができます。（☞P.176）



クイックビュー送信後に接続を切断するには------------------

クイックビュー送信完了後は、送信先と接続状態で撮影モードに戻ります。接続を切断する場合は、再生モードや音声モードに切り替えるか、カメラの電源をオフにしてください。

Bluetooth®の詳細設定を行う

機器の認証パスキーを登録する（BT 認証パスキー）

認証パスキーとは、Bluetooth®機能で接続するときに、お互いの機器を認証するためのコードです。
送信先の機器にパスキーが設定されている場合は、あらかじめ認証パスキーをカメラで登録しておくと、接続時にパスキーの認証が自動的に行われます。

1 拡張設定メニューを表示する

- 操作手順は、P.154を参照してください。

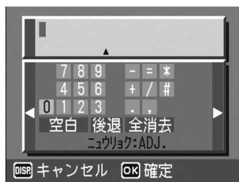
2 ▼ボタンを押して、[BT 認証パスキー] を選び、▶ボタンを押す

- キーボード画面が表示されます。



3 キーボードを使って、送信先の機器に設定されているパスキーを入力する。

- キーボードの操作手順は、P.162 を参照してください。
- 送信先のパスキーの設定については、送信先機器の説明書を参照してください。



4 MENU/OKボタンを押す

 *メモ*--

- 本カメラでは、英数字で最大16 文字までのパスキーが入力できます。
- 認証パスキーを登録しない場合は、カメラと機器を接続したときにパスキーを入力する必要があります。（☞P.161）
- 認証パスキーは、1機器のみ登録できます。複数機器と同時に接続したい場合（☞P.175）は、接続機器の認証パスキーを同一にしておく必要があります。
- 一度登録した認証パスキーを変更したい場合は、手順3でパスキーを上書きし、MENU/OKボタンを押します。

検索機器数を変える（周辺機器検索個数）

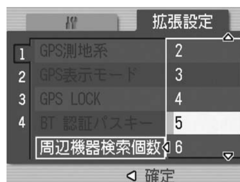
一度の検索で可能なBluetooth® 機器の最大検索数を設定します。1、2、3、4、5、6、7、8、9、10から選択でき、購入時には［5］に設定されています。

1 **拡張設定メニューを表示する**
- 操作手順は、P.154を参照してください。

2 **▼ボタンを押して、［周辺機器検索個数］を選び、▶ボタンを押す**

3 **▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ**

4 **MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す**



同時に複数機器と接続する（MASTER/SLAVE）

カメラと1台のBluetooth®機器を接続するか、同時に複数機器と接続するかを設定します。

設定できる値
MASTER（同時に複数機器と接続する）
SLAVE（1台の機器と接続する） ※購入時の設定

1 **拡張設定メニューを表示する**
- 操作手順は、P.154を参照してください。

2 **▼ボタンを押して、［MASTER/SLAVE］を選び、▶ボタンを押す**

3 **▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ**

4 **MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す**



 *メモ*---

複数機器との同時接続は、SPPで送信する場合のみ可能です。

送信画像サイズを選ぶ（送信画像サイズ）

送信するファイルの画像サイズを設定します。

設定できる値
無変換（画像サイズを変更しない）
1280
640　※購入時の設定
320
160

1 拡張設定メニューを表示する

- 操作手順は、P.154を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[送信画像サイズ] を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



 *注意*

- Bluetooth®で画像を送信する場合、[送信画像サイズ] で設定した画像サイズは、OPP送信の場合のみ適応されます。
- [クイック送信モード] を [1TOUCH] に設定していると、[送信画像サイズ] で設定した画像サイズは、適応されません。
- BIPで送信する場合は、送信時に接続先機器の最大画像サイズ情報を自動的に取得します。送信画像サイズがそれより大きい場合は、リサイズして送信されます。

送信済みの画像を自動的に削除する（送信自動削除）

ファイルをパソコンまたはプリンターへ送信した後、送信済みのファイルをカメラから自動的に削除するかどうか設定します。

設定できる値
ON（送信後、静止画を自動的に削除する）
OFF（送信後、静止画を削除しない）※購入時の設定

1 拡張設定メニューを表示する

- 操作手順は、P.154を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[送信自動削除]を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



GPS機能について

本カメラでGPS情報（緯度/経度）を取得して利用するためには、2つの方法があります。
1つは、直接カメラとGPSモジュールを接続してGPS情報を受信する方法です。
もう1つは、Bluetooth® のSPP（Serial Port Profile）を使用し、Bluetooth®GPSユニットに接続してGPS情報を受信する方法です。

受信したGPS情報は、撮影時に静止画に記録することができます。また、静止画に記録したGPS 情報は、再生モードの画面で表示することができます。

 *注意* ---

- GPSモジュールおよびBluetooth® GPSユニットについては、GPSモジュールおよびBluetooth® GPSユニットに付属の説明書をご参照ください。
- GPS情報が記録できる画像は、本カメラで撮影した静止画です。
- GPS情報は、文字モードの静止画や動画には記録できません。
- 地理的状況によって、GPS情報が取得できない場合があります。
- 状況によって、測位に時間がかかる場合があります。

GPS情報を受信する

ここでは、SPPでBluetooth® GPSユニットに接続して、GPS情報を受信する方法を説明します。
接続方法には、次の2種類があります。

- 手動で機器に接続する（☞P.179）
- 前回接続した機器に自動で接続する（☞P.181）

手動で機器に接続する（BTシリアル）

1 拡張設定メニューを表示する

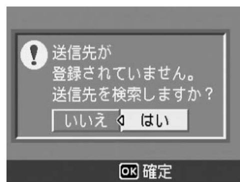
- 操作手順は、P.154を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[BTシリアル]を選び、▶ボタンを押す



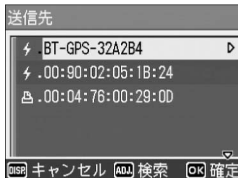
- はじめてBluetooth® 機能を使う場合は、送信先を検索するかどうか確認する画面が表示されます。
- すでに送信先を検索したことがある場合は、[送信先] 一覧画面が表示されます。手順4へ進みます。
- 無線LAN接続中の場合は、無線LAN接続を切断するかどうか確認する画面が表示されます。[はい] を選んでMENU/OKボタンを押し、手順3または手順4へ進んでください。(Caplio 500SE-Wのみ)

3 ◀▶ボタンを押して、[はい] を選び、MENU/OKボタンを押す



- Bluetooth® GPS ユニットの検索が開始され、検索が完了すると [送信先] 一覧画面が表示されます。
- 購入時には送信先の最大検索数は5に設定されていますが、1～10までの範囲で変更することができます。(☞P.175)

4 ▲▼ボタンを押して、送信先を選ぶ



- [送信先]一覧画面に送信したい機器が表示されていない場合は、ADJ.ボタンを押すと、現在の環境にあるBluetooth® GPS ユニットを検索できます。
- 送信先を選んで▶ボタンを押すと、送信先の詳細情報が表示されます。
- 送信先を選んで🗑（削除）ボタンを押すと、送信先を削除することができます。

5 MENU/OKボタンを押す

- 接続状況が表示されます。接続を中断したい場合は、DISP.ボタンを押してください。
- 接続先の機器にパスキーが設定されている場合は、メッセージが表示されるので、パスキーを入力してください。（☞P.161）
- 接続に失敗すると、エラーメッセージを表示後、通常の撮影画面が表示されます。エラーメッセージの内容については、P.218を参照してください。
- 接続に成功すると、撮影画面にBluetooth®アンテナアイコンやGPS情報、GPSアイコンなどが表示されます。





メモ

最新の送信先が［送信先］一覧画面の一番上に表示されます。



手動接続後にシリアル接続を切断するには

カメラの電源をオフにすると、シリアル接続が切断されます。

前回接続した機器に自動で接続する（BT自動接続）

拡張設定メニューの［BT自動接続］を［ON］に設定すると、カメラの電源をオンにしたときに、前回接続したBluetooth® GPSユニットを検索して自動的に接続します。あらかじめ前回のBluetooth® GPSユニットを使用することがわかっているときは、接続の手間が省けて便利です。

［BT自動接続］を［ON］に設定する

1 拡張設定メニューを表示する

- 操作手順は、P.154を参照してください。
- Caplio 500SE-Wの場合は、拡張設定メニューの［通信切り替え］が［BT］に設定されていることを確認します。（☞P.191）

2 ▼ボタンを押して、［BT自動接続］を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、［ON］を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



 *メモ*

- 設定後、自動接続を行う場合は、一度カメラの電源をオフにしてから、再度電源をオンにしてください。前回接続したBluetooth® GPSユニットに対して自動的に接続を開始します。
- 前回接続した機器が接続可能範囲にない場合（☞P.153）、または［通信切り替え］が［W-LAN］に設定されている場合（Caplio 500SE-Wのみ）（☞P.191）は、［BT 自動接続］を［ON］に設定しても、接続されません。
- 本機能はBluetooth® GPSユニット使用時のみお使いください。

自動接続する

1 Bluetooth® GPSユニットの電源が入っていることを確認する

2 カメラの電源をオンにする

- 自動接続を開始して接続状況が表示されます。接続を中断したい場合は、DISP.ボタンを押してください。
- 接続先の機器にパスキーが設定されている場合は、メッセージが表示されるので、パスキーを入力してください。(☞P.161)
- 接続に失敗すると、エラーメッセージを表示後、通常の撮影画面が表示されます。エラーメッセージの内容については、P.218を参照してください。
- 接続に成功すると、撮影画面にBluetooth®アンテナアイコンやGPS情報、GPSアイコンなどが表示されます。







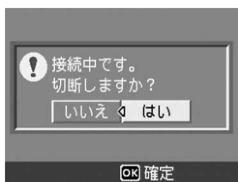
自動接続後にシリアル接続を切断するには

拡張設定メニューで［BT自動接続］を［OFF］に設定し（☞P.181）、カメラの電源をオフにすると、シリアル接続が切断されます。その後カメラの電源をオンにしても、自動接続は行われません。



メモ

Bluetooth® GPS ユニット接続中にファイルを送信する場合は、いったんシリアル接続を切断する必要があります。
［再生設定］メニューで［プリント］（☞P.156）または［ファイル送信］（☞P.165、P.206）を選ぶと、シリアル接続を切断するかどうか確認する画面が表示されます。［はい］を選んでMENU/OKボタンを押すと、シリアル接続は切断されます。



GPS情報の表示

撮影モードでBluetooth® GPS ユニットに接続すると、液晶モニターにBluetooth®アンテナアイコンやGPS情報、GPSアイコンなどが表示されます。



x3(4)

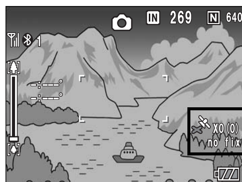
現在位置で捕捉した、可視可能な衛星数

使用した衛星数

測位品質

表示	内容
no fix	受信できません。
2d	NMEA-0183 フォーマットのGSA の測位モードが2d のときに表示されます。
3d	NMEA-0183 フォーマットのGSA の測位モードが3d のときに表示されます。
Diff	NMEA-0183 フォーマットのGGAのクオリティーがDGPSの場合に表示されます。

受信可能な衛星の数が3未満の場合には、GPS情報が測位できません。GPS情報が測位できない場合は、GPSアイコンの表示が変わります。状況により測位までに時間がかかる場合もあります。





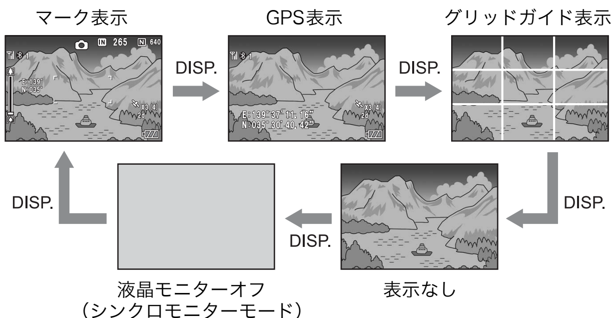
GPS情報の保持 --

- 受信した最新のGPS情報は、カメラ内に10分間保持されています。そのため、屋外でGPS情報を受信して、屋内でGPS情報を付けて撮影することができます。
- GPSの測地系設定を変更した場合は(☞P.186)、10分以内でもGPS情報は消去されます。

液晶モニターの表示

撮影画面でGPS表示にすると、現在のGPS情報詳細が表示されます。撮影時には、ここに表示された緯度経度が画像の情報として記録されます。
GPS情報付きの静止画を再生する場合も、表示を切り替えることができます。GPS表示にすると、撮影したとき静止画に記録された緯度経度が表示されます。
液晶モニターの表示は、DISP.ボタンで切り替えます。

撮影モード



再生モード



GPS情報付きで撮影する

静止画にGPS情報を付けて撮影します。[文字] 以外のシーンモードや連写撮影時にもGPS情報付きで撮影することができます。

1 GPSが使用できる状態で、モードダイヤルを📷/CALSに合わせる

2 液晶モニターにGPS情報やGPSアイコンなどが表示されていることを確認する（☞P.184）

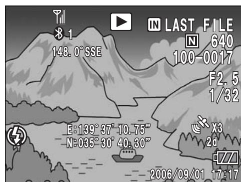
- 現在の GPS 情報詳細を確認したい場合は、DISP.ボタンを押して、GPS表示に切り替えてください。



3 シャッターボタンを押して撮影する

GPS情報付きの静止画を再生する

GPS情報を付けて撮影した静止画を再生すると（☞P.184）、GPS情報が表示されます。




メモ

- 撮影時にGPS情報が取得できなかったなどの理由で、カメラに保持されたGPS情報（☞P.183）を使用して撮影された画像を再生すると、緯度・経度がオレンジ色で表示されます。
- GPS情報付きの静止画を送信することができます。（☞P.182）

GPS情報の詳細設定を行う

測地系を設定する（GPS測地系）

GPS情報の測地系を設定します。

設定できる値
TOKYO（日本で標準的に使用されている測地系）※購入時の設定
WGS-84（世界測地系）

1 拡張設定メニューを表示する

• 操作手順は、P.154を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[GPS側地系] を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



表示規格を設定する（GPS表示モード）

画面に表示するGPS情報の規格を設定します。

設定できる値
LAT/LON（緯度/経度を表示）※購入時の設定
UTM（UTM*座標で表示）*Universal Transverse Mercator Projection
MGRS（MGRS*座標で表示）*Military Grid Reference System
ALL（上記3項目の情報をすべて表示）

1 拡張設定メニューを表示する

- 操作手順は、P.154を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[GPS表示モード] を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



GPS情報をロックする（GPS LOCK）

⊡（クイックレビュー）ボタンに、GPS情報をロックする機能を割り当てる設定をします。
GPS情報をロック中は、新たにGPS情報を受信しません。

設定できる値
OFF（GPS LOCK機能を⊡ボタンに割り当てない）※購入時の設定
ON（GPS LOCK機能を⊡ボタンに割り当てる）

1 拡張設定メニューを表示する

- 操作手順は、P.154を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[GPS LOCK] を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、[ON] を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



 *メモ*

- [ON] に設定すると、⊡（クイックレビュー）ボタンのクイックレビュー機能は無効になります。
- [ON] に設定後、撮影画面で⊡（クイックレビュー）ボタンを押すと、GPS情報がロックされます。画面にマークが表示されます。



無線LAN機能について

Caplio 500SE-Wでは、通信機能としてBluetooth®のほかに無線LANが内蔵されています。通信を行う際は、あらかじめカメラの拡張設定メニューで、どちらの通信方法を使用するか設定しておく必要があります。（☞P.191）
無線LAN機能では、静止画（文字モードを含む）・動画・音声のファイルを送信することができます。本カメラでは、無線LAN機能を使って次の2種類のファイル送信ができます。

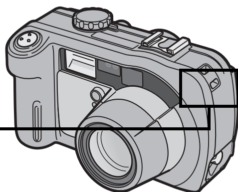
- ファイルをメール送信する
  ファイルをメールに添付して、送信リストに登録しているメールアドレスへ送信します。メールの本文は入力できません。
- ファイルをFTP送信する
  FTPプロトコルを使って、送信リストに登録しているFTPサーバーへファイルを送信します。FTPサーバーがない場合は、ご使用のパソコンをCaplioサーバー（Caplio専用のFTPサーバー）に設定することもできます。（☞P.197）

 *注意*

- 無線LANは、最大約30mまでの通信が可能です。送信先の無線LAN対応機器と本カメラとの距離は、見通しがきく約30m以内にして操作を行ってください。
- 無線LAN機能を使うには、付属ソフトCaplio Settingのインストールが必要になります。Caplio Settingは、Windowsでのみインストール可能です。

 *メモ*

- 無線LANでは、ファイルをプリンターに送信して印刷することはできません。ファイルをプリンターに送信する場合は、Bluetooth®機能を使用してください。（☞P.156）
- 無線LAN通信時は、指が無線LANアンテナ部にかからないように注意してください。



無線LANで送信するまでの流れ

① 送信のための詳細設定を行う（☞P.192）

付属ソフトCaplio Settingを使って、無線LANでファイルを送信するための詳細設定を行います。
FTPサーバーがない場合は、詳細設定を行う前に、ご使用のパソコンをCaplio サーバーに設定します。（FTP送信を行う場合のみ）（☞P.197）



② 送信リストを作成する（☞P.200）

①で登録した詳細設定から、使用したい設定を組み合わせて送信リストを作成します。



付属ソフトCaplio Settingでの設定（パソコンでの操作）

③ 送信リストをパソコンからカメラに転送する（☞P.200）

付属のUSBケーブルでパソコンとカメラを接続し、送信リストをカメラの内蔵メモリーに転送します。SDメモリーカードを使用して、カメラに送信リストを読み込ませることもできます。（☞P.202）
送信先の設定内容は、カメラで修正することができます。（☞P.204）



④ ファイルを送信する

カメラの拡張設定メニューで、通信方法を無線LANに設定し（☞P.191）、カメラからファイルを送信します。次の2種類の送信方法があります。

- ファイル送信（☞P.206）
  再生モードでファイルを選んで送信します。
- クイックビュー送信（☞P.210）
  ファイルを撮影直後に送信します。

ファイルを送信するときは、送信時に表示される［送信先］一覧画面で送信先を選択しますが、あらかじめ拡張設定メニューで送信先を選択しておくこともできます。（☞P.215）

通信方法を選択する（通信切り替え）

カメラからファイルを送信する前に、カメラと送信先を無線LANで接続するか、Bluetooth®で接続するかを設定します。

設定できる値
W-LAN（無線LANで接続する） ※購入時の設定
BT（Bluetooth®で接続する）

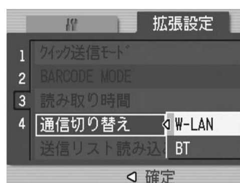
1 **拡張設定メニューを表示する**

- 操作手順は、P.154を参照してください。

2 **▼ボタンを押して、[通信切り替え]を選び、▶ボタンを押す**

3 **▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ**

4 **MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す**



無線LANで送信するための詳細設定をする

無線LANでファイルを送信するには、送信のための詳細設定を登録した送信リストをパソコンで作成し、カメラに転送しておく必要があります。詳細設定は、付属ソフトのCaplio Settingで行います。

1 付属のCaplio Software CD-ROMをインストールする

- 操作手順は、P.133を参照してください。

2 Windowsの［スタート］メニューから［プログラム］→［Caplio Software］→［Caplio Setting］を選択する

- Caplio Settingが起動し、［Caplio Setting］画面が表示されます。

3 ［すべての詳細設定］をクリックする

- ［選択候補の詳細設定］画面が表示されます。

4 詳細設定を行いたいタブをクリックする

- 詳細設定のタブと設定内容は次のとおりです。

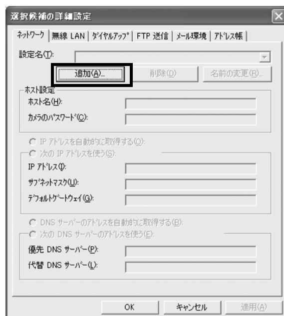
詳細設定のタブ	設定内容
ネットワーク	IPアドレスなどの設定（メール送信、FTP送信）
無線LAN	無線LANに関する設定（メール送信、FTP送信）
ダイヤルアップ	本カメラはダイヤルアップ接続に対応していないので、設定の必要はありません。
FTP送信	送信先のFTPサーバー名などの設定（FTP送信）
メール環境	送信先のSMTPサーバー名などの設定（メール送信）
アドレス帳	送信先のメールアドレスの設定（メール送信）


メモ--

- FTPサーバーがない場合は、ご使用のパソコンをCaplioサーバーに設定し、FTP送信の送信先に指定することができます。（☞P.197）
- ［Caplio Setting］画面で各設定項目の右側にある［詳細設定］をクリックすると、その項目のみ詳細設定を行うことができます。

5 ［設定名］の［追加］をクリックする

- ［新しい設定名］ダイアログが表示されます。



6 設定名を入力し、［OK］をクリックする

7 詳細設定を行う

- 詳細設定の各項目については、P.194をご覧ください。
- 設定を削除したい場合は、削除したい設定名を選択し、［削除］をクリックします。
- 設定名を変更したい場合は、変更したい設定名を選択し、［名前の変更］をクリックして［新しい設定名］ダイアログに設定名を入力します。

8 他にも詳細設定を行う場合は、詳細設定を行いたいタブをクリックし、手順5～7を繰り返してすべて設定する

9 ［OK］をクリックする

- ［Caplio Setting］画面に戻ります。


注意--

設定する内容については、システム管理者の方にご確認ください。


メモ--

［適用］をクリックすると、現在の設定が保存されます。

各詳細設定項目の内容

[ネットワーク] タブ

項目名	内容
ホスト設定 ホスト名 カメラのパスワード	本カメラでは設定する必要はありません。
IPアドレスを自動的に取得する	カメラのIPアドレスを自動的に取得する場合に選択します。
次のIPアドレスを使う IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ	IPアドレスを固定する場合に選択し、下記を入力します。 [IPアドレス] カメラの固定IPアドレス [サブネットマスク] 通常、255.255.255.0と入力します。 [デフォルトゲートウェイ] インターネットに接続しているコンピュータのIPアドレス
DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する	DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する場合に選択します。
次のDNSサーバーのアドレスを使う 優先DNSサーバー 代替DNSサーバー	DNSサーバーのアドレスを固定する場合に選択し、下記を入力します。 [優先DNSサーバー] プロバイダーの優先DNSサーバーアドレス [代替DNSサーバー] プロバイダーの代替DNSサーバーアドレス

[無線LAN] タブ

項目名	内容
接続形態	接続形態を下記から選択します。 [Infrastructure] ルーターやアクセスポイントを介して通信を行う接続形態です。 [AdHoc] 子機同士で通信ができる接続形態です。
ESS-ID	無線LANでは、同じESS-IDを持つ親機と子機の間で通信ができます。ここでは親機と同じESS-IDを入力します。
通信チャネル	複数のアクセスポイントを使っている場合は、各アクセスポイントにチャネルが設定されています。使用するアクセスポイントのチャネルを選択します。 [自動] [接続形態] を [Infrastructure] に設定していて、アクセスポイントが1つの場合に選択します。

項目名	内容
	[1～13] [接続形態]を[Infrastructure]に設定していてアクセスポイントが複数の場合、または[接続形態]を[AdHoc]に設定している場合に、使用するチャネルを選択します。
暗号化	暗号化方式を下記から選択します。 [なし] 暗号化は行いません。 [WEP] [接続形態]で[Infrastructure]、[AdHoc]のどちらを設定した場合にも選択できます。 [AES] [接続形態]で[Infrastructure]を設定した場合のみ選択できます。 [TKIP] [接続形態]で[Infrastructure]を設定した場合のみ選択できます。
ネットワークキー	セキュリティーのための暗号を入力します。キーの種類を[文字]または[16進]のいずれかから選択し、テキストボックスに暗号キーを入力します。 [文字] [暗号化]で[WEP]を選択した場合：5文字または13文字の暗号キーを入力します。5文字入力時は40bit、13文字入力時は128bitを使用します。 [暗号化]で[AES]または[TKIP]を選択した場合：8～63文字の暗号キーを入力します。 [16進] [暗号化]で[WEP]を選択した場合のみ選択できます。10桁または26桁の暗号キーを入力します。10桁入力時は40bit、26桁入力時は128bitを使用します。
認証方式	[Open System] [暗号化]で[なし]または[WEP]を設定した場合のみ選択できます。WEPキーに関わらず認証する方式です。 [Shared Key] [暗号化]で[なし]または[WEP]を設定した場合のみ選択できます。同じWEPキーを持っているかどうかで認証する方式です。 [WPA-PSK] [暗号化]で[AES]または[TKIP]を設定した場合のみ選択できます。 [WPA2-PSK] [暗号化]で[AES]または[TKIP]を設定した場合のみ選択できます。

[FTP送信]タブ

項目名	内容
サーバー名	ファイルを送信する先のFTPサーバー名またはFTPサーバーのIPアドレスを入力します。ご使用のパソコンをCaplioサーバーに設定している場合(☞P.197)は、パソコンのIPアドレスを入力してください。
ユーザー名、パスワード	FTPサーバーに接続する際に必要なユーザー名(ユーザーID)とパスワードを入力します。ご使用のパソコンをCaplioサーバーに設定している場合(☞P.197)は、入力する必要はありません。
フォルダ指定	ファイルを送信するフォルダ名(FTPサーバーの受信フォルダ)を入力します。
重複する名前のファイルを送信しない	チェックマークを付けると、送信先に同じ名前のファイルがあった場合はファイルを送信しません。 チェックマークを付けていないと、同じ名前のファイルがあった場合でもファイルを送信して上書きします。 Caplioサーバーを使用する場合(☞P.197)は、この設定は無効となり、同じファイル名があった場合は別のファイル名に置き換えられて保存されます。(☞P.199)

[メール環境]タブ

項目名	内容
サーバー名	プロバイダーのSMTPサーバー(送信用のメールサーバー)のサーバー名を入力します。
ユーザー名、パスワード	プロバイダーに接続する際に必要なユーザー名(ユーザーID)とパスワードを入力します。
送信元メールアドレス	送信元(自分)のメールアドレスを入力します。

[アドレス帳]タブ

項目名	内容
メールアドレス	送信先のメールアドレスを入力します。


メモ

本カメラはダイヤルアップ接続に対応していないので、[ダイヤルアップ]タブで詳細設定を行う必要はありません。

Caplio専用のFTPサーバーを設定する

FTPサーバーがない場合に、付属ソフトCaplio Serverを使って、ご使用のパソコンをCaplioサーバー（Caplio専用のFTPサーバー）に設定することができます。
すでにパソコンで設定しているFTPサーバーにファイルを送信する場合は、この設定は必要ありません。


注意 ---

- Caplioサーバーは、本カメラとのFTP接続専用です。他のFTPクライアントからは、ご使用いただけません。
- FTPサーバーからカメラへファイルを送信することはできません。

1 付属のCaplio Software CD-ROMをインストールする

- 操作手順は、P.133を参照してください。

2 Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］または［プログラム］→［Caplio Software］→［Caplio Server］を選択する

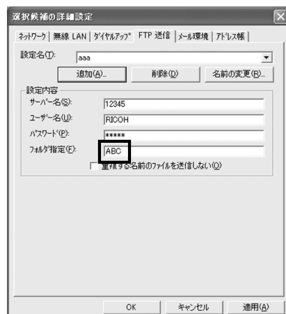
- Caplio Serverが起動し、［Caplio Server］画面が表示されます。



3 ［指定方法］で受信フォルダの指定方法を選択する

項目名	内容
サーバー	［フォルダ名］で受信フォルダを指定します。
サーバー＋カメラ	以下のフォルダが受信フォルダになります。 ［フォルダ名］で指定したフォルダ カメラで指定したフォルダ（※）
カメラ	カメラで受信フォルダを指定します。（※）

(※)詳細設定の [FTP送信] タブで、[フォルダ指定]（☞P.196）に設定したフォルダが受信フォルダになります。



 *メモ*

受信フォルダは自動生成されないので、指定したフォルダと同じ名前のフォルダを作成しておく必要があります。

4 手順3で［サーバー］または［サーバー＋カメラ］を選択した場合は、［フォルダ名］で受信フォルダを指定する

- フォルダのアイコンをクリックすると、ダイアログが表示され、フォルダを選択して指定することができます。

5 必要に応じて、[ログファイル名] でログファイル名を指定する

- ログファイル名を指定すると、接続状況のログファイルが作成されます。指定しない場合は、ログファイルは作成されません。
- ログファイル名は、フルパスで指定してください。
- フォルダのアイコンをクリックすると、ダイアログが表示され、ファイル名を選択して指定することができます。

6 ［適用］をクリックする

- 設定が完了します。

7 ［終了］をクリックする

- Caplio Serverが終了します。

Caplioサーバーを使う

カメラからFTPサーバーにファイルを送信するには、設定したFTPサーバーを送信リストに登録し、カメラに転送しておく必要があります（☞P.200）。
Caplioサーバーを使用する場合は、カメラに送信リストを転送した後、次の手順でFTPサーバーを使用します。

1 Windowsの［スタート］メニューから［すべてのプログラム］または［プログラム］→［Caplio Software］→［Caplio Server］を選択する

- Caplio Serverが起動し、［Caplio Server］画面が表示されます。

2 ［開始］をクリックします。

- FTPサーバーが起動し、カメラとの通信が可能になります。
- ［隠す］をクリックすると、［Caplio Server］画面が非表示になり、タスクバーにアイコンが表示されます。［Caplio Server］画面を再表示したいときは、タスクバーのアイコンをクリックします。



3 カメラからファイルを送信する

- ファイルを送信する手順については、P.206またはP.210を参照してください。
- ［Caplio Server］画面の［接続状況］に通信状況が表示されます。
- 指定した受信フォルダ（☞P.197）にファイルが保存されます。



メモ

受信フォルダ内に、送信ファイルと同じ名前のファイルがある場合は、送信ファイル名の後ろに-001～-999までの連続番号を付加したファイル名に置き換えられて保存されます。すでに-001～-999を付加したファイル名が受信フォルダ内にある場合は、上書きされます。

送信リストを作成してカメラへ転送する

［Caplio Setting］画面で詳細設定が完了したら、使用したい設定を組み合わせて送信リストを作成し、付属のUSBケーブルでカメラへ転送します。

 *注意*

カメラのセットアップメニューで、［USB接続］を［オリジナル］に設定しておく必要があります。（☞P.123）

 *メモ*

送信リストをパソコンに保存し、SDメモリーカードにコピーしてカメラに読み込ませることもできます。（☞P.202）

1 **Caplio Settingが起動していない場合は、［スタート］メニューから［プログラム］→［Caplio Software］→［Caplio Setting］を選択する**

- Caplio Settingが起動し、［Caplio Setting］画面が表示されます。

2 **［設定名］の［追加］をクリックする**

- ［新しい設定名］ダイアログが表示されます。



3 **設定名を入力し、［OK］をクリックする**

4 **［接続方法］で［無線LAN］を選択し、プルダウンから使用したい無線LAN設定を選択する**

- 詳細設定の［無線LAN］タブで登録した設定が表示されます。

5 **［ネットワーク設定］のプルダウンから、使用したいネットワーク設定を選択する**

- 詳細設定の［ネットワーク］タブで登録した設定が表示されます。

6 **［送信方法］で［FTP送信］または［メール送信］を選択する**

7 プルダウンから使用したいFTP送信設定またはメール環境設定を選択する

- 詳細設定の［FTP送信］タブまたは［メール環境］タブで登録した設定が表示されます。

8 手順6で［メール送信］を選択した場合は、［メール送信宛先］のプルダウンから使用したいアドレス帳設定を選択する

- 詳細設定の［アドレス帳］タブで登録した設定が表示されます。

9 他にも送信設定を作成する場合は、手順2〜8を繰り返してすべて作成する

- 送信設定を削除したい場合は、削除したい設定名を選択し、［削除］をクリックします。
- 送信設定名を変更したい場合は、変更したい設定名を選択し、［名前の変更］をクリックして［新しい設定名］ダイアログに設定名を入力します。
- 送信設定の内容を変更したい場合は、内容を変更したい設定名を選択して設定を変更します。

10 ［適用］をクリックする

11 カメラの電源がオフになっていることを確認する

12 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

13 USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する

- カメラの電源がオンになります。

14 ［カメラへ転送］をクリックする



- カメラに設定されている情報を更新するかどうか確認する画面が表示されます。更新する場合は、［はい］をクリックします。［いいえ］をクリックすると、転送は行われません。
- 手順10で［適用］をクリックせずに［カメラへ転送］をクリックすると、編集内容を保存するかどうか確認するメッセージが表示されます。保存する場合は［OK］をクリックしてください。［いいえ］をクリックすると、転送は行われません。
- 送信リストの転送が開始され、完了すると、転送完了のメッセージが表示されます。

15 メッセージボックスの［OK］をクリックする

16［Caplio Setting］画面の［OK］をクリックする

- Caplio Settingが終了します。


メモ--

送信リストの転送やパソコンへの保存を行ったかどうかに関わらず、Caplio Setting終了時の設定内容（詳細設定や送信リストの設定）が記憶されます。Caplio Settingを2回目以降に起動したときは、前回終了時の設定内容が表示されます。

17 カメラの電源をオフにして、USBケーブルをカメラとパソコンから取り外す

- USBケーブルを取り外す手順は、P.152を参照してください。

SDメモリーカードから送信リストを読み込む（送信リスト読み込み）

パソコンに保存した送信リストをSDメモリーカードにコピーし、カメラへ読み込ませることができます。


注意--

本カメラで初期化したSDカードを使用してください。

1 送信リストを作成し（☞P.200手順1～9）、［ファイルへ保存］をクリックする

- ［フォルダの参照］ダイアログが表示されます。



2 送信リストを保存したいフォルダを選択して、［OK］をクリックする

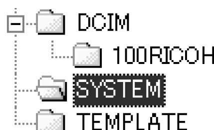
- 送信リストが保存され、保存完了のメッセージが表示されます。
- 送信リストは、「SYSTEM.PRM」というファイル名で保存されます。

3 メッセージボックスの［OK］をクリックする

4 ［Caplio Setting］画面の［OK］をクリックする

- Caplio Settingが終了します。

5 PC カードスロットやカードリーダーを使用して、送信リスト（「SYSTEM.PRM」）をSDメモリーカードのSYSTEMフォルダ内にコピーする



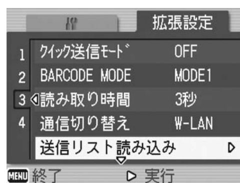
6 送信リストをコピーしたSDメモリーカードをカメラにセットする

7 カメラの電源をオンにし、拡張設定メニューを表示する

- 操作手順は、P.154を参照してください。

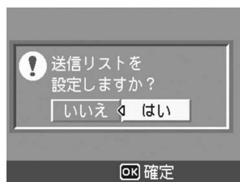
8 ▼ ボタンを押して、［送信リスト読み込み］を選び、▶ボタンを押す

- 読み込みを行うかどうか確認する画面が表示されます。



9 ▶ボタンを押して［はい］を選び、MENU/OKボタンを押す

- すでに送信リストが読み込まれている場合は、送信リストを上書きするかどうか確認する画面が表示されます。上書きする場合は、［はい］を選択してください。［いいえ］を選択すると、読み込みは行われず、拡張設定メニューに戻ります。



- SDメモリーカード内の送信リストがカメラに読み込まれ、読み込みが完了すると拡張設定メニューに戻ります。

10 MENU/OKボタンを押す

注意

SDカードとカメラで読み込むことができる送信リストは、1つだけです。

メモ

送信リストは、USBケーブルを使ってパソコンからカメラに転送することもできます。（☞P.200）

送信先の設定内容をカメラで確認／修正する

カメラに転送した送信リストの設定内容を、カメラで確認／修正することができます。

1 **カメラの電源をオンにし、拡張設定メニューを表示する**

- 操作手順は、P.154を参照してください。

2 **▼ボタンを押して、[送信先選択]を選び、▶ボタンを押す**

- 送信リストで設定した送信先の一覧画面が表示されます。



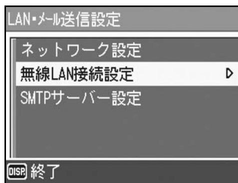
3 **▲▼ボタンを押して、設定内容を修正したい送信先を選び、▶ボタンを押す**

- 選択した送信先の設定分類が表示されます。



4 **▲▼ボタンを押して、設定内容を修正したい設定分類を選び、▶ボタンを押す**

- 選択した送信先の詳細設定が表示されます。



5 **▲▼ボタンを押して、修正したい詳細設定項目を選び、▶ボタンを押す**

- 選択画面またはキーボード画面が表示されます。



6 **設定内容を変更する**

- キーボード画面で入力できるのは英数字のみです。キーボードの操作方法は、P.162を参照してください。

7 変更が完了したら、MENU/OKボタンを押す

- 詳細設定の表示画面に戻ります。
- 他にも変更したい設定内容がある場合は、手順5～7を繰り返して変更します。

8 DISP.ボタンを押す

- 設定分類の表示画面に戻ります。
- 他にも変更したい設定分類がある場合は、手順4～8を繰り返して変更します。

9 DISP.ボタンを押す

- ［送信先］一覧画面に戻ります。
- 他にも変更したい送信先がある場合は、手順3～9を繰り返して変更します。

10 すべての変更が完了したら、MENU/OKボタンを押す

- 拡張設定メニューに戻ります。

11 MENU/OKボタンを押す

 *注意*--

- Caplio Settingの詳細設定で、［無線LAN］タブの［暗号化］／［認証方式］を以下のとおり設定している場合は（☞P.194）、カメラで［無線LAN接続設定］の［接続形態］を［AD-HOC］に変更すると、［暗号化/認証方式］は自動的に［OFF/OPEN］となります。
  ［AES］／［WPA-PSK］、［AES］／［WPA2-PSK］、［TKIP］／［WPA-PSK］、［TKIP］／［WPA2-PSK］
- カメラで［無線LAN接続設定］の［暗号化/認証方式］を変更した場合は、ネットワークキーを確認してください。（☞P.195）
  ［暗号化/認証方式］を［WEP/OPEN］または［WEP/SHARED］に設定した場合は、［ネットワークキー］は以下のとおり入力してください。
  ［文字］の場合：5文字もしくは13文字
  ［16進］の場合：10文字もしくは26文字
  ［暗号化/認証方式］を［AES/WPA-PSK］、［AES/WPA2-PSK］、［TKIP/WPA-PSK］、［TKIP/WPA2-PSK］に設定した場合は、8～63文字のネットワークキーを入力してください。

静止画／動画／音声を送信する（ファイル送信）

カメラから静止画（文字モードを含む）・動画・音声のファイルを送信します。送信したファイルは、パソコン側で設定されている内容で処理されます。
SDメモリーカードをセットしていないときには、内蔵メモリーから送信され、SDメモリーカードをセットしているときにはSDメモリーカードから送信されます。
送信方法には、次の3種類があります。

- 1ファイルを送信する（☞P.206）
- カメラ内のすべてのファイルを送信する（☞P.206）
- 複数のファイルを選択して送信する（☞P.208）

 *注意*

ファイルを送信する前に、パソコンで送信リストを作成し、カメラに転送してください。（☞P.200）

 *メモ*

- あらかじめ送信ファイルの画像サイズを設定しておくことができます。（☞P.176）
- ファイルを送信するときは、送信時に表示される［送信先］一覧画面で送信先を選択しますが、あらかじめ拡張設定メニューで送信先を選択しておくこともできます。（☞P.215）
- 送信したファイルに関するパソコン側での設定については、ご使用のパソコンの説明書をご覧ください。

1ファイルまたはすべてのファイルを送信する

1 送信先の機器（パソコン）の電源が入っていることを確認する

2 ▶（再生）ボタンを押す

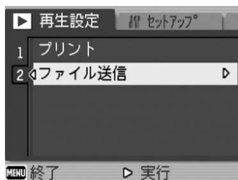
- 拡張設定メニューの［通信切り替え］が［W-LAN］に設定されていることを確認します。（P.191）
- すべてのファイルを送信する場合は、手順4へ進みます。

3 ◀▶ボタンで送信したいファイルを表示する

4 MENU/OKボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。

5 ▼ ボタンを押して、[ファイル送信]を選び、▶ボタンを押す



- [送信先選択画面]を[ON]に設定している場合は、[送信先]一覧画面が表示されます。
- [送信先選択画面]を[OFF]に設定している場合（☞P.215）は、手順7へ進んでください。
- 送信リストをカメラに転送していない場合、または[送信先選択画面]が[OFF]（☞P.215）で送信先の設定内容が誤っている場合は、エラーメッセージが表示された後、再生設定メニューに戻ります。
- シリアル接続中の場合は、シリアル接続を切断するかどうか確認する画面が表示されます。[はい]を選んでMENU/OKボタンを押してください。

6 ▲▼ボタンを押して、送信先を選び、MENU/OKボタンを押す



7 ▲▼ボタンを押して、1ファイルを送信する場合は[1ファイル送信]を、すべてのファイルを送信する場合は[一括送信]を選び、MENU/OKボタンを押す



- 送信先の機器へ送信を開始し、進行状況が表示されます。送信を中断したい場合は、DISP.ボタンを押してください。▶（再生）ボタン、シャッターボタンを押した場合でも、送信は中断されます。
- 送信中にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って、ファイルを再度送信してください。エラーメッセージの内容については、P.218を参照してください。
- 送信が完了すると、送信完了のメッセージが表示されます。

8 MENU/OKボタンを押す

- 再生画面に戻ります。

複数のファイルを送信する

1 送信先の機器（パソコン）の電源が入っていることを確認する

2 ▶（再生）ボタンを押す

- 拡張設定メニューの［通信切り替え］が［W-LAN］に設定されていることを確認します。（☞P.191）

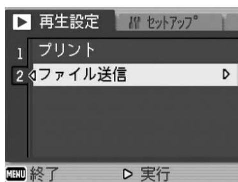
3 ▦（サムネイル表示）ボタンを2回押す

- 画面が12分割されて、ファイルがサムネイル表示されます。

4 MENU/OKボタンを押す

- 再生設定メニューが表示されます。

5 ▼ ボタンを押して、［ファイル送信］を選び、▶ボタンを押す



- ［送信先選択画面］を［ON］に設定している場合は、［送信先］一覧画面が表示されます。
- ［送信先選択画面］を［OFF］に設定している場合（☞P.215）は、手順7へ進んでください。
- 送信リストをカメラに転送していない場合、または［送信先選択画面］が［OFF］（☞P.215）で送信先の設定内容が誤っている場合は、エラーメッセージが表示された後、再生設定メニューに戻ります。
- シリアル接続中の場合は、シリアル接続を切断するかどうか確認する画面が表示されます。［はい］を選んでMENU/OKボタンを押してください。

6 ▲▼ボタンを押して、送信先を選び、MENU/OKボタンを押す



7 ▲▼◀▶ ボタンを押して、送信したいファイルを選び、MENU/OKボタンを押す

- ファイルに封筒のマークが表示されます。



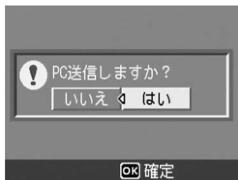
8 手順7を繰り返して、送信したいファイルをすべて選択する

- 間違えた場合は、そのファイルを選択した状態でMENU/OKボタンを再度押すと解除できます。

9 DISP.ボタンを押す

- 選択したファイルを送信するかどうか確認する画面が表示されます。

10 ▶ ボタンを押して、[はい]を選び、MENU/OKボタンを押す



- 送信先の機器へ送信を開始し、進行状況が表示されます。送信を中断したい場合は、DISP.ボタンを押してください。▶（再生）ボタン、シャッターボタンを押した場合でも、送信は中断されます。
- 送信中にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って、ファイルを再度送信してください。エラーメッセージの内容については、P.218を参照してください。
- 送信が完了すると、送信完了のメッセージが表示されます。

11 MENU/OKボタンを押す

- 再生画面に戻ります。

 *メモ*---

- 送信リストの詳細設定で、[FTP送信]タブの[重複する名前のファイルを送信しない]にチェックマークを付けていると（☞P.196）、FTP送信の受信フォルダに送信ファイルと同じ名前のファイルがあった場合、同じ名前のファイルは送信しません。違う名前のファイルを送信後、同じ名前のファイルを再度送信して上書きするかどうか確認する画面が表示されます。[YES]または[NO]を選択し、MENU/OKボタンを押してください。ファイルを上書き中に通信エラーメッセージが表示された場合は、MENU/OKボタンを押すと、上書き確認のメッセージが再度表示されます。▶ボタンを押して、[YES]／[NO]を選択し、MENU/OKボタンを押してください。
- 送信リストの詳細設定で、[FTP送信]タブの[重複する名前のファイルを送信しない]にチェックマークを付けていないと（☞P.196）、FTP送信の受信フォルダに送信ファイルと同じファイル名があった場合、ファイルを上書きします。
- ファイルを送信した後、送信済みのファイルをカメラから自動的に削除するかどうか設定することができます。（☞P.177）

撮影モードでファイルを送信する（クイックビュー送信）

ファイルを撮影直後に送信することができます。送信したい機器が決まっているときは、接続の手間が省けて便利です。
あらかじめ拡張設定メニューの［クイック送信モード］で設定をしておく必要があります。

 *注意*

ファイルを送信する前に、パソコンで送信リストを作成し、カメラに転送してください。（☞P.200）

 *メモ*

送信したファイルに関するパソコン側での設定については、ご使用のパソコンの説明書をご覧ください。

クイックビュー送信を行うための設定をする（クイック送信モード）

設定できる値	
OFF ※購入時の設定	撮影モードではファイルを送信しません。
1TOUCH	撮影後の画像確認時間内（☞P.116）にMENU/OKボタンを押すと、ファイルが送信されます。 静止画（.JPG）のみ送信することができます。音声付き静止画（.JPG と.WAV）の場合には、静止画（.JPG）のみ送信されます。 事前に拡張設定メニューで送信先を選択しておく必要があります。（☞P.216）
2TOUCH	撮影後にクイックレビュー表示（☞P.45）を行い、MENU/OKボタンを押すと、ファイルが送信されます。 静止画（.JPG）、文字（.TIF）、音声付静止画（.JPGと.WAV）を送信することができます。 ファイルを送信するときは、送信時に表示される［送信先］一覧画面で送信先を選択しますが、あらかじめ拡張設定メニューで送信先を選択しておくこともできます。（☞P.215）

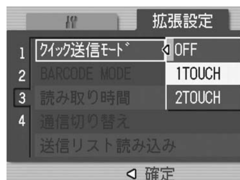
1 拡張設定メニューを表示する

- 操作手順は、P.154を参照してください。
- ［通信切り替え］が［W-LAN］に設定されていることを確認します。(P.191)

2 ▼ボタンを押して、［クイック送信モード］を選び、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンを押して、［1TOUCH］または［2TOUCH］を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す



クイックビュー送信をする

［クイック送信モード］を［1TOUCH］に設定している場合

1 送信先の機器（パソコン）の電源が入っていることを確認する

2 モードダイヤルを📷/CALSに合わせて撮影する

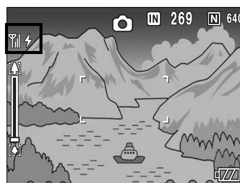
- 画像確認時間（☞P.116）に、ファイルを送信するかどうか確認する画面が表示されます。

3 MENU/OKボタンを押す

- 拡張設定メニューの［送信先選択］で選択した送信先（☞P.216）に送信を開始します。



- 送信が完了すると、送信先と接続状態で撮影モードに戻ります。再生モードや音声モードに切り替えるか、カメラの電源をオフにするまで接続状態が続きます。接続中は液晶モニターに無線LANアンテナアイコンが表示されます。



 メモ

- 以下の場合は、[クイック送信モード]を[1TOUCH]に設定していても、ファイルをクイックビュー送信することはできません。
  - 送信リストをカメラに転送していない場合（☞P.200）
  - 送信先の設定内容が誤っている場合
  - 詳細設定の[FTP送信]タブで、[サーバー名]が入力されていない場合（☞P.196）
  - 詳細設定の[アドレス帳]タブで、[メールアドレス]が入力されていない場合（☞P.196）
  - [画像確認時間]を[OFF]に設定している場合（☞P.116）
  - シーンモード時（☞P.39）
  - S連写／M連写のとき（☞P.69）
- Bluetooth®機器と接続中は、[クイック送信モード]を[1TOUCH]に設定していても、画像をクイックビュー送信することはできません。クイックビュー送信の前に、Bluetooth®機器との接続を切断してください。（☞P.173、P.180、P.182）
- 音声付き撮影を[ON]に設定している場合（☞P.76）は、手順3でMENU/OKボタンを押した後、送信を開始するまで送信ボタンが表示されます。
- [送信画像サイズ]（☞P.176）で設定した画像サイズは、適応されません。
- [送信先選択画面]を[ON]に設定していても、[送信先]一覧画面は表示されません。
- ファイルを送信した後、送信済みのファイルをカメラから自動的に削除するかどうか設定することができます。（☞P.177）

［クイック送信モード］を［2TOUCH］に設定している場合

1 送信先の機器（パソコン）の電源が入っていることを確認する

2 モードダイヤルを📷/CALSに合わせて撮影する

3 Ⓠ（クイックレビュー）ボタンを押す

- ファイルを送信するかどうか確認する画面が表示されます。

4 MENU/OKボタンを押す

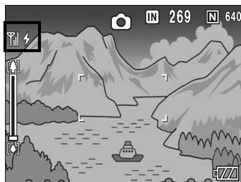


- ［送信先選択画面］を［ON］に設定している場合は、［送信先］一覧画面が表示されます。
- ［送信先選択画面］を［OFF］に設定している場合（☞P.215）は、［送信先選択］で選択した送信先（☞P.216）に送信を開始し、進行状況が表示されます。
- 送信リストをカメラに転送していない場合、または［送信先選択画面］が［OFF］（☞P.215）で送信先の設定内容が誤っている場合は、エラーメッセージが表示された後、再生設定メニューに戻ります。
- Bluetooth®機器と接続中の場合は、Bluetooth®機器との接続を切断するかどうか確認する画面が表示されます。［はい］を選んでMENU/OKボタンを押してください。（☞P.173、P.180、P.182）

5 ▲▼ボタンを押して、送信先を選び、MENU/OKボタンを押す



- 送信先の機器へ送信を開始し、進行状況が表示されます。送信を中断したい場合は、DISP.ボタンを押してください。▶（再生）ボタン、シャッターボタンを押した場合、またモードダイヤルを回した場合でも、送信は中断されます。
- 送信中にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って、ファイルを再度送信してください。エラーメッセージの内容については、P.218を参照してください。
- 接続が成功すると、送信先と接続状態で撮影モードに戻ります。再生モードや音声モードに切り替えるか、カメラの電源をオフにするまで接続状態が続きます。接続中は液晶モニターに無線LANアンテナアイコンが表示されます。



 *メモ*

- マニュアルフォーカス使用時（☞P.65）は、［クイック送信モード］を［2TOUCH］に設定していても、ファイルをクイックビュー送信することはできません。
- 送信リストの詳細設定で、［FTP送信］タブの［重複する名前のファイルを送信しない］にチェックマークを付けていると（☞P.196）、FTP送信の受信フォルダに送信ファイルと同じ名前のファイルがあった場合、同じ名前のファイルは送信しません。違う名前のファイルを送信後、同じ名前のファイルを再度送信して上書きするかどうか確認する画面が表示されます。[YES]または[NO]を選択し、MENU/OKボタンを押してください。ファイルを上書き中にエラーメッセージが表示された場合は、MENU/OKボタンを押すと、上書き確認のメッセージが再度表示されます。▶ボタンを押して、［YES］／［NO］を選択し、MENU/OKボタンを押してください。
- 送信リストの詳細設定で、［FTP 送信］タブの［重複する名前のファイルを送信しない］にチェックマークを付けていないと（☞P.196）、FTP送信の受信フォルダに送信ファイルと同じファイル名があった場合、ファイルを上書きします。
- 送信するファイルの画像サイズをあらかじめ設定しておくことができます。（☞P.176）
- ファイルを送信した後、送信済みのファイルをカメラから自動的に削除するかどうか設定することができます。（☞P.177）

 *クイックビュー送信後に接続を切断するには*

クイックビュー送信完了後は、送信先と接続状態で撮影モードに戻ります。接続を切断する場合は、再生モードや音声モードに切り替えるか、カメラの電源をオフにしてください。

あらかじめカメラで送信先を選択するには

ファイルを送信するときは、送信時に表示される［送信先］一覧画面で送信先を選択しますが、［送信先］一覧画面を表示せずに、事前に送信先を選択しておくこともできます。毎回決まった送信先にファイルを送信する場合に便利です。

［送信先］一覧画面を非表示にする（送信先選択画面）

設定できる値
OFF（［送信先］一覧画面を表示しない）
ON（［送信先］一覧画面を表示する）※購入時の設定

1 拡張設定メニューを表示する

- 操作手順は、P.154を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、［送信先選択画面］を選び、▶ボタンを押す

3 ▼ボタンを押して、［OFF］を選ぶ

4 MENU/OKボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OKボタンを押す




メモ--

［送信先選択画面］を［ON］に設定すると、送信時に［送信先］一覧画面が表示され、送信先を選択することができます。

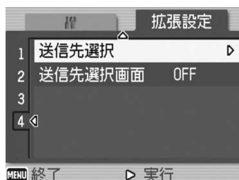
送信先を選択する（送信先選択）

1 拡張設定メニューを表示する

- 操作手順は、P.154を参照してください。

2 ▼ボタンを押して、[送信先選択]を選び、▶ボタンを押す

- 送信リストで設定した送信先の一覧画面が表示されます。



3 ▲▼ボタンを押して、接続したい送信先を選ぶ

- 送信先の設定内容をカメラで確認、修正することができます。（☞P.204）



4 MENU/OKボタンを押す

- 送信先が決定され、拡張設定メニューに戻ります。

5 MENU/OKボタンを押す

 *メモ*

[送信先選択] で送信先を選択していない場合は、[送信先] 一覧画面の一番上の送信先が選択状態となっています。この状態で、[送信先選択画面] を [OFF] に設定している場合、または [クイック送信モード] を [1TOUCH] に設定してクイックビュー送信する場合は、一番上の送信先にファイルが送信されます。

お困りのときは

エラーメッセージが表示されたら

液晶モニターにエラーメッセージが表示されたときは、次の方法で対処してください。

通信関連以外のエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因と対応方法	参照先
CARDを入れてください。	カードがセットされていません。カードをセットしてください。	P.25
セットアップメニューから日付を設定してください。	日付が設定されていません。日付を設定してください。	P.119
FILE NUMBER OVER	ファイル番号の制限を超えています。他のカードをご使用ください。	P.117
表示できないファイルです。	カメラでは表示できないファイルです。パソコンなどでファイルを確認し、ファイルを削除してください。	−
容量不足です。コピーしますか。	カードの容量が不足しているため、すべてのファイルをコピーできません。他のカードをご使用ください。	P.22
プロテクトされています。	プロテクトされたファイルを削除しようとしています。	P.90
カードが書き込み禁止です。	カードが「LOCK（書き込み禁止)」されています。ロックを解除してください。	P.22
プリント設定できないファイルです。	プリント設定できないファイル（動画など）です。	−
容量不足です。	ファイルを記録できません。ファイルを削除するか、空き容量を確保してください。	P.50 P.109 P.110
	画像のプリント指定枚数が制限を超えています。どれか画像を選択し、枚数を0にしてください。	−
内蔵メモリーを初期化してください。	内蔵メモリーを初期化する必要があります。	P.110
CARDを初期化してください。	カードが初期化されていません。本機でカードを初期化してください。	P.109
使用できないCARDです。	再度初期化し直してください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、カードの異常が考えられます。そのカードを使用しないでください。	P.109
メモリー書き込み中	ファイルをメモリーに書き込んでいます。書き込みが終わるまでお待ちください。	−
ファイルがありません。	再生できるファイルがありません。	−
記録できません。	撮影可能枚数が0になりました。他のカードや内蔵メモリーに切り替えてください。	P.22

Bluetooth®関連のエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因と対応方法	参照先
印刷できないファイルです。	静止画（.JPG）以外の画像を送信しようとしています。静止画（.JPG）以外の画像は送信できません。	P.153
送信できないファイルです。	静止画（.JPG）以外の画像を送信しようとしています。静止画（.JPG）以外の画像は送信できません。	P.153
接続機器の認証が失敗しました。	入力したパスキーが送信先機器のパスキーと一致していません。正しいパスキーを入力してください。	－
	パスキー入力の制限時間を超えています。制限時間内に再度パスキーを入力してください。	P.161
接続できませんでした。	下記のいずれかの原因で送信先の機器に接続できませんでした。機器の状態を確認して、はじめから操作し直してください。 • 送信先機器に電波が届いていない。 • 送信先機器が周辺（約10m）に存在しない。 • 送信先機器の電源が切れている等の理由で動作していない。 • 本カメラの通信対象となるBluetooth® Profileに、送信先機器が対応していない。 • 送信先に適していない機器を選択している。	P.153
印刷に失敗しました。	下記のいずれかの原因で印刷できませんでした。機器の状態を確認して、はじめから操作し直してください。 • 送信先機器に電波が届かなくなった。 • 送信先機器が印刷できない状態になった。 • 送信先機器の空き容量が不足している。	－
送信できませんでした。	下記のいずれかの原因で送信できなくなりました。機器の状態を確認して、はじめから操作し直してください。 • 送信先機器に電波が届かなくなった。 • 送信先機器が受信できない状態になった。 • 送信先機器の空き容量が不足している。	－

無線LAN関連のエラーメッセージ（Caplio 500SE-Wのみ）

通信および送信設定に関するエラー

エラーメッセージ	原因と対応方法	参照先
接続に失敗しました。	何らかの原因で接続できませんでした。送信設定の内容を確認してください。	P.192 P.200
送信方法が設定されていません。	送信設定で［送信方法］が選択されていません。［FTP送信］か［メール送信］を選択してください。	P.200
宛先が入力されていません。	送信設定で［メール送信宛先］が選択されていません。［メール送信宛先］を選択してください。	P.200
アクセスポイントに接続できませんでした。	送信先のアクセスポイントの電源が切れている等の理由で、動作していません。アクセスポイントを確認してください。	－
	送信設定の設定内容が間違っています。送信設定の設定内容を確認してください。	P.200

エラーメッセージ	原因と対応方法	参照先
ネットワーク上に同じIPアドレスがあります。	送信先のネットワークにカメラと同じIPアドレスが存在します。詳細設定の［ネットワーク］タブで［IPアドレス］を確認してください。	P.194
LAN設定が違います。	カメラの電源をオンにしてから最初に接続した送信先と、詳細設定の［ネットワーク］タブまたは［無線LAN］タブの設定内容が異なります。詳細設定の［ネットワーク］タブまたは［無線LAN］タブの設定内容が異なる送信先に送信したい場合は、あらかじめ送信先を変更し、カメラの電源をオフ／オンしてから再度送信してください。	P.194 P.215
送信先が登録されていません。	送信リストがカメラに読み込まれていません。送信リストをカメラに読み込ませてから送信し直してください。	P.200
ネットワークキーサイズが不正です。	カメラで［無線LAN接続設定］の［暗号化/認証方式］を変更した場合は、ネットワークキーを確認してください。 • ［暗号化 / 認証方式］を［WEP/OPEN］または［WEP/SHARED］に設定した場合は、［ネットワークキー］は以下のとおり入力してください。 ［文字］の場合：5文字もしくは13文字 ［16進］の場合：10文字もしくは26文字 • ［暗号化/認証方式］を［AES/WPA-PSK］、［AES/WPA2-PSK］、［TKIP/WPA-PSK］、［TKIP/WPA2-PSK］に設定した場合は、8～63文字のネットワークキーを入力してください。 詳しい内容はP.195の［ネットワークキー］をご覧ください。	P.195 P.204

FTP送信の設定に関するエラー

エラーメッセージ	原因と対応方法	参照先
転送先サーバーが入力されていません。	詳細設定の［FTP送信］タブで、［サーバー名］が入力されていません。［サーバー名］を入力してください。	P.196
IPアドレスが取得できませんでした。	送信先サーバーのIPアドレスが取得できませんでした。詳細設定の［FTP送信］タブで、正しい［サーバー名］を入力してください。	P.196
サーバーが応答しません。	送信先サーバーが応答しません。FTP送信の詳細設定を確認してください。	P.196
サーバーに接続できませんでした。	送信先サーバーに接続できませんでした。FTP送信の詳細設定を確認してください。	P.196
指定のユーザー名かパスワードに誤りがあります。	［ユーザー名］または［パスワード］が間違っています。詳細設定の［FTP送信］タブで、正しい［ユーザー名］と［パスワード］を入力してください。	P.196
指定したホルダーがありません。	送信先に指定した受信フォルダがありません。詳細設定の［FTP送信］タブで、正しい［フォルダ名］を入力してください。	P.196
送信できませんでした。	何らかの原因で送信できませんでした。FTP送信の詳細設定を確認してください。	P.196
サーバーエラーです。	接続完了後、サーバーからエラーが送信されました。再度送信し直してください。	－

メール送信の設定に関するエラー

エラーメッセージ	原因と対応方法	参照先
転送先サーバーが入力されていません。	詳細設定の［メール環境］タブで、［サーバー名］が入力されていません。［サーバー名］を入力してください。	P.196
IPアドレスが取得できませんでした。	SMTPサーバーのIPアドレスが取得できませんでした。詳細設定の［メール環境］タブで、正しい［サーバー名］を入力してください。	P.196
サーバーが応答しません。	SMTPサーバーが応答しません。メール環境の詳細設定を確認してください。	P.196
サーバーに接続できませんでした。	接続完了後、サーバーからエラーが送信されました。再度送信し直してください。	ー
指定のユーザー名かパスワードに誤りがあります。	［ユーザー名］または［パスワード］が間違っています。詳細設定の［メール環境］タブで、正しい［ユーザー名］と［パスワード］を入力してください。	P.196
送信ファイルが大きくて送信できません。	送信ファイルの画像サイズが大きすぎて送信できませんでした。送信ファイルの画像サイズを小さくして送信し直してください。	P.176
送信できませんでした。	何らかの原因で送信できませんでした。しばらく待ってから、再度接続してください。	ー
サーバーエラーです。	接続完了後、サーバーからエラーが送信されました。しばらく待ってから、再度接続してください。	ー

その他のエラー

エラーメッセージ	原因と対応方法	参照先
W-LANではプリントできません。	無線LANでは、ファイルをプリンターに送信して印刷することはできません。ファイルをプリンターに送信する場合は、Bluetooth®機能を使用してください。	P.156
送信ファイルが選択されていません。	サムネイル表示で送信するファイルが選択されていません。選択してからMENU/OKボタンを押してください。	P.208

 *メモ*--

上記の対処法で改善されない場合は、お客様相談センターまたはお買い上げ店までご連絡ください。

カメラ本体のトラブル

電源

症状	原因	処置	参照先
電源が入らない。	電池がセットされていない。または消耗している。	リチャージャブルバッテリーを正しくセットする。または充電する。必要に応じてACアダプターを使う。アルカリ乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.25 P.24 P.27
	使用できない電池を使用している。	専用のリチャージャブルバッテリー、またはアルカリ乾電池を使う。他の電池は使用しないでください。	P.20
	ACアダプターが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。	P.27
	オートパワーオフで電源が切れている。	電源を再投入する。	P.29
	電池の方向が違う。	正しくセットする。	P.25
電源が途中で切れる。	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.29
	電池が消耗している。	リチャージャブルバッテリー使用時は充電するか、ACアダプターを使う。アルカリ乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.24 P.27 P.25
	使用できない電池を使用している。	専用のリチャージャブルバッテリー、またはアルカリ乾電池を使う。他の電池は使用しないでください。	P.20
電源が切れない。	カメラの誤動作。	電池をセットしなおす。ACアダプター使用時には接続しなおす。	P.25 P.27
充電したばかりなのに： • 電池残量が少ないことを示す電池マークが表示される。 • 電源が切れる。	使用できない電池を使用している。	専用のリチャージャブルバッテリー、またはアルカリ乾電池を使う。他の電池は使用しないでください。	P.20
バッテリーを充電できない。	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーに交換する。	P.25
電池の消耗が早い。	温度が極端に低いところや高いところで使用している。	−	−
	暗い屋内などの撮影で、フラッシュ発光回数が多い。	−	−

撮影

症状	原因	処置	参照先
シャッターボタンを押しても撮影できない。	電池が消耗している。	リチャージャブルバッテリー使用時は充電するか、ACアダプターを使う。アルカリ乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.24 P.27 P.25
	電源が入っていない。または撮影モードになっていない。	電源を入れ、モードダイヤルを撮影モードに合わせる。または▶（再生）ボタンを押して撮影モードにする。	P.16 P.29
	再生モードになっている。	▶（再生）ボタンを押して撮影モードにする。	P.46
	シャッターボタンを押しきっていない。	シャッターボタンを押しきる。	P.33 P.34
	SDメモリーカードが初期化されていない。	初期化する。	P.109
	SDメモリーカードに空き容量がない。	不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットする。	P.50 P.25
	SDメモリーカードの寿命。	新しいカードをセットする。	P.25
	フラッシュが充電中。	オートフォーカス／フラッシュランプの点滅が終了するまで待つ。	P.38
	SDメモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.22
	SDメモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	－
撮影画像を確認できない。	画像確認時間が短い。	画像確認時間を長くする。	P.116
液晶モニターに映らない。	電源が入っていない。または液晶モニターが暗い。	電源を入れる。または液晶モニターの明るさを調整する。	P.29 P.111
	画面表示が「シンクロモニターモード」になっている。	DISP.ボタンを押して表示を切り替える。	P.53
オートフォーカスなのにピントが合わない。	レンズまたはAF窓が汚れている。	乾いた柔らかい布できれいに拭き取る。	P.14
	被写体が撮影範囲枠の中央にいない。	フォーカスロックで撮影する。	P.34
	ピントの合いにくい被写体である。	フォーカスロック、またはマニュアルフォーカスで撮影する。	P.34 P.65

症状	原因	処置	参照先
手ブレになる。	シャッターボタンを押したときに、構えたカメラが動いた。	両肘を身体につけて構える。 三脚を使用する。 ブレ軽減機能を使う。	P.31 P.63
	薄暗い場所（室内など）での撮影時には、シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすくなる。	フラッシュを使用する。 ISO感度を上げる。 ブレ軽減機能を使う。	P.38 P.81 P.63
フラッシュが発光しない。またはフラッシュの充電ができない。	次の状態では、フラッシュは発光禁止になっている。 • 連写モード • 動画モード また、シーンモードでは、初期設定が発光禁止になっている。	フラッシュを発光して撮影したい場合は、設定やモードを変更する。	P.38 P.69 P.83 P.237
	フラッシュが発光禁止になっている。	ϟ（フラッシュ）ボタンで発光禁止を解除する。	P.38
	電池が消耗している。	リチャージャブルバッテリー使用時は充電するか、必要に応じて AC アダプターを使う。アルカリ乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.24 P.27 P.25
フラッシュが発光したのに画像が暗い。	被写体までの距離が、望遠時で約6.5m以上、広角時で約10m以上離れている。	被写体に近づいて撮影する。	P.38
	黒っぽい被写体である。	露出補正を行う（フラッシュの光量も露出補正値に連動します）。	P.78
画像が明るすぎる。	フラッシュの光量が適切でない。	被写体から少し離れて撮影するか、被写体に照明などを当ててフラッシュを発光しないで撮影する。	P.38
	露出がオーバーしている。	露出補正を行う。 長時間露光を解除する。	P.78 P.73
	液晶モニターの明るさが適切でない。	液晶モニターの明るさを調整する。	P.111
画像が暗すぎる。	暗いところを発光禁止で撮影している。	ϟ（フラッシュ）ボタンで発光禁止を解除する。	P.38
	露出が不足している。	露出補正を行う。 長時間露光を設定する。	P.78 P.73
	液晶モニターの明るさが適切でない。	液晶モニターの明るさを調整する。	P.111
画像が自然な色合いにならない。	オートホワイトバランスの調整しにくい状況で撮影した。	被写体に白色系のものを入れて撮影する。またはオートモード以外のホワイトバランスを使用する。	P.79
日付などの記録情報が表示されない。	画面表示の機能で、表示なしになっている。	DISP.ボタンを押して表示を切り替える。	P.53

症状	原因	処置	参照先
AF動作中、液晶モニターの明るさが変化する。	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗いところで使用している。	故障ではありません。	ー
縦に尾を引いた画像になる。	明るい被写体を写したときに起こる現象。スミア現象という。	故障ではありません。	ー

再生／削除

症状	原因	処置	参照先
再生できない。または再生画面が出ない。	再生モードになっていない。	▶（再生）ボタンを押す。	P.46
SDメモリーカードが再生できない。または再生画面が出ない。	SDメモリーカードがセットされていない。または画像が記録されていないSDメモリーカードをセットした。	記録済みのカードをセットする。	P.25
	本機で初期化していないSDメモリーカードを再生した。	本機で初期化し、記録したカードをセットする。	P.25 P.109
	正常に記録されていないSDメモリーカードを再生した。	正常に記録されているカードをセットする。	ー
	SDメモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	ー
	使用中のSDメモリーカードに異常がある。	記録済みの別のカードを再生し、異常がなければカメラは正常です。カードの異常が考えられるため、そのカードを使用しないでください。	ー
画面が消えた。	電池が消耗している。	リチャージャブルバッテリー使用時は充電するか、必要に応じてACアダプターを使う。アルカリ乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.24 P.27 P.25
	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.29
ファイルを削除できない。	プロテクトが設定されている。	プロテクトを解除する。	P.90
	SDメモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.22
SDメモリーカードを初期化できない。	SDメモリーカードが「LOCK」されている。	「LOCK（書き込み禁止）」を解除する。	P.22

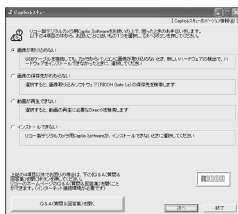
その他

症状	原因	処置	参照先
SDメモリーカードが入らない。	挿入方向が違う。	正しくセットする。	P.25
カメラのボタンを操作しても作動しない。	電池が消耗している。	リチャージャブルバッテリー使用時は充電するか、必要に応じてACアダプターを使う。アルカリ乾電池使用時は新品電池に交換する。	P.24 P.27 P.25
	カメラの誤動作。	電源ボタンを押して、いったん電源をオフにし、再度電源ボタンを押して、電源をオンにする。	P.29
		電池をセットしなおす。ACアダプター使用時には接続しなおす。	P.25 P.27
日付が正しくない。	正しい日付・時刻が設定されていない。	正しい日付・時刻を設定する。	P.119
設定した日付が消えてしまった。	電池を抜いてしまった。	電池を取り出した状態が約1週間以上続くと、日付がリセットされるので、再度、設定し直す。	P.119
オートパワーオフが働かない。	オートパワーオフが[OFF]になっている。	オートパワーオフの時間を設定する。	P.113
ブザー音が鳴らない。	消音が設定されている。	[操作音音量設定]で音量なし以外を設定する。	P.115

ソフトウェア／パソコンのトラブル

ソフトウェアについては、『使用説明書（ソフトウェア編）』（PDFファイル）をご覧ください。

Caplioレスキューについて（Windowsをご使用の場合）



パソコンにインストールされているトラブルシューティングソフトウェア（Caplio レスキュー）をお試しください。

Caplio レスキューでは、画面のメッセージに従って操作すると、パソコンとの接続やソフトウェアに関するトラブルへの対処方法が表示できます。

Caplioレスキューは、［ソフトウェアのインストール］ボタンで付属ソフトウェアのインストールが完了していれば、パソコンにインストールされています。インストール時にショートカットを作成した場合は、デスクトップ上にショートカットが表示されています。

Caplioレスキューを使うには

Caplioレスキューは、次のように操作して起動します。

起動方法1： Windowsの［スタート］メニューから起動する

1 Windowsのタスクバーにある［スタート］をクリックして［スタート］メニューを表示します。
2 ［プログラム］を選択し、［Caplio Software］を選択します。
3 ［Caplio レスキュー（トラブルシューティング）］を選択します。

起動方法2： デスクトップ上に作成した Caplio レスキューのショートカットをダブルクリックする



起動方法3： CD-ROM ドライブに付属のCaplio Software CD-ROM をセットし、［Caplio レスキューの起動（トラブルシューティング)］をクリックする

Windows XP Service Pack2での警告メッセージについて

Windows XP Service Pack2がインストールされたパソコンで、弊社デジタルカメラ用ソフトの使用時（ソフト起動時、USB接続時）等に以下の警告メッセージが表示される場合があります。
こちらをご理解の上、以下を参考にしてください。

警告メッセージが表示されたら

1 名前、発行元を確認し［ブロックを解除する］ボタンをクリックする



注意

プログラムの名前や発行元に心当たりが無い場合、ウイルスプログラムである可能性がありますので［ブロックする］をクリックしてください。ブロックすると、そのプログラムによる外部からの接続が利用できなくなります。

［ブロックする］ボタンをクリックした場合

Windowsファイアウォールの設定を確認します。

1 ［スタート］→［コントロールパネル］の順にクリックする

2 ［Windows　ファイアウォール］をダブルクリックする

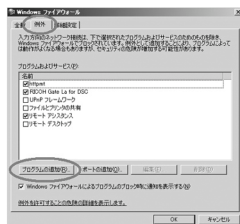
- ［Windowsファイアウォール］がない場合はウィンドウ左上の［クラシック表示に切り替える］をクリックしてください。



3 [例外] タブをクリックする

4 [プログラムおよびサービス] 内に設定したソフトウェアがあることを確認する

5 [プログラムの追加] ボタンをクリックし､ネットワークを使うソフトウェアを追加する



[後で確認する] ボタンをクリックした場合

プログラムを起動するたびに、[Windows セキュリティの重要な警告] ウィンドウが表示されるので、その際に [ブロックを解除する] を選択できます。

主な仕様

総合

電源電圧	リチャージャブルバッテリー DB-43（3.7V）× 1本
	外部（ACアダプター）：3.8V
	単三アルカリ乾電池、ニッケル水素電池×2本
外形寸法	133.0mm（幅）× 74.0mm（高さ）× 78.5mm（奥行き）（突起部含まず）
質量	本体 約430g（電池／ストラップを除く） 付属品 約50g（電池／ストラップ）
三脚ネジ穴形状	1/4-20UNC
使用温度範囲	-10°C～40°C
使用湿度範囲	85%以下
保存温度範囲	-20°C～60°C
防水	JIS保護等級7
防塵	JIS保護等級6

カメラ部

使用撮像素子	総画素数830万画素（有効画素数813万画素）、1/1.8型原色CCD
レンズ	
レンズ	3.0倍光学ズームレンズ 明るさ（F値）：F2.5（W）～4.3（T）
焦点距離	5.8～17.4mm（35mm換算28～85mm）
撮影距離	約0.3m～∞（広角）、約1.0m～∞（望遠）
マクロ撮影距離（カメラ前端より）	約0.005m～∞（広角）、約0.1m～∞（望遠）、 約0.005m～∞（ズームマクロ）
デジタルズーム	4倍
モニター表示部	
画面サイズ	2.5型
種類	透過型アモルファスシリコンTFT液晶
画素数	約15万画素
ホワイトバランス	AUTO／固定（屋外、曇天、白熱灯、白熱灯2、蛍光灯、手動設定）
露出調整	
測光感度分布	マルチ測光（256分割）、中央重点測光、スポット測光
露出補正	マニュアル露出補正±2.0EV（1/3EVステップ）
測光方式	TTL-CCD測光方式
フラッシュ AE	あり（日中シンクロ　あり）
シャッター	静止画：8、4、2、1～1/2000秒 動画：1/30～1/2000秒
ISO感度	AUTO、ISO64、ISO100、ISO200、ISO400、ISO800、ISO1600

距離調節	
AF方式	通常撮影領域：外部パッシブ・CCD方式 マクロ領域：CCD方式
AF測距範囲	通常撮影領域：約0.3m〜∞、マクロ時：約0.005m〜∞
内蔵フラッシュ	
方式	外部調光センサー方式とプリ発光方式併用
撮影距離	約0.2〜10m（広角)、約0.2〜6.5m（望遠）(ISO: AUTO)
動作モード	発光禁止／オート／赤目軽減／強制発光／スローシンクロ
デート保持時間	約1週間

画像データ録再部

画素数（ピクセル）	
静止画	3264×2448、2592×1944、2048×1536、 1280×960、640×480
文字	3264×2448、2048×1536
動画	320×240、160×120
ファイルフォーマット	
静止画	JPEG（Exif Ver.2.21）
文字	TIFF（MMR方式ITU-T.6）
動画	AVI（Open DML Motion JPEGフォーマット準拠）
音声	WAV（Exif Ver.2.21 μ law）
カメラファイルシステム規格	DCF ※DCFはJEITAで標準化された『Design rule for Camera File System』規格の略称です。
圧縮方式	JPEGベースライン方式準拠（静止画、動画）
画像サイズ	
3264×2448	N：約1665KB／画面、F：約2894KB／画面
2592×1944	N：約1060KB／画面
2048×1536	N：約672KB／画面
1280×960	N：約356KB／画面、F：約686KB／画面
640×480	N：約83KB／画面

入出力端子

電源入力	3.8V（ACアダプター）
USB端子	USB2.0 High-Speed（mini-USB）
AUX端子	独自仕様

記録再生可能なメモリーカードの種類

メモリー種類	SDメモリーカード、マルチメディアカード

Bluetooth®通信部

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.2.0+EDR
出力	Bluetooth®標準規格Power Class 2
通信距離*1	見通し距離約10m
対応Bluetooth® Profile*2	BIP、OPP、SPP
使用周波数帯	2.4GHz帯（2.400GHz～2.4835GHz）

*1 通信機器間の障害物や電波状況、使用するソフトウェア、OSなどにより変化します。
*2 Bluetooth®対応機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

無線LAN通信部（Caplio 500SE-Wのみ）

準拠規格	IEEE802.11b/g
伝送方式	IEEE802.11g：OFDM IEEE802.11b：DSSS、DQPSK、DBPSK
データ転送速度*1	IEEE802.11g：54M/48M/36M/24M/18M/12M/9M/6M (bps) IEEE802.11b：11M/5.5M/2M/1M (bps)
通信距離*2	約30m 設置場所、使用環境、使用条件によって変化する場合があります。
セキュリティ	WEP(64/128bit)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(TKIP/AES)
使用周波数帯	2.4GHz帯（2.412～2.462MHz）

*1 数値は無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
*2 通信機器間の障害物や電波状況、設置場所、使用環境、使用条件、使用するソフトウェア、OSなどにより変化します。

内蔵メモリー／SDメモリーカードの記録可能枚数

内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量別、画質／サイズ別の記録可能枚数の目安は、次のとおりです。

モード	画質	画像サイズ	内蔵	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB
静止画	F	3264×2448	8	9	19	39	78	158	305
	N	3264×2448	14	16	33	68	136	275	530
	N	2592×1944	22	25	53	107	213	430	828
	N	2048×1536	36	41	84	170	339	683	1314
	F	1280×960	33	38	79	159	318	641	1233
	N	1280×960	63	72	148	301	600	1209	2324
	N	640×480	277	315	645	1304	2599	5237	10072
文字		3264×2448	51	59	121	244	487	982	1889
		2048×1536	87	99	203	412	821	1654	3181
動画	320×240 15コマ／秒		1分17秒	1分27秒	2分59秒	6分3秒	12分4秒	24分19秒	46分47秒
	320×240 30コマ／秒		39秒	44秒	1分31秒	3分4秒	6分7秒	12分19秒	23分42秒
	160×120 15コマ／秒		4分38秒	5分16秒	10分47秒	21分49秒	43分29秒	87分37秒	168分30秒
	160×120 30コマ／秒		2分26秒	2分46秒	5分40秒	11分27秒	22分50秒	46分1秒	88分31秒
音声			56分45秒	64分36秒	132分11秒	267分15秒	532分36秒	1073分0秒	2063分25秒



メモ

- 液晶モニターに表示される残り記録枚数は、撮影する被写体によってファイル容量が増減するため、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- 静止画の撮影可能枚数や動画･音声の記録時間は、記録先（内蔵メモリーまたはSDメモリーカード）の容量や撮影条件、SDメモリーカードのメーカーや種類によって異なることがあります。

別売り品について

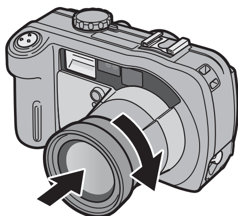
Caplio 500SEでは、下記の別売り品が使用できます。

商品名	型名	備考
ワイドコンバージョンレンズ	DW-5	さらに広角に撮影したいときに使用します。JIS 防水保護等級7級に対応しています。
ACアダプター	AC-4d	家庭用コンセントから直接電源を供給するときに使用します。
リチャージャブルバッテリー	DB-43	本カメラで使用できる充電池です。
バッテリーチャージャー	BJ-2e	リチャージャブルバッテリー（DB-43）を充電するための充電器です。
リチャージャブルバッテリーセット	BS-3e	リチャージャブルバッテリー(DB-43)とバッテリーチャージャー（BJ-2e）のセットです。
ソフトケース	SC-500	本カメラのケースです。

ワイドコンバージョンレンズの使い方

ワイドコンバージョンレンズ（DW-5）を取り付けると、レンズ倍率を0.8倍（35mm換算=広角側で22mm相当）で撮影できます。

1 ワイドコンバージョンレンズを、本機のレンズの先端に取り付ける



注意

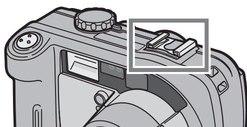
- レンズを付けた状態で撮影をする場合は、必ず本体の液晶モニターの画像を見ながら撮影してください。ファインダーでは実際に撮影される範囲は異なります。
- ワイドコンバージョンレンズを装着時は、ズームの位置を広角端でご使用ください。望遠側ではピントが合わない場合があります。
- ワイドコンバージョンレンズ装着時は、内蔵フラッシュおよび外部フラッシュを使用しても、フラッシュの光が周辺に届かない、またはワイドコンバージョンレンズに遮られるため、撮影した画像の一部が暗くなることがあります。

 *メモ*

お手入れ方法や保存方法などは、ワイドコンバージョンレンズに付属の説明書をご覧ください。

外部フラッシュの使いかた

アクセサリーシューには、外部フラッシュ（市販）などを取り付けてご使用になれます。



 *注意*

- アクセサリーシューは、JIS B7101に準拠しています。
- 外部フラッシュなどで、バネ機構もしくはロック機構のないものはご使用になれません。
- プレ発光を解除することができない外部フラッシュは、ご使用になれません。

 *メモ*

シンクロナイザ接点には対応していません。

電源オフで設定値が初期値に戻る機能

電源をオフにすると、機能によって設定値がリセットされ、初期値に戻るものがあります。
次の表は、電源をオフにしたときの設定値の保持／リセットについて示しています。

設定値の保持：○　初期設定値に戻る：×

メニュー	機能		初期値
撮影設定	画質・サイズ	○	N1280 (1M)
	ブレ軽減	○	OFF
	フォーカス	○	マルチAF
	測光方式	○	マルチ
	シャープネス	○	標準
	連写	×	OFF
	色の濃さ	○	普通
	長時間露光	○	OFF
	インターバル撮影	×	0秒
	音声付き撮影	×	OFF
	日付入れ撮影	○	OFF
	露出補正	○	0.0
	ホワイトバランス	○	AUTO
	ISO感度	○	AUTO
	マクロ	×	OFF
	フラッシュ	○	発光禁止
	セルフタイマー	×	OFF
	最大輝度	○	−
	文字濃度	○	標準
	サイズ（文字）	○	2048 (3M)
	動画サイズ	○	320
	フレームレート	○	30コマ／秒
再生設定	音量	○	−
セットアップ	LCD輝度調節	○	−
	ADJ.ボタン設定1	○	ブレ軽減
	ADJ.ボタン設定2		OFF
	オートパワーオフ	○	1分
	ブザー音	○	すべて
	操作音音量設定	○	中（■■□）

設定値の保持：○　　初期設定値に戻る：×

メニュー	機能		初期値
セットアップ	画像確認時間	○	1秒
	CARD連続NO.	○	OFF
	日時設定	○	ー
	LANGUAGE／言語	○	日本語
	ステップズーム	○	OFF
	撮影設定警告	○	ON
	USB接続	○	オリジナル
	撮影アイコン拡大	○	OFF
	マイセッティング登録	○	ー
	起動時設定	○	OFF
拡張設定	GPS測地系	○	TOKYO
	GPS表示モード	○	LAT/LON
	GPS LOCK	○	OFF
	BT 認証パスキー	○	ー
	周辺機器検索個数	○	5
	BT自動接続	○	OFF
	MASTER/SLAVE	○	SLAVE
	送信画像サイズ	○	640
	送信自動削除	○	OFF
	クイック送信モード	○	OFF

シーンモードについて

シーンモードの種類によっては、通常の撮影モードと機能の働きが異なる場合があります。下表を参照してください。

モード名	フラッシュ	マクロ撮影
高感度	初期値：発光禁止	使用可
消防	初期値：発光禁止	使用可
斜め補正	初期値：発光禁止	使用可
文字	初期値：発光禁止	使用可
ズームマクロ	初期値：発光禁止	常時マクロ撮影

シーンモードの撮影設定メニュー

設定項目	高感度	消防	斜め補正	文字	ズームマクロ	参照先
画質・サイズ	○	○	○	ー	○	P.61
ブレ軽減	ー	ー	○	ー	○	P.63
文字濃度	ー	ー	ー	○	ー	P.57
サイズ	ー	ー	ー	○	ー	P.61
フォーカス	○	○	○	ー	○	P.64
測光方式	ー	ー	○	ー	○	P.67
シャープネス	ー	ー	○	ー	○	P.68
連写	ー	ー	ー	ー	○	P.69
色の濃さ	ー	ー	○	ー	○	P.72
長時間露光	ー	ー	ー	ー	○	P.73
音声付き撮影	○	○	○	○	○	P.76
日付入れ撮影	○	○	○	○	○	P.77
露出補正	○	○	○	ー	○	P.78
ホワイトバランス	○	○	○	ー	○	P.79
ISO感度	ー	ー	○	ー	○	P.81

○ 設定可能　　ー 設定不可

各項目の選択肢については、P.59を参照してください。

海外でお使いのときは

ACアダプター（型名：AC-4d）、バッテリチャージャー（型名：BJ-2e）について

交流100～240V、50Hz/60Hzの地域でご使用になれます。
電源コンセントの形状が異なる国では、使用先の国の電源コンセントにあった変換アダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

保証書について

本製品は国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

使用上のご注意

防水機能について

- 本機はJIS保護等級7に対応しています。
- 雨中撮影や水洗いした後に、レンズ部の鏡筒部と底面の三脚ネジ部から水がしみ出てくる場合がありますが、この部分は2重構造になっているため心配ありません。
- カメラ内部は、防水、防塵構造になっていません。
- 万一カメラ内部に浸水したときは、すぐに電池を抜き取り、リコー修理受付センターにご連絡ください。

使用上のご注意

- 本機の開閉を行う場合は、本機についた水滴や汚れが内部に入らないよう注意してください。また、海水や砂が入ることがあるため、浜辺、海上、砂地では本機の開閉はできるだけ避けてください。
- バッテリー／カードカバー、端子カバーを開閉する場合は、軍手をしたままで操作しないでください。またカメラに付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所を避けて開閉してください。
- カバーを開けたときは、内部に水滴がついていることがあります。きれいに拭き取ってからご使用ください。
- 本機は機密性が高いため、気圧が変化するとバッテリー／カードカバー、端子カバーが開きにくくなることがあります。
- モードダイヤルは防水構造のため、長い時間放置しておくと動作が重くなることがあります。数回動作させると元に戻ります。
- 砂浜やホコリの多いところ（工事現場等）では、砂やホコリがカメラにつかないよう十分に注意してください。
- 密閉した自動車の中や海辺、浴室など、異常に温度の上がるところや湿度の高いところにカメラを放置しないでください。
- AC アダプター（別売り）は、必ずカメラの電源が切れている状態で接続してください。
- バッテリー／カードカバー、端子カバーを無理に引っぱらないでください。
- バッテリー／カードカバー、端子カバーを持ってカメラを持ち上げないでください。
- カメラ内部に水滴が入ったときは、すぐに使用をやめてください。次に電源を切り、電池を取り出して各部のカバーを開けたままにしてください。水滴の入ったままで使用なさらずに、お買い上げ店またはリコー修理受付センターにご相談ください。
- 寒冷地では、カメラに水滴が付着していると凍結することがあります。凍結したまま使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。

- 本製品は国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
- 外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
- カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
- フラッシュを連続して発光させると発光部が熱くなりますので、必要以上に連続してフラッシュを発光させないでください。
- 視力障害の原因にもなりますので、目の近くでフラッシュを発光させないでください（特に乳幼児）。
- 事故を起こす原因にもなりますので、運転者などに向かってフラッシュを発光しないでください。
- 電池をご使用の場合、カメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さないでください。
- 液晶モニターに太陽の光やライトが当たると、白っぽくなり見えにくくなることがあります。
- 液晶モニターには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- カメラを持ち運ぶときは、レンズや液晶モニターをぶつけないよう十分に注意してください。
- 温度変化の激しいところでは、カメラ内部で水滴が生じる結露という現象が発生し、ガラス面がくもったり、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。
- 故障の原因になりますので、マイク、スピーカーの穴に針等を通さないでください。



結露の発生しやすい状態

- 急激な温度差のあるところに移動したとき
- 湿気の多いとき
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接あたるとき

お手入れと使用／保管場所について

お手入れ

- レンズに指紋や汚れがつくと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
- レンズにゴミや汚れがついたときは、直接手を触れず市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 本機が汚れたときや、海辺や薬品を使う場所で使用したあとは、バッテリー／カードカバーや端子カバーが確実に閉まっていることを確認し、バケツなどにためた水道水で洗い、砂や塩分を落として乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。
- ゴムパッキンが汚れたときは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れが落ちないときは、新しいものとの交換を、お買い上げ店またはリコー修理受付センターに依頼してください。
- 万一カメラの具合が悪いときは、リコー修理受付センターにご相談ください。
- このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
- シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 液晶モニターの表面は、傷つきやすいので、かたい物でこすったりしないでください。
- 液晶モニターの表面は、液晶ディスプレイの表面清掃用に市販されているクリーナーを、柔らかい布に少量含ませて軽くふき取ってください。

使用／保管場所について

- 次のような場所での使用および保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。

  振動の激しいところ
  防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
  強い磁場の発生するところ（モニター、トランス、磁石のそばなど）

  また、バッテリー／カードカバー、端子カバーを開けたままの状態で、以下の場所での使用および保管は避けてください。

  高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
  砂、ほこり、ちりの多い場所
  水のかかる場所
- 長時間本機をご使用にならないときは、電池を取り出して保管してください。

ゴムパッキンの交換について

- 防水効果を維持するため、ゴムパッキンは汚れ、異常の有無にかかわらず、２年ごとに交換してください。頻繁に水、砂、ほこりの中で使用する場合は、１年ごとの交換をおすすめします。ゴムパッキンの交換は、リコー修理受付センターでお引き受けいたします（有料）。

お手入れ時のご注意

（1）必ず電源をオフにしてください。
（2）電池やACアダプターを取り外して、お手入れしてください。

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、保証書に記載された保障期間内で無料修理いたしますので、リコー修理受付センターかお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、修理にご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2. つぎの場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
   ① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障。
   ② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障。
   ③ 火災、天災、地変、落雷、異常電圧等による故障。
   ④ 保管上の不備（使用説明書に記載）、電池等の液漏等、カビ発生、手入れの不備、強度の衝撃、落下、圧力等による故障。
   ⑤ バッテリー／カードカバー、端子カバーを開けた状態での、浸水、落下、泥、砂、圧力等により生じた故障。
3. 保証書に記載された保障期間経過後は、本製品に関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証書の添付のない場合や、販売店名、ご購入年月日の記入がない場合ならびに記載事項を訂正された場合には、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。
5. 保証期間内であっても、本製品について各部点検、精密検査等を特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
6. 保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップ等の付属品類および本製品に付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
7. 無償修理期間中であると否とにかかわらず、本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および得べかりし利益の損失）等については補償いたしかねます。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   ＊ 以上の保証規定は無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
   ＊ 以上の保証規定は本製品に関する保証書にも同様の趣旨で記載されています。
9. 本製品の補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、5年を目安に保有しております。
10. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下等で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの等は修理できない場合もあります。ご了承ください。

- 修理にお出しになる前に、バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合もございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
- 修理にお出しになる際は、故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- 修理にお出しになる際は、修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。
- 大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださるとともに、使用説明書や予備のバッテリーの携帯等をお勧めいたします。
- 修理にお出しになった場合、メモリーカードおよび内蔵メモリー内のデータについては保証できません。

索引

記号・英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

「環境対応」から「環境保全」、そして「環境経営」へ。



リコーは地球環境に配慮した活動も積極的に推進し、かけがえのない地球の一市民として、環境保全活動も経営の重要課題として積極的に推進しています。
デジタルカメラについても環境負荷削減を目指し、「消費電力削減」、製品に含有される「環境影響化学物質削減」などに取り組んでいます。

困ったときには

本書の「お困りのときは」(☞P.217)をご覧ください。また、付属のCD-ROMに収められている**Caplioレスキュー(トラブルシューティング)**もお試しください。それでも問題が解決しないときには、「リコーお客様相談センター」にご連絡ください。

リコーお客様相談センター	
	電話0120-000475 FAX 0120-479417 受付時間:9:00～17:00(土、日、祝日を除く) ※なお、対応状況の確認と対応品質の向上のため、ご相談内容を録音をさせていただいております。
インターネットでもご相談をお受けしています。 http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html	

デジタルカメラ修理受付	
リコー修理受付センター (リコーロジスティクス株式会社)	 電話0120-053956 (携帯電話、PHSからの通話はできません) 受付時間:9:00～17:00(土、日、祝日、年末年始等弊社指定休日を除く) 宅配便を利用した修理品の受付センターです。
リコー銀座カメラサービスセンター	〒104-0061東京都中央区銀座6-14-7(第3リコービル) 電話03-3543-4187 受付時間:9:30～17:00(土、日、祝日、年末年始等弊社指定休日を除く)
デジタルカメラサービスセンター (リコーテクノシステムズ株式会社)	〒222-0033神奈川県横浜市港北区新横浜1-2-1 (新横浜ファーストビル3階) 電話045-474-2586 受付時間:9:30～17:00(土、日、祝日、年末年始等弊社指定休日を除く)

ImageMixerについて	
株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター	電話06-6633-3900 受付時間:月曜日～日曜日10:00～17:00 (年末年始、祝日、弊社指定休日は除く)

株式会社リコー
〒104-8222
東京都中央区銀座8-13-1リコービル
電話:0120-000475(フリーダイヤル)
2006年12月


L736 1972

Jp
JA Printed in China